

北海道	機関名	公益財団法人函館地域産業振興財団(北海道立工業技術センター)
	部署名	総務企画部産業支援課
	電話連絡先	0138-34-2600

事業名	デザイン支援事業・デザインセミナー「ブランディングのすすめ方」
-----	---------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

現代の市場において、商品パッケージやブランディングは、消費者の購買意欲を左右する重要な要素である。優れたデザインは、商品の魅力を引き立てるとともに、ブランドの認知度を高め、競争力を強化するための強力なツールとなる。また、デザインに係る知的財産権を適切に活用することで、企業は独自性を保持しつつ、法的保護を受けることが可能となる。これにより、販路の拡大や新規顧客の獲得が期待される。

こうした観点から、函館地域におけるデザイン業務従事者の意識醸成を図るため、専門家を講師として招き、講演を実施した。併せて、講演後には個別相談会を実施した。

①講演【令和7年3月6日(木)、参加人数:41名】

函館デザイン協議会会長、株式会社ガーデン代表取締役 グラフィックデザイナーの佐賀吉憲氏を講師に招き、デザイン・知財を活用した販路開拓・拡大やブランディングのすすめ方について、道南地域の事例を紹介しながら説明した。

②個別相談会【令和7年3月6日(木)、相談件数:4件(企業及び個人)】

講演後、希望者に対して個別の相談会を実施した。相談には佐賀氏と函館デザイン協議会副会長 掛端氏が対応した。自社の職員採用や販路拡大に係る広告のデザイン、商品の形状に関する相談等が寄せられた。



主催 公益財団法人函館地域産業振興財団
 後援 函館市、北斗市、七飯町、函館デザイン協議会

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	513千円

北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場
	部署名	ヒューマンテクノロジー部 デザイングループ
	電話連絡先	011-747-2377

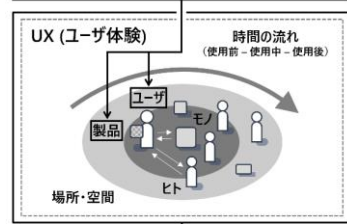
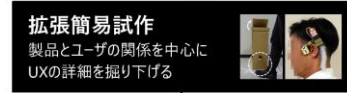
事業名	デザイン関連研究開発
-----	------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

道内企業が新製品開発やデザイン活用をより効果的・効率的に進められるように、デザイン方法論やこれを支援するツールの開発、これらを活用した実践的なケーススタディ研究に取り組んでいます。



<主な研究テーマ>

- 人間中心設計のための UX プロトotypingに関する研究 (R5~R6)**
製品開発プロセスにおいて開発者間での共通理解や合意形成には、UX(ユーザー体験)の理解が重要である。本研究では、「拡張簡易試作」と「コースシーン試作」の2種の試作技術を開発し、ケーススタディで有用性を確認するとともに、具体的な活用法やツールを「試作活用ガイド(<https://designproto.design.blog/ux-PROTO/>)」で公開した。
- 食品パッケージデザインへの生成 AI および XR 技術の適用に関する研究 (R6~R7)**
パッケージデザインの高品質化と効率化を目的に、生成 AI によるデザイン案生成および XR デバイスを用いた 3DCG 評価手法を構築。試験運用を通じて各手法の利点と課題を整理し、得られた知見や開発したツールは note にて公開予定。
- 生体情報計測によるリアルタイム感情推定手法の開発 (R7~R8)**
製品開発や医療福祉等の多分野において、人の感情をリアルタイムかつ定量的に評価する手法が求められている。本研究では、生体情報からリアルタイムに感情を推定する手法を開発する。



UX プロトotyping技術研究

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	-	-

北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場	
	部署名	ヒューマンテクノロジー部 デザイングループ	
	電話連絡先	011-747-2377	
事業名	デザイン開発力向上講座「つくりながら考えるデザイン」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>道内ものづくり企業を対象に、自社製品開発にデザインの考え方や手法を取り入れるための実践講座を開催しています。製品開発講座は平成 29 年度から行っており、簡易試作を積極的に取り入れた本プログラムは令和 3 年から開始しています。</p> <p>【令和 6 年度 デザイン開発力向上講座】 期間:2024 年 9 月 20 日～11 月 15 日 集合開催 3 回 個別フォローアップ各社 2 回 講師:高橋尚基デザイン事務所 代表 高橋 尚基 氏 参加者:道内企業 4 社 7 名 参加費:無料</p> <p>【講座プログラム】 事前打ち合わせ・企業訪問:開発テーマの確認・検討 第 1 回集合研修:オリエンテーション・簡易試作をしてみよう 個別フォローアップ①:アイデア深掘り・方向性の検討 第 2 回集合研修:アイデアのユースシーンを可視化してみよう 個別フォローアップ②:アイデアまとめ・製品コンセプトの整理 第 3 回集合研修:わかりやすい製品企画資料をつくってみよう ※講座終了後も製品化に向けたフォローアップが可能です。</p>		 	
令和 7 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和 3 年度	-

北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 工業試験場
	部署名	ヒューマンテクノロジー部 デザイングループ
	電話連絡先	011-747-2377

事業名	デザイン技術支援・設備開放
------------	----------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

1. 技術相談・技術指導(無料)

中小企業が取り組む新製品開発やデザイン試作、またデザイン業とのマッチングなど、様々なデザイン関連の相談に対して支援を行っています。

【R6 年度実績】技術相談 161 件、技術指導 11 件

2. 派遣指導・短期実用化研究開発(有料)

製品開発やブランディングなどのデザインに関する課題の解決に、企業と協働して集中的に取り組めます。

【R6 年度支援テーマ】

- ・CT 検査用腕置台の実用化開発(北海道ポラコン株式会社)(図 1)
他 1 件

3. 人材育成(無料)

デザイン開発プロセスで活用できる各種デジタルツールや機器をテーマに、実践的な研修・セミナーを開催しています。

【R6 年度開催テーマ】

- ・Blender Meetup Sapporo 2024
- ・XR と空間コンピューティングの産業利用セミナー(図 2)
- ・3D デジタルツールを活用した小ロット樹脂部品生産
- ・5 軸加工とデジタル技術研修

4. 設備開放・依頼試験(有料)

各種デザイン試作設備を企業に開放しています。また、製品開発に伴う試験の依頼にも対応しています。

【開放しているデザイン試作設備・試験設備】

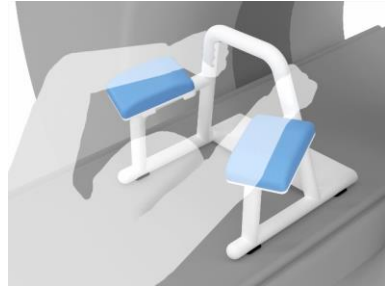


図 1 デザイン支援(CT 検査腕置台)



図 2 XR セミナー



光造形システム



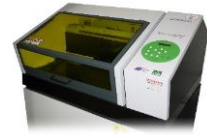
3D スキャナ



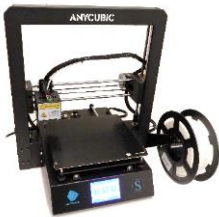
5 軸 NC 加工機



レーザー加工機



UV プリンター



3D プリンター



真空成型機



真空注型機



恒温恒湿器

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	-	-

北海道	機関名	旭川市
	部署名	旭川市工芸センター
	電話連絡先	0166-66-1770

事業名	国際家具デザインフェア旭川 (IFDA) 2024 の開催支援
-----	---------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

新しい生活文化の提案と発信を目的として、平成2年から3年ごとに開催している国際家具デザインフェア旭川 (IFDA) は、今回で 12 回目の開催となる。国際的な木製家具のデザインコンペティションとして定着し、世界中のデザイナーと家具産地旭川にとって、より親密な国際交流を図る場となっている。

メイン事業であるデザインコンペティションは、38 か国・地域から 655 点の応募があり、最高賞であるゴールドリーフ賞をはじめとする入賞作品5点が選定された。

選定に当たっては、今回新たな試みとして、本審査の前に入賞候補 15 作品の応募者自らが審査委員の前で作品に込めた思いやコンセプトなどをプレゼンテーションする場が設けられ、さらに審査結果が表彰式で発表されるなど、全ての賞が発表される瞬間まで楽しむことができる、よりエンターテインメント性が高い内容で行われた。

また、上記の 15 作品は、「IFDA2024 入賞入選作品展」として、6月 19 日から9月 29 日まで旭川デザインセンター内で展示された。



デザインコンペティション表彰式の様子



ゴールドリーフ賞 受賞作品
(旭川デザインセンターにて展示)

<参考 URL >
<https://ifda.jp>

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
事業予定なし。次回(2027)開催に向け、令和8年度から準備。	平成2年度	5,500 千円(R6)

北海道	機関名	経済産業省北海道経済産業局
	部署名	地域経済部 産業技術革新課 知的財産室
	電話連絡先	011-709-2311(内線 2586)

事業名	地域におけるデザイン活用促進事業
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<事業内容>

道内に幅広く、経営におけるデザインの活用や知的財産権で保護することの重要性を普及するため、「札幌市」と「帯広市」の2地域でデザインセミナーを開催。デザインを活用して企業価値を向上させている企業の事例を紹介した。

① 札幌

【日時】2024年10月29日(火)18:00~20:00
 【場所】札幌文化芸術交流プラザ2階 SCARTS スタジオ
 【講師】株式会社カンディハウス 代表取締役社長 染谷 哲義 氏
 MORIHICO.代表取締役 アートディレクター 市川 草介 氏
 【参加人数】会場:82名 オンライン:46名

② 帯広

【日時】2024年11月15日(金)15:00~17:00
 【場所】帯広経済センタービル4階
 【講師】環境大善株式会社 代表取締役 窪之内 誠 氏
 KD アートディレクター 鎌田 順也 氏
 【参加人数】会場:41名 オンライン:52名



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	1,000千円

青森県	機関名	青森県
	部署名	交通・地域社会部地域生活文化課 文化スポーツ・NPOグループ
	電話連絡先	017-734-9207

事業名	高校生ファッションチャレンジ事業
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

創造力豊かで、チャレンジ精神あふれる人材の育成や、産業・地域の活性化を図るため、「全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園)」を毎年度開催している。
 ※平成 12～16 年度は県主催、平成 17 年度からはファッション甲子園実行委員会主催(県は実行委員会構成員として開催支援)

【第 23 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会
(ファッション甲子園 2024) 最終審査会】

- ・期 日:令和6年8月 25 日(日)
- ・場 所:弘前文化センター
- ・出 場:34 チーム(ファッションデザイン画の
応募総数 1,929 点(全国 95 校)から選ばれた 34 点)
- ・審査員:著名なファッションジャーナリストや
ファッションディレクター等
- ※Youtube ライブ配信視聴数:5,000 回



<参考 URL >

<https://www.f-koshien.com/>



令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成 12 年度	11,000 千円 (全体予算 26,053 千円)

青森県	機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0172-55-6740	
事業名	デザイン部業務		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザイン部は企業の事業化支援のため、「デザイン視点を加えた商品開発」および「地域工芸品の異分野展開」に関する研究と実用化を推進している。そのために以下の研究・および業務目標を掲げている。</p>			
<p>1. 開発研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者の社会参加を促す工芸プログラムに関する試験・研究開発 ◆高度技能に基づいた伝統工芸サブブランドに関する試験・研究開発 <li style="padding-left: 20px;">* 概要については次項に記載 			
<p>2. デザイン関連技術支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆技術普及: 研究会・研修会等を通じた企業支援と産業振興 ◆デザイン相談: 消費者ニーズに合致した商品の企画開発を支援 ◆技術相談: 商品開発や製造業務の中で出現した技術的課題への対応 ◆機器及び設備利用: 製品開発および販売促進ツール開発を支援するための機器および設備の貸出 ◆その他: デザイン依頼や試験、共同研究、受託研究を実施 			
<p>3. デザイン部員数: 5名</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		経常	1,000 千円



写真スタジオ



フラットベット型 UV プリンタ

レーザー彫刻機

青森県	機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所																						
	部署名	デザイン部																						
	電話連絡先	0172-55-6740																						
事業名	高齢者の社会参加を促す工芸プログラムに関する試験・研究開発 (R6-8)																							
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)																								
<p>本研究は、高齢者の社会参加を促進するためのフレイル予防を目的とした工芸プログラムの開発に関するものである。作業療法技術の考え方を応用し、「身体・心・社会性」のうち「心・社会性」に焦点を当てた工芸体験を開発している。目標は、既存の工芸体験に福祉視点を取り入れた新たな工芸ビジネスモデルの創出である。令和7年度の実績として、工芸体験の調査分析5件と試作体験キット2件、プログラム開発6件、ビデオマニュアルの作成、模擬試験の実施、特許申請などを行った。</p>																								
<p><体験講座の基本構成案 (R6 作成) ></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 10%;">工 程</th> <th style="width: 10%;">目安時間 (全60分)</th> <th style="width: 20%;">内 容</th> <th style="width: 60%;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>導 入</td> <td>5分</td> <td>説 明・リラックス</td> <td>相互に交流可能な状況を作る。</td> </tr> <tr> <td>知る活動</td> <td>10分</td> <td>情 報 提 供 と 共 有</td> <td>歴史・文化を共有する。</td> </tr> <tr> <td>創る活動</td> <td>30分</td> <td>作 業</td> <td>※20分以上の工程は分割する。 (高齢者対応)</td> </tr> <tr> <td>ま と め</td> <td>10分</td> <td>発 表 と 振 り 返 り</td> <td>作品を褒める。会話を促す。</td> </tr> </tbody> </table>					工 程	目安時間 (全60分)	内 容	その他	導 入	5分	説 明・リラックス	相互に交流可能な状況を作る。	知る活動	10分	情 報 提 供 と 共 有	歴史・文化を共有する。	創る活動	30分	作 業	※20分以上の工程は分割する。 (高齢者対応)	ま と め	10分	発 表 と 振 り 返 り	作品を褒める。会話を促す。
工 程	目安時間 (全60分)	内 容	その他																					
導 入	5分	説 明・リラックス	相互に交流可能な状況を作る。																					
知る活動	10分	情 報 提 供 と 共 有	歴史・文化を共有する。																					
創る活動	30分	作 業	※20分以上の工程は分割する。 (高齢者対応)																					
ま と め	10分	発 表 と 振 り 返 り	作品を褒める。会話を促す。																					
令和7年度実施予定		開始年度	予算額																					
継続して実施予定		令和6年度	1,017 千円																					



青森県	機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所
	部署名	デザイン部
	電話連絡先	0172-55-6740

事業名	高度技能に基づいた伝統工芸サブブランドに関する試験・研究開発(R6-8)
------------	--------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

本研究は、津軽塗の高度な技術を活用して、若年層が手に取りやすい価格帯のサブブランドを開発することを目的としている。近年若年層(15~34歳)の工芸品への関心が高まっているものの、適切な価格帯の商品が不足していることが課題である。課題解決の具体的なアプローチとして、津軽塗の製造技術を活用し、サブブランド商品の仕様書を作成するとともに、作業工程の分析や品質評価基準の設定を行っている。令和7年度は、試験片を用いた加飾分析や試作を進め、サブブランドの定義づけや、技術・商品の価格の根拠、デザインに関する知識などを共有するための工芸サブブランド研究会を開催し少ない工程でも技術が伝わる表現を提案した。

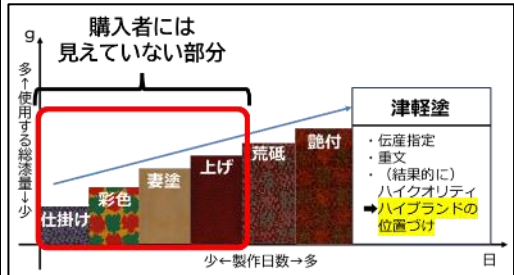


図 津軽塗のコストの見える化






工芸サブブランド研究会



研究会で提案した試作

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	1,141千円

青森県	機関名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前工業研究所	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0172-55-6740	
事業名	職人と地方公設試験研究機関の関係史から構想する津軽塗の多様性の復権と技術継承(科研費:課題番号 22K01089、研究分担者)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>本研究は、地方公設試験研究機関の活動史及び技術研究蓄積を再評価し、津軽塗デジタルアーカイブの構築と情報発信を通じて、職人と漆器の使い手(消費者)を横断的につなぎ、津軽塗の多様性を発信することを目的としている。これまでの主な取り組みとして、旧青森県工業試験場時代に制作された漆塗試作手板のデジタルアーカイブの作成や試験場 0B に対するインタビュー調査などを行い、津軽塗の魅力を職人自らが発信するための津軽塗「仕掛け」ワークショップを企画・開催した。</p>			
			
R5 大学生向けワークショップ		R5 一般市民向けワークショップ	
			
R7 高校生向けワークショップ			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定(R8で終了)		令和4年度	1,000 千円

青森県	機関名	八戸市	
	部署名	商工労働まちづくり部商工課	
	電話連絡先	0178-43-9242	
事業名	知的財産権対策支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>知的財産の保護及びその戦略的な活用に係る課題を抱えている中小企業者を対象として、弁理士による無料相談の実施、セミナーの開催及び国内特許等出願費補助金の交付を行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弁理士による無料相談 知的財産権全般に係る相談を無料で受け付けております(要事前予約)。 ・セミナーの開催 知的財産権の基礎についてのセミナーを年3回程度開催しております(参加無料)。 会場:八戸インテリジェントプラザ(八戸市北インター工業団地1-4-43) 講師:弁理士 富沢 知成 氏(株)八戸インテリジェントプラザ 知的財産アドバイザー) ・国内特許等出願費補助金の交付 国内特許、国内実用新案及び国内意匠の出願を行う中小企業者(八戸圏域連携中枢都市圏構成市町村内のものに限る。)を対象として、出願に係る経費の一部を補助する。 補助対象経費:出願に必要な特許庁出願料及び弁理士経費 補助金上限額:(特許)15万円 (実用新案)10万円 (意匠)5万円(2件まで) <p>【申込先(3件共通)】 (株)八戸インテリジェントプラザ(八戸市北インター工業団地1-4-43) 電話:0178-21-2111 ファックス:0178-21-2119</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度で事業終了		平成13年度	4,190千円

岩手県	機関名	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター	
	部署名	産業デザイン部	
	電話連絡先	019-635-1115	
事業名	技術支援事業及び研究開発事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>研究成果や職員の専門的知識等を活用した技術相談、依頼試験への対応のほか、設備機器の貸出などを通じて県内の企業活動を支援しています。</p> <p>①復興支援 センターの持つ技術資源を活用し、企画、製品開発・技術開発、製品化、事業化までを総合的に支援します。</p> <p>②技術相談 新技術の照会、製品・原材料の分析や技術開発資金など、技術に関する様々な問題についての相談に応じます。</p> <p>③企業訪問 企業等の現場に直接職員が伺い、技術的課題の調査・解決に向けた助言を行います。</p> <p>④依頼試験等 各種分析・計測を行い、その結果を成績書として発行します。また、加工(デザイン加工含む)を行い、加工品をお渡しします。</p> <p>⑤デザイン制作 企業等の希望により、デザイン制作を行います。デザイン創作を伴わない場合は、デザイン加工で対応します。</p> <p>⑥設備機器貸出 センターが所有する機器を貸出します。一部の機器は所外への貸出も行っています。</p> <p>⑦受託研究 企業等の希望により、センターが行う研究です。</p> <p>⑧共同研究 企業等の希望により、企業等とセンターが共同で行う研究です。</p> <p>⑨人材育成 講習会の開催、職員の講師派遣、研修生の受入などを行うことで、企業技術者等の育成を支援します。</p> <p>⑩研究員派遣 技術開発に係る試験、研究、分析、検査、評価などに関する技術支援のため、研究員を企業等に派遣します。</p> <p>⑪研究開発型人材育成支援 新商品開発や技術課題解決などのため、企業等の技術者を受入れ、研究開発及び人材育成を支援します。</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	-

岩手県	機関名	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
	部署名	産業デザイン部
	電話連絡先	019-635-1115

事業名	IIRI DESIGN LAB (De.i)におけるデザイン支援
-----	----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

市場において競争力のある魅力的な商品の開発を支援するため、平成 31 年 4 月に、デザイン支援拠点「IIRIDESIGNLAB(デザインラボ)」を設置しました。
 デザインラボでは、岩手県内の製造事業者及びデザイナー等を対象に、「デザインの普及啓発」、「商品開発支援」、「デザイン手法・製品技術の研究開発」の3つの活動により、北国(岩手)の暮らしを創造するための支援を行います。

- 県内の製造事業者
- 工業製品製造事業者
 - 工芸品製造事業者
 - 食料品製造事業者
 - 印刷・関連事業者
 - その他の製造事業者

製造事業者及びデザイナー等の商品開発を支援

- デザイナー等
- マーケティングディレクター
 - クリエイティブディレクター
 - プロダクトデザイナー
 - アートディレクター
 - グラフィックデザイナー
 - その他のデザイナー等

De.i IIRI DESIGN LAB

3つの活動内容

デザインの普及啓発

デザイン情報の発信(セミナーの開催、ウェブ等での情報発信等)、ワークショップ等の開催、商品開発プロセス導入支援

デザイン活用支援

企業課題解決(経営のデザイン) 商品開発企画(広義のデザイン) 商品開発技術(狭義のデザイン) 人材育成、知財相談

デザイン手法・製品技術の研究開発

デザイン手法、塗工技術、木材加工技術等に係る研究開発

関連機関との連携

地方独立行政法人 岩手県工業技術センター

コト(ユーザー体験=北国(岩手)の暮らし)づくりのためのモノ(新商品)づくり



ホームページ <http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/>
 Facebook <https://www.facebook.com/IIRI.DESIGN.LAB/>
 Youtube <https://www.youtube.com/channel/UCiJY8goqHccQAwUJjWHU45Q>

令和7年度実施予定	令和7年度実施予定	令和7年度実施予定
継続して実施予定	継続して実施予定	継続して実施予定

岩手県	機関名	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
	部署名	産業デザイン部
	電話連絡先	019-635-1115

事業名	IIRI DESIGN LAB 令和7年度 まんずデザイン相談の日
-----	-----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

開催日: 毎月第3木曜日(基本)
 時間: ①9時～、②10時30分～、③13時30分～、④15時～
 ※全4回、各回50分程度
 場所: 岩手県工業技術センター デザインラボ(岩手県盛岡市北飯岡2-4-25)
 ※オンライン対応可
 内容: デザインに関する技術等の相談
 パッケージ、商品開発、集客、UI、宣伝・広告、Web、材料活用、UX、プロダクト、製品設計、グラフィック、自社技術活用、ブランディング、商品企画、PR、加工技術、販売促進、ビジネスモデル、デザイン経営、等
 対象者: 商品開発、製造、販売、サービス、経営などの事業を行っている・行おうと
 考えている企業・個人。
 定員: 各回1組(先着順)
 相談員: 産業デザイン部 研究員
 参加費: 無料
 主催: 地方独立行政法人 岩手県工業技術センター
 申込方法: 電子メール ※詳細は岩手県工業技術センターデザインラボ HP に掲載。

IIRI DESIGN LAB(岩手県工業技術センターデザインラボ)トップページ
<https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/>
 IIRI DESIGN LAB からのお知らせ
<https://www5.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/news.php?cat=0>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和7年4月から令和8年3月まで実施予定	令和5年度	-

宮城県	機関名	宮城県
	部署名	経済商工観光部 新産業振興課/産業技術総合センター
	電話連絡先	022-211-2722/022-377-8700

事業名	高度技術者養成研修「デザイン・商品企画コース」
-----	-------------------------

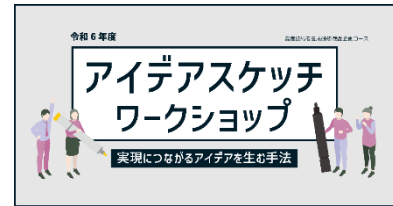
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■令和6年度 高度技術者養成研修 商品企画・デザインコース(有料研修)

(1) 生成 AI を活用した「マーケットイン手法による商品開発研修」
 開催日: 令和6年7月23日(火)～7月24日(水)
 会場: 宮城県産業技術総合センター
 講師: 株式会社フオグラ 代表取締役 高橋 雄一郎 氏
 定員: 10名
 詳細: https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/r6_marketin/



(2) アイデアスケッチワークショップ
 開催日: 令和6年8月27日(火)～8月28日(水)
 会場: 宮城県産業技術総合センター
 講師: 情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 教授 小林茂氏
 定員: 10名
 詳細: https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/r6_ideasketch/



(3) 【初心者向け】手軽に物撮り(商品撮影)ワークショップ
 開催日: 令和7年2月26日(火)
 会場: 宮城県産業技術総合センター
 講師: 宮城県産業技術総合センター 商品開発支援班 職員
 定員: 5名
 詳細: https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/2024_photo/



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成3年度	547千円 (事業全体 1,314千円)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2697

事業名	山形エクセレントデザイン事業
-----	----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内製品を対象とした顕彰事業「山形エクセレントデザイン」を平成9年度に開始した。現在は隔年開催としており、令和5年度に13回目となる「山形エクセレントデザイン 2023」を実施し、令和6年度には同受賞作品を展示する「山形をひらく、みんなのデザイン 山形エクセレントデザイン展 2024」を開催した。

■山形をひらく、みんなのデザイン 山形エクセレントデザイン展 2024

主催:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)
 協力:東北芸術工科大学(みちのおくの芸術祭「山形ビエンナーレ 2024」、「夏芸大」)、株式会社金入、株式会社 DMC 天童温泉
 内容:山形エクセレントデザイン 2023 受賞作品の展示、現地ツアー、ワークショップ
 夏芸大連携企画 特別講座:「山形をひらく、みんなのデザイン」/講師 長谷川敦士 氏
 期間:令和6年9月1日(日)～9月16日(月・祝)、※特別講座は、8月31日(土)
 会場:東北芸術工科大学



展示の様子



現地ツアーの様子



リーフレット(表紙)

■山形エクセレントデザイン 2023(参考)

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)
 内容:魅力的で競争力の高い製品づくりとデザインマインドの向上を目指し、県内で企画・開発・生産された優れたデザインの製品や取組みを選定・顕彰する。
 募集期間:令和5年7月3日(月)～9月8日(金)
 募集対象:過去5年以内に、県内で企画・開発・生産され、令和5年12月までにユーザーが購入または利用できるもの・こと
 応募数:60点
 審査委員:長谷川敦士氏(武蔵野美術大学 教授 / 株式会社コンセント 代表)、宇南山加子氏(株式会社 SyuRo 代表)、
 酒井聡氏(東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科 教授)、原田祐馬氏(UMA/design farm 代表)、
 吉泉聡氏(TAKT PROJECT 代表 / デザイナー)

選定結果:

- エクセレントデザイン大賞 「シェルターインクルーシブプレイス コバル」(株式会社夢の公園)
- 準大賞(2点) 「フルーツボックス りんごノラ・フランス」(株式会社丸定)
 「天童荘つなぎ勸治郎 ～天童温泉の源泉槽橋と景観・街並みの創出～」(株式会社天童荘)
- プロジェクトデザイン賞 「245Skate Park」(株式会社矢萩土建)
- サーキュラーデザイン賞 「KAKI ENERGY BAR (柿ベースエナジーバー)」(1Blue 株式会社)
- 入賞(8点) 「崧右工門の焼き干し芋」(株式会社 KIUEMON)
 「公共空間を舞台にした家具ブランド「neighbor」の開発」(株式会社 O1、株式会社 Y.D.K)
 「アレルギー対応離乳食「太陽と月のひかり」」(keiki li'ili'i 株式会社)
 「子姫芋キムチ(さがえ子姫芋活用プロジェクト)」(さがえ子姫芋組合)
 「Charmurs(シャルムス) スイートアーモンドオイル」(シャルム株式会社)
 「テーブル [bambi F-2738・F-2737・F-2742]」(株式会社天童木工)
 「ものづくりと情報発信をお手伝いするサービス「HIKARUBE」」(有限会社ヒカルマシナリー)
 「コニャクラゲ・チャコニャクラゲ」(まるい食品株式会社)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
「山形エクセレントデザイン 2025」の選定・顕彰を予定	平成9年度	3,415 千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2697

事業名	販路開拓支援事業”ブラッシュアップスクール”
-----	------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

「山形エクセレントデザイン 2023」受賞企業および奨励企業の販路開拓を目的とし、売り場視点からのブラッシュアップと販路開拓手法を学ぶ勉強会を開催するとともに、東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展し、販路開拓を行った。

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■ブラッシュアップスクール

内容:講師による講話及びアドバイス、受講者によるグループ討議

期日:令和6年5月～令和7年3月(計5回開催)

会場:山形県工業技術センター

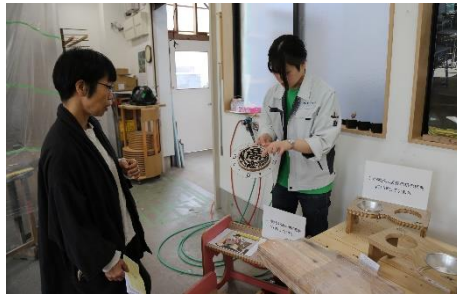
受講料:無料

参加企業:8社(山形エクセレントデザイン 2023 受賞企業、奨励企業)

講師:日野明子 氏(スタジオ木瓜 代表)、會田悠城 氏((有)ヒカルマシナリー)



グループ討議の様子



講師による企業訪問

■東京インターナショナル・ギフト・ショー出展

期日:令和7年2月12日(水)～2月14日(金)

会場:東京ビッグサイト

出展負担金:2万円(負担金その他、旅費・宿泊費については各自負担)

出展企業:5社(山形エクセレントデザイン 2023 受賞企業)



展示ブースの様子

< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定 「山形エクセレントデザイン 2025」の受賞企業・奨励企業等を対象とした ブラッシュアップスクールを開催	平成 27 年度	3,415 千円 (前頁山形エクセレントデザインの一部として実施)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2697

事業名	デザイン活用促進事業“デザ縁”
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内企業のデザイン力向上と積極的なデザイン活用を図るため、企業とデザイナーによるマッチング会を行う。企業とデザイナーの良好な関係を構築し、県内ものづくり企業がデザインを活用した自社製品開発に取り組みきっかけをつくる。

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■デザ縁(企業とデザイナーのマッチング)

内容:県内外のデザイナーによる県内製造業者のマッチング会を実施する。

期日:令和6年11月29日(金)

会場:山形県高度技術研究開発センター

参加者:製造業、サービス業、農業法人、行政機関等 50名

デザイナー:デザイン山形(山形市)、(株)フロット クリエイティブセクション(山形市)、strobelight(大江町)、竹永絵里(山形市)、青木亮太(朝日町)、クリエイティブ Lab(坂部印刷(株))(山形市)、(株)nanoha(山形市)、anori(山形市)、(同)DESIGN STUDIO K(山形市)、(株)アーキテクチュアランドスケープ(山形市)【10組12名】



デザイナーによる仕事紹介



デザイナーとの交流会

■オンライン“デザ縁”

内容:県内で活躍するデザイナーを紹介する「オンライン“デザ縁”」のホームページを運営し、オンラインで県内企業とデザイナーのマッチングを行った。



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >
<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 27 年度	3,415 千円 (前頁山形エクセレントデザインの一部分として実施)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2697

事業名	デザイン経営トランスフォーメーション促進事業 (やまがた&Dプロジェクト トランスフォーメーションスクール)
------------	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内企業と東北芸術工科大学学生が、様々な社会変化の兆しを学び、企業の新事業案を構想する勉強会を開催する。また、東北芸術工科大学学生との交流を通じて、双方の魅力の共有とコミュニティの形成を促し、県内におけるクリエイティブ人材の育成と活用を目指す。

実施主体:山形県

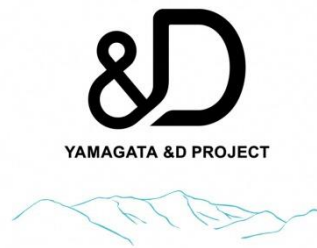
■デザイン経営トランスフォーメーション促進事業(やまがた&Dプロジェクト トランスフォーメーションスクール)

内容:多様な外部講師による講義を聞くことにより社会変化の兆しをインプットし、企業側は自社の課題の探究、学生側は若者の視点を活かした課題解決のためのアイデアを創出し、企業側に提案する。

参加者:企業6社、学生20名

企業チーム講師:石川俊祐氏(株式会社 KESIKI 共同経営者)

学生チーム総指揮:中山ダイスケ氏(東北芸術工科大学 学長)



企業同士のワークショップの様子



芸工大での企業と学生の合同勉強会

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	2,000 千円

福島県	機関名	福島県
	部署名	観光交流局県産品振興戦略課
	電話連絡先	024-521-7296

事業名	進化する伝統産業創生事業(ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー)
-----	------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

ふくしまクリエイティブクラフトアカデミーの開講・運営

県内の伝統工芸・地場産業に携わる人材が、デザイン・マーケティング・ブランディング・商品開発等にかかる知識を習得し、販売力強化に向けたスキルアップを図る場として、「ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー」を開講。

①受講対象：県内の地場産業に携わる職人・事業者・組合等、県内の地場産業の担い手を目指す者

②受講者数：28名(令和6年度)

③内容：ブランディングやデザイン等に精通した外部人材を講師とし、「海外市場の開拓」及び「海外観光客の需要」を見据えたワークショップ、講義、修了式・成果発表会のカリキュラムを実施した。また、台湾 TSUTAYA2 店舗にてテストマーケティングを行った。



<参考 URL>

<https://fukushima-craft.jp/about/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成28年度	23,718千円 (R6年度)

福島県	機関名	福島県
	部署名	観光交流局県産品振興戦略課
	電話連絡先	024-521-7296

事業名	「売れるデザイン」イノベーション事業
-----	--------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

- 1 ぶくしまベストデザインコンペティションの実施

県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」へのデザインの活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品を創出するため、優れたデザインを表彰するコンテストを実施する。

 - 対象商品
 - ①生産、製造または加工の最終段階を県内で行っている商品。
 - ②主な原材料が福島県産であって、県外の事業者等により製造された場合は、県内に主たる事業所を有する者が販売を行っている商品。
 - 審査委員

小山薫堂、真鍋かをり、国井美果、鈴木正晴、鈴木順之、菊地敦己、(公財)福島県観光物産交流協会理事長、県観光交流局長
 - 表彰部門
 - ・パッケージデザイン部門 ・キャッチコピー・ネーミング部門
 - ・プロダクトデザイン部門 ・クリエイターズバンク部門
 - 賞
 - ・グランプリ 1者 ・ゴールド 各部門1者
 - ・シルバー 各部門1者 ・ブロンズ 各部門1者
 - ・審査委員特別賞 1者 ・ロングライフデザイン賞 1者
 - ・イノベティブデザイン賞 1者



2019-20
グランプリ
さんま ささ干



2020-21
グランプリ
赤べこ絵付けキット



2022-23
グランプリ
福島県内 六酒蔵酒粕
ジェラートセット



2024-25
グランプリ
なん度も使えて可燃ごみに出せる
ペコペコしないサトウキビなコップ

- 2 クリエイターズバンクの運営

県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」等へのデザイン活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品の創出や効果的な販路開拓に繋げるため、事業者とクリエイターとの出会いの場をつくり、マッチング支援を行う

○ 事業概要

ふくしまクリエイターズバンクに登録するクリエイターと、デザイン活用を図りたい事業者のマッチングを行い、協業による新パッケージや販促物等の開発、ブランディング支援等を行う。

また、事業費の一部(事業者がクリエイターへ支払うデザイン開発経費等のうち半額(最大10万円))を県が支援する。

○ 募集対象者

①事業者

対象商品(県産品(生産、製造又は加工の最終段階を県内で行っている商品)として県内外で販売されているもの、または今後販売予定のもの。)の生産又は製造を行う県内事業者

②クリエイター

日本国内在住で、3年以上の実務経験及び実績を有する者。



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	平成30年度	17,282千円 (R6年度)

福島県	機関名	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
	部署名	産業工芸科
	電話連絡先	0242-39-2978

事業名	そだてる研究室事業(製造技術高度化研究会)「漆とデザインの研究会」
-----	-----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

漆とデザインの研究会は、漆器製造に関わる先人達が築き上げてきた技術、知識、意味を再確認し、現代に適合した漆塗料の在り方やデザイン性を追求し、新商品に結びつけるための技術研修と習得を行う研究会として活動している。

内 容:漆器製造に関わる技術に関する講習会、実習、視察
 開催日時:毎月第3水曜日 13時30分～15時30分(都合により変更になる場合がございます。)
 場 所:福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター ほか
 参 加 者:漆器の製造、販売、商品開発を行っている企業、個人
 講 師:県内、及び県外の大学教員、ハイテクプラザ職員、会津漆器職人 など



実習、講習会



視察(漆の大木)

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成22年度	134千円

福島県	機関名	福島県ハイテックプラザ会津若松技術支援センター
	部署名	産業工芸科
	電話連絡先	0242-39-2978

事業名	そだてる研究室事業(製造技術高度化研究会)「デジタルデザイン分科会」
-----	------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デジタルデザイン分科会は、主に県内企業のデジタルファブ리케이션(2D/3D データなどのデジタルデータを活用したモノづくり技術)に関する研修や習得を行う勉強会として活動している。

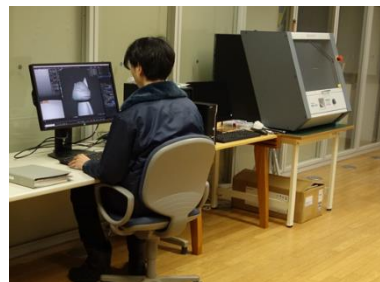
内 容:

開催日時:不定期

場 所:福島県ハイテックプラザ会津若松技術支援センター(リアルまたはオンライン形式)

参 加 者:主に県内の商品開発、製造、販売、サービス等の事業を行っている企業または個人

講 師:ハイテックプラザ職員、県内、及び県外の大学教員、その他外部講師 など



デザイン支援機器の実習(3D スキャナーなど)

※予算額は「漆とデザインの研究会」との合算です。

令和7年度実施予定

開始年度

予算額

継続して実施予定

令和元年度

134 千円※

東北経済産業局	機関名	東北経済産業局
	部署名	総務企画部企画調査課
	電話連絡先	022-221-4874
事業名	令和 6 年度地域のデザインリテラシー向上に向けた、インタウンデザイナーと自治体等の地域活性化に取り組む主体をつなぐ「ナレッジシェア・ポート(知識移転の場)創出」実証調査事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

1. 概要

少子高齢化、大都市への若年層の流出等をはじめ、地域課題が多様化・複雑化している中、地域の持続的な発展に貢献する専門人材の一つとして「インタウンデザイナー」に着目。東北地域において、インタウンデザイナーが地域課題にどのように向き合っどどのような役割を担っているか、また、地方自治体等の地域課題解決に取り組む主体との共創促進に必要となる要素や課題を明らかにするため、インタウンデザイナーへのヒアリングや討論会を実施した。実施結果はガイドブックとしてまとめ、公開している。

2. 実施内容

(1) インタウンデザイナーの掘り起こし、ヒアリング

東北各県からそれぞれインタウンデザイナーを1名ずつ発掘し、各者の取組内容や、東北地域への想いやデザインへの向き合い方、地方自治体等の共創内容についてヒアリングを実施。

【ヒアリング先】

- ・トコカワイラスト研究室 豊川 茅 氏(青森県青森市)
- ・鈴木 健一 氏(岩手県花巻市)
- ・合同会社スカイスター 伊藤 典博 氏(宮城県仙台市)
- ・ココラボトリー 後藤 仁 氏(秋田県秋田市)
- ・羽越のデザイン企業組合 富樫 繁朋 氏(山形県鶴岡市)
- ・手作業 小池 晶子 氏(福島県福島市)



日本海篇

(2) 公開イベントの開催

(1)及び令和 5 年度に発掘したインタウンデザイナー、地域課題解決へ主体として取り組む地方自治体の職員等を登壇者とし、地域課題解決に対するデザインの有効性や、地方自治体等とインタウンデザイナーが共創するうえで必要となる要素や課題等を議論する討論会を、日本海篇として秋田県、太平洋篇として宮城県でそれぞれ開催。

開催地	日時	場所	参加人数
秋田県秋田市(日本海篇)	2025年1月26日(日)	秋田市文化創造館	140名
宮城県仙台市(太平洋篇)	2025年2月22日(土)	STUDIO 080	120名



太平洋篇

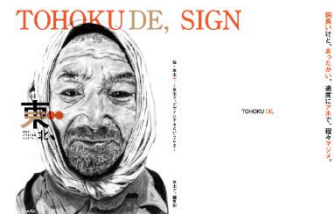
(3) ガイドブックの作成

地域のデザインリテラシーの向上や、地域課題解決に取り組む主体とデザイン人材の共創促進に繋がるよう、(1)及び(2)の実施により得られた知見をガイドブックとしてまとめ、公開。

3. 参考 URL

【調査結果のご案内】 <https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/chihososei/topics/250526.html>

【ガイドブック】 https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/chihososei/topics/pdf/250526_1.pdf



令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
令和 6 年度で事業終了	令和 5 年度	3,992 千円

茨城県	機関名	茨城県
	部署名	産業戦略部技術振興局技術革新課
	電話連絡先	029-301-3579

事業名	いばらきデザインカレレベルアップ事業
-----	--------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

○茨城県デザインセンターの設置
 県内中小企業等の製品の付加価値を高めるため、総合的なデザイン支援活動拠点として平成 9 年に「茨城県デザインセンター」を設置。デザイン相談や開発支援等を行うことで中小企業のデザイン開発力の向上を支援するとともに、県内外に本県の優れたデザインを発信し、ブランド力の向上を図る。

<委託先> 株式会社ひたちなかテクノセンター(茨城県ひたちなか市新光町 38)

○令和6年度事業の取組実績
 茨城県の地域や産業を元気にする優れたデザインを「いばらきデザインセレクション」として選定することで、いばらきの地域イメージを高めていくとともに、選定品をPRする「いばらきデザインフェア」を開催するなど、デザインの重要性の啓発及び地域産業の振興を図った。

【デザイン相談等】
 デザインコーディネーターによるデザイン企画の助言・相談 [相談件数:171件]

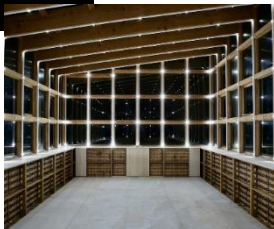
【いばらきデザインセレクション 2024】
 ・応募期間:令和6年6月 17 日～7月 31 日
 ・審査会:一次審査:令和6年8月9日、二次審査:10月 11 日
 ・応募件数:144 件
 ・選定結果:大賞(20周年特別賞)1件、知事選定5件、選定 37 件、シリーズ選定8件、奨励1件
 (部門) 製品・工芸部門、グラフィック・パッケージ部門、空間・建築部門、ソーシャルデザイン部門、コンテンツ・情報デザイン部門

【いばらきデザインフェア 2024-2025】
 ・令和7年1月 23 日～26 日 会場:IBARAKI sense -イバラキセンス-(茨城県アンテナショップ) [来場者数:8,427 人]
 ・令和7年2月 22 日～23 日 会場:イオンモール水戸内原 [来場者数:5,724 人]

<事業に関する情報が掲載されているサイト> URL:<https://idesign-c.jp/>(茨城県デザインセンター HP)

【いばらきデザインセレクション 2024 選定
 大賞(20周年特別賞)

知事選定



令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成9年度	13,855 千円

栃木県	機関名	栃木県
	部署名	産業労働観光部工業振興課
	電話連絡先	028-623-3198

事業名	栃木県優良デザイン選定・表彰事業
-----	------------------

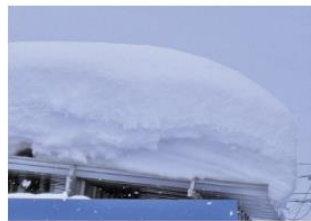
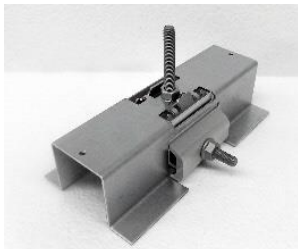
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【とちぎデザイン大賞】

県内事業者のデザイン力の向上と魅力ある商品づくりを推進するため、県内中小企業者等が製造する『自社商品』を募集し、デザイン等の観点から優れたものを「栃木県優良デザイン(Tマーク)」として選定するとともに、その中から特に優秀なものを「とちぎデザイン大賞」として表彰する。

- 募集対象:県内中小企業者の自社製造・自社開発による商品・パッケージ
- 募集期間:令和6(2024)年8月6日(火)～8月30日(金)
- 審査会:令和6(2024)年9月13日(金)
- 審査委員:デザイナー、大学教授、中小企業関係団体役員、流通関係者等 11名
- 審査方法:「デザイン」「産業」「社会」の観点から審査
- 審査結果:栃木県優良デザイン(Tマーク)…6点
とちぎデザイン大賞…最優秀賞1点、部門賞4点
栃木県デザイン協会会長賞…1点
ホープ・デザイン…1点
- 表彰式:令和6(2024)年12月20日(金)

<事業 URL> https://www.pref.tochigi.lg.jp/f02/work/shoukougyou/chitekishoyuukent/mark_index.html



- ・令和6(2024)年度 とちぎデザイン大賞
- ・最優秀賞商品名:ハゼ折板用「マルチグリッブ積雪仕様」
- ・製造:株式会社カナメ

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成元年度	694千円

栃木県	機関名	栃木県	
	部署名	産業労働観光部工業振興課	
	電話連絡先	028-623-3198	
事業名	とちぎデザイン塾		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【とちぎデザイン塾】 県内中小企業の競争力を高めるために、デザイン思考を習得するためのセミナー「とちぎデザイン塾」を実施 ○開催日: 10/11(金)、11/22(金)、12/13(金)、1/17(金)、2/14(金) (全5回) ○会 場: 県庁会議室 ○対 象: 県内中小企業者等 ○参加者: 4社6名 ○講 師: (株)クルー 代表取締役 馬場 了 氏 ○内 容: ユーザーの暮らしと商品の売り場を意識した演習を通じ、デザイン思考を取り入れた商品開発手法を学ぶセミナーを開催した。</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	574 千円



群馬県	機関名	群馬県
	部署名	産業経済部地域企業支援課
	電話連絡先	027-226-3358

事業名	グッドデザインぐんま商品選定事業
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

- 内容:デザインに対する理解と関心を高め、地域の産業振興と個性的で豊かな県民生活を目指し、県内の優れた工業製品等を「グッドデザインぐんま商品」として選定・推奨する。
- 応募資格:県内で規格・デザインされた工業製品等であって、県内で製造または販売されているもの
- 募集期間:令和5年6月30日(金)～9月29日(金) ※事業は各年で実施
- 選定:令和5年11月
- 表彰式:令和6年2月9日(金)
- 展示会:令和6年11月2日(土)～5日(火)

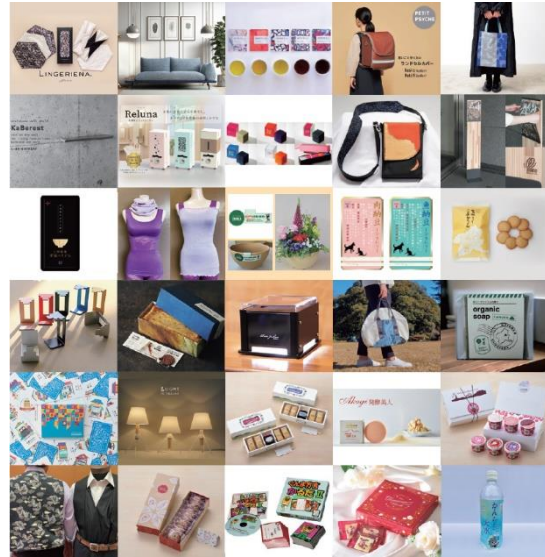
※参考URL(令和5年度選定商品)

<https://www.pref.gunma.jp/site/designgunma/623030.html>



ロゴマーク

選定商品(例)



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
一時休止	平成5年度	—

群馬県	機関名	群馬県
	部署名	地域創生部文化振興課
	電話連絡先	027-226-2592

事業名	「群馬パーセントフォーアート デザイン／アートワークス(略称:DAW)」
-----	--------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

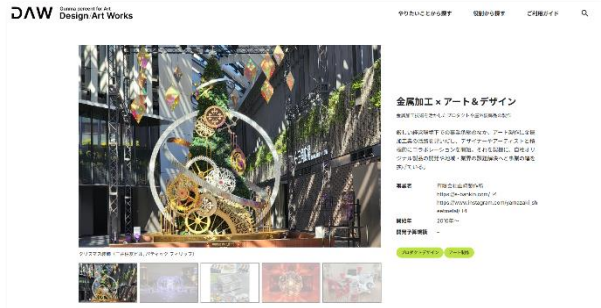
■概要

県予算の一定割合をアート振興に充てることを定めた全国初の条例「群馬パーセントフォーアート」推進条例に基づき、デザインやアートの活用事例を掲載したデータベース「群馬パーセントフォーアート デザイン／アートワークス(DAW)」を構築
(令和7年6月30日公開)

■「DAW」の特徴

デザインやアートのカテゴリー分類ではなく、利用者目線でやりたいこと、クリエイターの役割・得意技ごとに検索が可能。利用者は「新しい商品を作りたい」、「店舗やオフィスなどの空間を作りたい」といった目的から、活用事例やクリエイターを検索できる。気軽に調べられることで、これまでなじみのなかった方がデザインやアートを活用するきっかけとなる。

<参考 URL > <https://designart-works.pref.gunma.jp/>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	5,600千円

埼玉県	機関名	埼玉県
	部署名	産業技術総合センター 生産技術・事業化支援室 事業化支援担当
	電話連絡先	048-265-1420

事業名	Design を活用した課題解決事業
-----	--------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業概要】

県内中小企業が抱える事業化に向けた課題に対して、商品企画から販路開拓までの自主的な課題解決を支援することで、新製品開発や新技術開発を推進する。

【事業内容】

埼玉県産業技術総合センターにデザイン支援総合窓口を設置、デザイン専門職員(会計年度任用職員)2名を配置して、県内中小企業等の支援を実施する。

- デザイン相談の実施
相談件数 のべ 162 件
- 新商品開発支援
デザイン専門職員による伴走支援 14 件
- 商品企画デザイン塾の開催
計4回参加者合計 40 名
令和6年9月 27 日 「デザインの基本/デザイナーの取扱い説明書」
令和6年 10 月 10 日 「デザイン経営で自社の未来をひらく」
令和6年 10 月 30 日 「伝えたいことを伝える/プロダクト&グラフィックデザイン」
令和6年 11 月 21 日 「基礎から始めるプロダクト撮影」
- 特別セミナー 対談「デザイナー×企業」の開催
テーマ「ハイエンドのモノづくりをもっと身近に」
開催日 令和 6 年 12 月 18 日 参加者 会場 14 名、配信 18 名
- デザイン情報の発信
ホームページ、facebook によるデザイン情報の発信



「商品企画デザイン塾」の実施



「特別セミナー」チラシ

〈参考 URL〉

令和6年度事業まで (SAITEC DESIGN PARTNER)
<http://www.saitec.pref.saitama.lg.jp/SDP/main.html>
 令和7年度以降 (SAITEC DESIGN INNOVATION CENTER)
<https://sdic.pref.saitama.lg.jp/>

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
令和 6 年度で事業終了 令和 7 年度から SAITAMA デザインイノベーション事業を新規実施	令和2年度	2,307 千円

埼玉県	機関名	公益財団法人さいたま市産業創造財団
	部署名	企業支援課
	電話連絡先	048-851-6652

事業名	ブランドプロモーション支援事業
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

本事業に応募する企業を一般公募で広く募集を行いました。募集期限は1ヶ月程度
 希望のあった5社に対して、全体研修を2回実施しました。クローズド研修のため、一般参加企業はありません。
 研修後より2ヶ月程度はヒアリングとミーティングを繰り返し、デザインブリーフの策定を行いました。
 デザインブリーフ策定後、各社が希望する内容に沿ってデザインブリーフを元にパンフレットやWebサイトなど作成まで行いました。
 最後に成果物を2週間、さいたま市役所1階入りロビーに展示を行いました。



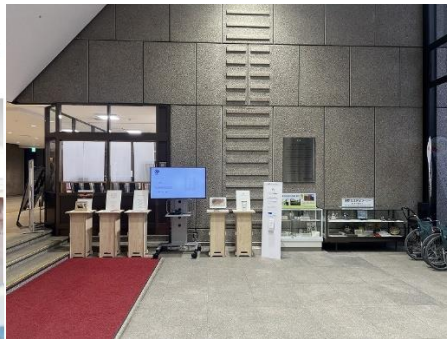
The Rubber Magic

ゴムには無限の可能性がある
 求められるなら強くも優しくもなれる
 求められるなら鮮やかな色も光もつくれる
 見たこともないものをつくり
 誰もができないことに張り込む
 あなたの課題を解決する
 驚きの製品を共創する
 The Rubber Magic



成果物(抜粋):(株)朝日ラバー

<参考URL><https://b.sozo-saitama.or.jp/>



さいたま市役所展示

大きく、福よか

野菜を感じる
 大きさのわけ

旨味と香り
 成熟していく
 三年漬け

たべる幸せ
 福よかに



成果物(抜粋):(株)河村屋

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	11,626 千円(令和7年度)

東京都	機関名	東京都
	部署名	産業労働局商工部創業支援課
	電話連絡先	03-5320-4745

事業名	デザイン経営支援事業
-----	------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

都内中小企業において、「デザイン経営」企業を創出・育成するため、デザイン経営を軸とした人材育成を実施するとともに、これに資する情報提供や窓口相談に対応しながら、都内中小企業とデザイナー等とのマッチングによる協働を促進する。

① デザイン導入支援セミナー(3回)

中小企業を対象にデザイン活用や導入方法、成功事例等を紹介するセミナーを開催し、デザインの有用性や必要性を普及・浸透させる。

② デザイン活用支援

デザインを導入する際の基礎知識やデザイン戦略、デザイナーの活用方法等を記したガイドブック及び公社・都・都関連団体で実施しているデザイン関連事業を集約したパンフレットを作成・配布することで、都内中小企業のデザイン活用を促進する。

③ デザインデータベース

デザイナーを検索可能なデータベースや公社及び関係機関の施策等をはじめ、デザイン経営や協働促進のための情報発信等を行うサイトを構築し、運営する。

④ デザインコラボマッチング(随時)

発注希望案件を持つ都内中小企業とデザイナーらの協働促進に向けた商談会(マッチング)を、対面または Web 会議方式にて実施する。

⑤ デザイン相談(週3回)

デザイン活用における疑問や課題を持つ中小企業に対して相談窓口を設置し、それぞれに応じたデザイン活用の実践的かつ具体的なアドバイス等を行う。

⑥ デザイン経営スクール(1回、企業10社、デザイナー10社)

都内中小企業及びデザイナーを対象に「デザイン経営」を体系的に学ぶためのスクールを運営する。カリキュラムは、デザイン経営の概要、ブランディングとイノベーションの創出を柱に、マーケティングやデザイントレンドを含めた講義や、企業とデザイナーとの協働体験を想定したワークショップを取り入れる。

⑦ デザイン経営推進アドバイザー派遣(15社、1社あたり最大6回)

「デザイン相談」利用者や「デザイン経営スクール」修了生など、デザイナーとの協業に積極的な中小企業に対し、デザイナー等を派遣し、企業によるデザイン経営の実践を推進する。

【マッチング】

【デザイン経営スクール】



<参考 URL>

<https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/design/index.html>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和2年度	36,709千円

東京都	機関名	東京都
	部署名	産業労働局商工部創業支援課
	電話連絡先	03-5320-4745

事業名	東京デザインコンペティション事業「東京ビジネスデザインアワード」
-----	----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

提案公募型コンペティション「東京ビジネスデザインアワード」を実施する。

優れた技術力を持つ都内中小企業から「自社保有の高度な加工技術や特殊な素材等」を「テーマ」として募集する。これに対し、国内のデザイナーから「テーマ」に対応する「技術や素材を活用した新たな商品開発・用途開発」、「技術を活かした新たなビジネスモデル」等を「提案」として募集、専門家による審査を経てテーマ毎に最も優れた提案を「テーマ賞」として1提案ずつ選定する。

選定された提案について、提案デザイナーによるプレゼンテーションに基づく最終審査を行い、「最優秀賞」1提案、「優秀賞」2提案程度を選定・表彰する。「テーマ賞」受賞提案については、デザイン関連イベントでの展示やHP等により結果を発信する。あわせて受賞案件の商品化・実現化に向けて個別コンサルティングによるフォローも行う。知財戦略・デザイン契約、広報戦略、販路開拓、デザイン開発導入のためのセミナーやワークショップなどを包括的に実施している。

【商品化事例】



<参考 URL>

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成24年度	50,690千円

神奈川県	機関名	川崎市
	部署名	経済労働局イノベーション推進部
	電話連絡先	044-200-2334

事業名	クリエイティブ産業活用促進事業
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

・川崎市では、さまざまな産業においてクリエイターやデザイナーの活用を促すことにより、市内事業者の情報発信力の強化、既存製品の改良、新製品開発等へとつなげることや、自社の事業に「デザイン思考」を取り入れ、経営改善、新事業の創出等につなげることを目指し、専門家による日常的な相談対応及びセミナーの実施、マッチングサイトの運営等を行っている。
 (※)予算としては、起業家支援拠点 Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC)の運営費を活用して実施

■相談対応の実施

実施場所:Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC)
 所在地:〒212-8554 川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー5 階
 (営業時間:平日 10 時~18 時 ※最終受付 17 時)

H P:https://www.k-nic.jp/communicator/

- ・起業家や製造業等の既存事業者からの相談、クリエイター/デザイナーからの相談など、幅広く対応。
- ・相談は、コミュニケーターによるオンライン相談や専門家による個別相談会など、さまざまな形式で実施。
- ・相談は事前予約制。内容によっては、川崎市産業振興財団等、連携する他の支援機関への案内となる場合がある。

■セミナー等の実施

①ユーザー視点に立ってどうということ?「デザイン思考」体験ワークショップ

開催日:令和 6 年 10 月 19 日(土) 13 時 00 分~17 時 00 分
 講師:トリプルデザイン株式会社 代表取締役 三上龍之氏
 内容:「デザイン思考」の考え方を体験するワークショップ



②ビジネス成功の鍵はランダム性 デザイン思考による柔軟な戦略

開催日:令和 6 年 11 月 11 日(月) 12 時 00 分~14 時 00 分
 講師:株式会社ホクサイ 代表 市角壮玄氏
 内容:デザイン思考の考え方を学ぶセミナー



③サービス改善を促進するデザイン思考プログラム(全 3 回集中講座)

開催日:令和 6 年 11 月 14 日(木)、22 日(金)、29 日(金) 18 時 00 分~21 時 00 分
 講師:株式会社 CURIO SCHOOL 若松誉典氏
 内容:3日間で実践的にデザイン思考のアプローチを習得するワークショップ



④デザイン思考で魅せる!効果的なプレゼン資料の作り方

開催日:令和 6 年 12 月 9 日(月) 12 時 00 分~14 時 00 分
 講師:講師:Canva Japan 認定講師 山本和泉氏
 内容:プレゼン資料の効果的な見せ方を学ぶセミナー



■事業者とクリエイター・デザイナーのマッチングサイト「かわさき Biz コン」の運営

- ・市内事業者とクリエイター・デザイナー等をつなぐためのマッチングサイト「かわさき Biz コン」を平成 28 年度より運営 (<https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000169716.html>) (※令和7年3月末閉鎖)
- ・本サイトは、事業者と一緒に仕事をしていきたいクリエイター・デザイナーがプロフィールや作品等を登録し、事業者がその情報をもとにクリエイター・デザイナーを探し、個別にアプローチするもの。また、事業者が取り組んでみたい内容をもとに最適なクリエイター・デザイナーを探すチャートや、無料相談のフォームなども併設している。

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
一部内容を変更して実施予定	—	50,000 千円 (K-NIC 運営費全体の予算額)

新潟県	機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構
	部署名	マーケティング支援グループ 生活関連マーケティングチーム
	電話連絡先	025-250-6288

事業名	生活関連産業マーケティング支援事業 「ニイガタ IDS デザインコンペティション」
-----	--

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

新潟県で生まれた商品・サービスのデザイン性（意匠の魅力、ならびに設計力）と、社会にもたらす付加価値を評価するコンペティション。本コンペを示す造語であるIDS（イデス。インテグラル・デザインング・システムズ）は「総合的に、デザインの力で、産業を育成するシステム」を意味しており、県内事業者の「新潟発ブランド化」に向けた挑戦を支援する取り組みとして、1990年から実施。



- 応募資格：新潟県内の企業・個人又は複数の県内企業で構成された団体・グループなど
- 応募商品：令和6年1月1日以降に発売、又は令和7年12月までに消費者が購入または利用できる商品やサービス
- 審査：2025年2月18日（火）※非公開
- 発表・表彰：2025年3月6日（木）
- 審査委員：デザイン、流通、情報の3ジャンルの専門家6名に委嘱
 - ・審査委員長
村田 智明 氏：(株)ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役
 - ・審査委員
土居 輝彦 氏：(株)ワールドフォトプレス mono マガジン編集ディレクター
永田 宙郷 氏：(合)ててて協働組合 共同代表/(株)TIMELESS 代表
平山 育男 氏：(大)長岡造形大学 副理事長 学長
廣田 尚子 氏：ヒロタデザインスタジオ代表、女子美術大学教授
矢島 里佳 氏：(株)和える 代表取締役



- ◎審査：「企画力」「実現力」「市場力」の3つの視点で審査
- ◎賞：大賞を含む7賞（12点） 出品商品数/80点、出品者数/65者
- <参考 URL> <https://www.nico.or.jp/ids>

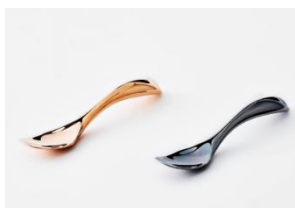
ニイガタ IDS デザインコンペティション 2025 受賞商品



IDS 大賞
「美味しい物を安く」
をこの先へ、つなぎ工程
と新デザイン
株式会社玉垣製麺所



IDS 準大賞
YAOCOS (ヤオコス)
株式会社ナカヤ



IDS 賞 パーソナル・バリュー
SUWADA Ice Cream Spoon
株式会社諏訪田製作所



IDS 賞 プロ・バリュー
レーザーロボ LEXIA VIVID 51
シンワ測定株式会社



IDS 賞 ライフ・バリュー
ひし形レードル
株式会社燕三条キッチン研究所



IDS 賞 ソーシャル・バリュー
新潟古町 100選
古町セセッション

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成2年度	18,857千円(生活関連産業マーケティング支援事業全体予算)

新潟県	機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構
	部署名	マーケティング支援グループ 生活関連マーケティングチーム
	電話連絡先	025-250-6288

事業名	生活関連産業マーケティング支援事業 「売れる商品開発プロジェクト」 「初心者のための商品開発講座」
------------	--

事業概要（事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など）

「売れる商品開発プロジェクト」

多彩なものづくりの土壌を持つ新潟県の生活関連産業をベースに、幅広い業種の参加による商品開発やプロモーション活動により、新潟発ブランドの構築を目指す「売れる商品開発プロジェクト」。

○実施コース：①百年物語コース ②オリジナルブランドコース

- ① 百年物語コース 参加企業数：3 社
- ② オリジナルブランドコース：1 社
- ※百年物語ブランドは平成 15 年開始

○外部アドバイザー：

- ・デザインアドバイザー：松井デザインスタジオ(株) 代表 松井龍哉 氏
- ・ブランディングアドバイザー：(株)環境構造研究システム 代表取締役 中村正樹 氏



<参考 URL> <https://www.nico.or.jp/hyaku/>
 Facebook ページ <https://www.facebook.com/hyakunen/>
 Instagram https://www.instagram.com/hyakunen_monogatari

「初心者のための商品開発講座」

自社ブランド商品の開発経験がない、もしくは経験の浅い企業を対象に商品企画のノウハウを伝える連続講座を実施。

○参加者：5 社

○講師：カブ・デザイン 代表 斎藤善子 氏

○内 容：

- 第 1 回 商品開発の4フェーズと 16 のプロセスとは？
- 第 2 回 重要度 70%の計画づくり
- 第 3 回 商品開発は価格から
- 第 4 回 試作品による商品の可視化
- 第 5 回 商品の何を伝えたいのか？
- 第 6 回 想いが伝わる商品の世界観
- 第 7 回 最終プレゼンをブラッシュアップ！



令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	令和元年度	18,857 千円(生活関連産業マーケティング支援事業全体予算)

新潟県	機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構
	部署名	マーケティング支援グループ 生活関連マーケティングチーム
	電話連絡先	025-250-6288

事業名	生活関連産業デザイン・ブランディング支援事業 「Design LAB (デザイン・ラボ)」 「新潟クリエイティブバンク」
-----	---

事業概要 (事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

Design LAB

「Design LAB (デザイン・ラボ)」

商品開発やプロモーションの相談から企業戦略までを「デザイン視点」で支援。

◎商品デザイン・ラボ (無料相談)

商品・サービスが生まれ、お客様の手に届くまで、「つくる」「魅せる」「伝える」の3つの視点で、アドバイザーによる相談対応を実施。

- ・デザイン相談：20件
- ・プロモーション相談：53件

◎企業戦略デザイン・ラボ

課題の発見から解決までの一連の流れを学び、課題解決力の向上を図る。

セミナーとワークショップによる連続講座 (全3回) を実施。

【講師】(株)フレーム 代表取締役 石川竜太 氏

○セミナー：

“自己理解”からのブランディング
～目指すべき旗の見つけ方～

- ・開催日：7/24 (水)
- ・参加者数：33名



○連続講座 (ワークショップ)：

「理想の自社のカタチ」を「見える化」する

- ・参加者数：6社



「新潟クリエイティブバンク」

県内企業が取組むモノやコトの開発における、クリエイティブ産業人材の効果的な活用促進を目的に、県内外で活躍するクリエイティブ業務に従事する事業所の情報を広く収集し、ホームページ等を通じて紹介する「新潟クリエイティブバンク」を運営。

バンクを活用して県内企業がクリエイターやデザイナーを探すマッチングの支援も行っている。

- ・対象：クリエイティブ業務を行う県内外に事務所を置く事業所 (法人・個人事業主)
- ・登録数：88社



<参考 URL> <https://www.nico.or.jp/creative-bank/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	令和元年度	2,447千円

新潟県	機関名	公益財団法人 新潟市産業振興財団
	部署名	ビジネス支援センター
	電話連絡先	025-226-0550

事業名	次世代人材育成事業 「Ride the WAVE 2024 ～地域の翼 トキエアの未来を考える」
-----	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<事業概要>

起業関心者、社内起業家、会社後継者に加え、若手経営者やマネージャー層、スタートアップを志す人など本市経済の未来を担う人材を包含する対象として「次世代ビジネスリーダー」を位置づけ、その覚醒と連携を促すプログラムを実施。

<概要>

トキエア株式会社のブランディング事業について実践的に考え、事業案を提案する過程で「ブランディング」の本質の理解を深め、最終的に自社のブランディングに実装できる力をつけることを目標として連続ワークショップを実施。交流会の開催やビジネスチャットツールの導入により参加者同士の異業種交流や仲間づくりを支援。

<詳細>連続ワークショップを6回開催(7月～12月)

会期	日程	会場	内容 (WS運営を新潟博報堂と委託契約)
第1回	7/22(月)14:00-15:30	NINNO3	記念講演/連続ワークショップ説明会
第2回	8/29(木)13:00-17:00	MOYORe:	そのブランドは「誰に」「何を」訴求するか
第3回	9/26(木)13:30-17:00	クロスバルにいがた	そのブランドを「いつ」「どのように」伝えるか
第4回	10/21(月)13:30-17:00	クロスバルにいがた	そのブランドを「何で」伝えるか
第5回	11/21(木)13:30-17:00	MOYORe:	成果発表会
第6回	12/5(木)13:30-17:00	新潟日報 メディアシップ	リフレクションワークショップ

※第1回記念講演
<特別講師>
一橋大学特任教授
楠木 建氏

※第2～6回
<講師>
株博報堂コンサルティング
森 泰規氏



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
テーマを変更し継続して実施	令和4年度	3,630 千円

新潟県	機関名	燕市
	部署名	産業振興部商工振興課
	電話連絡先	0256-77-8232

事業名	燕ブランド推進事業 「ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール 2025」 「若 mono デザインコンペティション燕 vol.9」
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール】

付加価値の高い商品を提供していくことを目的に、地域企業の企画力・デザイン力の充実を図り、オリジナリティ溢れる商品进行评估・推奨する。なお表彰式に合わせて、審査委員長によるデザイン思考を取り入れた新たな商品開発を支援するための講話を行い、新しい付加価値の高い商品を生み出す流れを創出していく。今回で48回目を数え、グランプリには経済産業大臣賞が授与される、歴史のあるコンクール。

- 募集対象:1.金属洋食器、金属ハウスウェア(国内の事業所(本店)が企画・開発・製造のいずれかに関わっているものに限る)
2.「1」以外の新製品(燕市内の事業所(工場、営業所等)が企画・開発・製造のいずれかに関わっているものに限る)
- 審査方法:現品、申込書、使用シーン動画(希望者のみ)による審査
※製品パッケージは審査対象外

■賞と賞金:

賞		賞金	賞		賞金
グランプリ	経済産業大臣賞	1点 50万円	優秀賞	関東経済産業局長賞	1点 20万円
準グランプリ	経済産業省製造産業局長賞	1点 30万円		新潟県知事賞	1点 20万円
		中小企業庁長官賞	1点 30万円	審査委員特別賞	委員毎に選定(他賞との重複なし、賞金なし)

■出品数:46点(31社)

【若 mono デザインコンペティション燕】

産官連携により学生や若手デザイナー・クリエイターを育成するとともに、若者目線の新しい価値や感性、才能を市内に呼び込み、地域企業の技術力とマッチングさせることで、付加価値の高い新製品の開発を行うことを目的としたコンペティション。

- 募集対象:市内ものづくり企業における新たな製品のプロダクトデザイン
- 応募資格:エントリー時点で39歳以下の個人やグループ
- 募集部門:1.デザイン部門(上級者向け)
2.アイデア部門(初級～中級者向け)
- 審査方法:審査委員による書類審査

■賞と賞金:

部門	賞	賞金	備考
デザイン部門	大賞	各30万円	協力企業は独自で商品化検討可能
	企業賞	なし	
アイデア部門	企業賞	なし	

■出品数:135点(デザイン部門:111点、アイデア部門:24点)

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成27年度	5,301千円

山梨県	機関名	山梨県
	部署名	山梨県産業技術センター
	電話連絡先	055-243-6111

事業名	研究開発・技術支援
-----	-----------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

- 【研究開発】
- ・成長戦略研究「山梨の特徴的な素材を生かしたアップサイクル技術の開発」
 - ・経常研究「パラメトリックデザインの地場産業への活用に関する研究」
 - ・経常研究「3D 技術を活用した紙の立体漉きに関する研究」

【技術相談】県内企業の技術的課題の解決や問い合わせなどについて対応。

【客員研究員による支援】特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する方を招聘し県内企業への支援を行う。

- ・(株)大沼デザインスタジオ 大沼 敦 氏

【職員派遣】県内団体が実施するデザイン関連の審査・試験等への職員の派遣。

【設備利用】生産技術の改善・開発、製品の品質向上・製品開発などを目的とした企業向け設備機器の開放。

主な設備



樹脂 3D プリンター



小型レーザー加工機



小型真空成型機



光学式 3D スキャナー

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成 4 年度	-

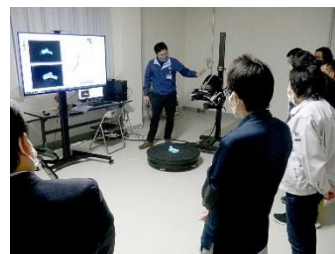
山梨県	機関名	山梨県
	部署名	山梨県産業技術センター
	電話連絡先	055-243-6111

事業名	人材育成事業
-----	--------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【ものづくり人材育成研修】デザイン技術を活用した商品開発の総合的な実務能力を有する高度人材の育成のため、実習を含む計3回の研修を実施。

- ・「3D スキャンとリバーシエンジニアリング」
- ・「レーザー加工機でカスタム治具をつくる」
- ・「3D プリンターの種類と特長を活かした活用」



【デザイン技術講習会】県内企業の商品開発活動促進のための情報提供・能力養成を行うセミナーを開催。

- ・「解像度を上げる ～成功に近づくためのトレーニング～」
- ・「創造的な地域産業をつくる」



【セルロース技術講習会】県内産業の和紙・木工業界に関するセミナーを開催。

- ・「木の可能性 ～木材活用の動向について～」

【トレンド・情報技術講習会】県内産業の繊維業界に関するセミナーを開催。

- ・「コスト上昇時代の「価格転嫁」について」

【技術者研修】企業技術者へのデザイン技術に関する個別研修を実施。

- ・「Adobe Photoshop Illustrator の技術習得」

【出前技術講座】職員が現場で技術や研究成果などを説明・解説する。

- ・山梨大学 PENTAS Yamanashi “地域仕事概論”「経営マインド」 URUSHINASHIKA -Koshu INDEN-
- ・寺子屋いいえん「デザインを基に、モノやコト、地域の豊かな経済循環を創る」
- ・医療機器産業技術人材育成講座「山梨県産業技術センターにおける機器設備等の紹介 —3D スキャナー・3D プリンターによるデザイン支援—」

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成4年度	470千円

山梨県	機関名	山梨県
	部署名	山梨県産業技術センター
	電話連絡先	055-243-6111

事業名	デザイン情報調査提供事業
-----	--------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デザイン開発を行う際に必要な各種デザイン情報を収集提供することにより、県内企業・デザイナーなどの事業活動を支援する。

- ・デザイン情報紙「DESIGN YAMANASHI」の発行
複数の分野にまたがる膨大なデザインの知識から、ものづくりのアイデアの誘因を目的としたキーワードを一つ取り上げ、商品・サービスの企画開発やデザインへの応用の方法・考え方をまとめ、ポストカード形式で隔月発行。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>
<https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/design/jouhoushi.html>

- ・デザインライブラリーの整備
各分野のデザイン関連図書情報を収集し、閲覧・貸出を行う。

- ・YAMANASHI DESIGN ARCHIVE の運営
山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を、産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して編集し、ウェブサイト上で公開、独自性のある商品開発等に使用する目的で提供を行う。

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>
<https://design-archive.pref.yamanashi.jp>



DESIGN YAMANASHI



YAMANASHI DESIGN ARCHIVE

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成4年度	1,200千円

長野県	機関名	長野県工業技術総合センター
	部署名	技術連携部門
	電話連絡先	026-268-0602

事業名	地域資源製品開発支援センター事業(愛称:デザインサポートながの)
-----	----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

○事業概要

【信州の地域資源を「喜ばれる商品・ブランド」に】

構想企画からデザイン、販売促進、情報発信まで地域資源を活かした商品化の実践を(公財)長野県産業振興機構、(一財)長野県発明協会等と連携して総合的に支援する。製品デザイン開発時には、専門家(デザイナー)を招聘し、総合プロデューサーを中心にしたチームでプロジェクトを推進する。また、事業者が負担する専門家への謝金の1/3を補助する制度を設けている。プロジェクト完了後は事業者の希望に沿って記者会見、県のアンテナショップにおけるモニタリング販売などのアフタフォロー支援を行う。

〈参考 URL〉

<https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/joho/chiikishigen/>

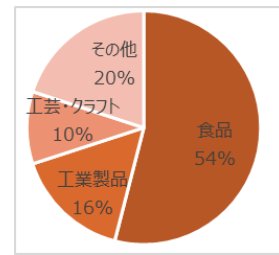
○支援実績(令和6年度)

商品化数 : 13件

支援案件数 : 110件

○商品化支援事例

商品化の内訳(2008-



麴すんきチーズ ICHIMASU (株)エイチ・アイ・エフ 【松本市】	乗鞍番所在来そば (有)竹田の里 【山形村】	えらんで楽しいきこみごはんの素 (株)はやしや 【松本市】	輸出用ブドウとリンゴの化粧箱デザイン (株)野の香 【生坂村】
木曾伝統のすんきの乳酸菌を使用した初の純国産チーズ「すんきチーズ」の商品化。パッケージや販促物のデザインを支援した。	希少性の高い乗鞍番所在来種そばを使用した商品のブランド化。ブランドロゴやパッケージ・販促物のデザインを支援した。	産学連携で開発した新しい商品の感性価値を高めるため、ブランドロゴ、ラベル、リーフレット等のデザインを支援した。	リンゴ、シャインマスカットを海外で販売するための化粧箱を制作。高級感のあるパッケージで他の商品との差別化を図った。

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成20年度	14,717 千円

長野県	機関名	長野市
	部署名	企画政策部広報広聴課都市ブランド推進室
	電話連絡先	026-224-9716

事業名	都市ブランディング推進事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

長野市が未来に向けて存在感(プレゼンス)を高め、「選ばれる都市」となるために、都市全体の固有の価値の創出と共感を呼び起こす「都市ブランディング」に取り組んでいる。

■ 経緯と実績

<経緯>

- ・令和2年10月 官民で組織するワーキングチームで都市ブランディングの方向性を検討
- ・令和3年1月 市内学生や若者を中心とした「ながのブランディングワークショップ 2021」を開催
- ・令和3年11月 都市ブランディングに関わる市民や関係者の拡大を図るとともに、地元クリエイターの発掘をねらいとする「NAGANO 未来デザインアワード」を開催(応募作品:125点)
- ・令和4年9月 長野市の魅力等のキーワード、未来のアイデアなどを聴き取るヒアリングを実施
- ・令和4年10月 都市ブランドのターゲットを参加者とするワークショップを開催
- ・令和4年11月 長野市の魅力や価値などについて、市公式LINE等により市民を中心にアンケート調査を実施(回答数:1,387件)
- ・令和5年7月 タグライン候補、都市ブランドコンセプト、都市ブランディングの取組過程等について市民意見を聴取し、タグラインを決定する際の参考とするため「都市ブランドアンケート」を実施(計176件)
- ・令和5年8月 都市ブランドデザインの使用者を想定した、市民、学生、クリエイター・発信者、市職員の意見書を聴取し、デザイン制作の参考とするため「都市ブランドデザイン会議」を開催(4回;延べ60名)
- ・令和5年8月 長野市のイメージ(色や景色など)について、市民意見を聴取し、デザイン制作の参考とするため「都市ブランドデザインアンケート」を実施(計550件)
- ・令和5年11月 長野市の都市ブランドのイメージを可視化した「都市ブランドデザイン(ロゴ)」と、都市ブランドに込められた想いを短い言葉で表現した「メッセージ(タグライン)」を作成し、記者発表会で披露
詳細:<https://www.city.nagano.nagano.jp/n042000/n042005/contents/p006070.html>
- ・令和6年1月 都市ブランドデザインの基本要素に関する使用ルール等をまとめたガイドラインを策定し、令和6年1月に市公式ホームページで公開
詳細:<https://www.city.nagano.nagano.jp/n042000/n042005/contents/p006071.html>

<実績>

都市ブランドへの認知を広く獲得するために、市民、企業・団体等と連携しながら、都市ブランドデザインを活用したインナーブランディング(市民の愛着や誇りの醸成)とアウトターブランディング(市外からの共感の獲得)に資するプロモーションを展開した。

- ・企業との協業 3社
- ・教育機関との協業 2校
- ・専用サイトのリニューアル
- ・SNSキャンペーン実施 等



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	8,937千円

長野県	機関名	諏訪市
	部署名	経済部商工課工業・ブランド振興係
	電話連絡先	0266-52-4141(内線 433)

事業名	地域ブランド SUWA プレミアム
-----	-------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

諏訪地域6市町村の事業者の商品を対象に官民連携地域ブランド「SUWA プレミアム」を運営しています。

(1) 認定審査会(年2回)

SUWA ブランド推進委員会による審査会が開かれ、審議の結果、認定となった商品についてオフィシャルショップや EC サイトで販売、WEB サイトや SNS 等で情報発信します。審査会では専門家によるデザインや販売方法等のアドバイスを事業者にフィードバックします。

(2) 販売・テスト販売(随時)

ブランド認定商品は諏訪市を代表する観光施設内で販売されます。また、認定前の商品についてもテスト販売を実施する事が可能です。消費者からの声を直に事業者に届けることが可能で、デザイン・販売方法等のブラッシュアップやマーケティングに繋がります。

(3) デザイナーとのマッチング支援(随時)

長野県デザイン振興協会と連携し、商品開発・デザインブラッシュアップを実施したい事業者と県内デザイナーとのマッチング支援を行います。

(4) 販路開拓イベント(年1回)

首都圏最大級の出展会場である東京ビックサイトにて展示販売イベントを開催し、商品の PR 及びブランドの認知度向上を図ります。

(5) 産業連携事業補助金(年1回/10月審査会 補助上限額 100万円・対象経費の2/3)

複数の産業間の連携を促進して、地域の活性化や課題解決を図る補助金です。本補助金を活用して諏訪市内の事業者とデザイナーとの協業を促進し、新たな商品開発や商品デザインのブラッシュアップに繋がった事例が創出されています。



<参考 URL>

<https://suwa-premium.net/>

<https://www.city.suwa.lg.jp/soshiki/19/4046.html>

令和8年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 26 年度	4,162 千円

静岡県	機関名	静岡県
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課
	電話連絡先	054-221-2522

事業名	グッドデザインしずおか選定事業
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

- ◆事業概要 : 静岡県内の中小企業におけるデザインの活用推進を図るため、県内中小企業等が生み出したデザイン性に優れた「モノ」「コト」を募集・選定し、デザインの活用事例として広く発信するとともに、販路開拓支援やデザインレベルの向上支援等を行う。
- ◆応募資格 : 静岡県内に活動拠点がある企業、団体、グループ、個人等
- ◆募集対象 : デザインを活用して生み出された、優れた製品や取組
- ◆募集期間 : 令和6年6月1日～令和6年7月31日 (応募数 63 点)
- ◆選定方法 : 大学教員、デザイナー、流通等の専門家、9名で構成された審査会を設置し、応募書類及び応募者によるプレゼンテーション審査の上、審査員の協議により選定
- ◆各賞 : 大賞(知事賞).....総合的に最も評価が高かったもの 1点
金賞.....総合的に評価が高かったもの 2点
匠賞.....上記以外で審査員の評価が高かったもの 1点
ユニバーサルデザイン賞.....〃 2点
特別賞.....〃 7点
- ◆審査日程 : 令和6年9月9日 一次審査(書類審査) 通過 25点
令和6年10月8日 二次審査(プレゼンテーション審査).... 選定 13点
- ◆表彰 : 令和6年11月19日 表彰式及び意見交換会



- ◆参加者支援 : [受賞者向け]
 - ・東京インターナショナル・ギフト・ショー2025 春への出展
 - ・流通アドバイス会への参加(販路開拓等について、専門家との個別面談)
 - ・選定品紹介パンフレット、静岡県ウェブサイトでの紹介
 - ・製品や広報等でのグッドデザインしずおかロゴマークの使用
- [選定までに至らなかった応募者対象]
- ・デザイン個別相談会

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >
<http://www.pref.shizuoka.jp/design/index.html>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成5年度	6,911千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	デザインマッチング事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>◆事業概要 : デザインを活用した製品開発等を希望する静岡県内中小企業等と民間デザイナーとのマッチングを支援するため、デザイナーと生産者の1対1の相談会を実施する。</p> <p>◆実施機関 : 静岡県工業技術研究所</p> <p>◆募集期間 : 令和6年6月3日～令和7年2月14日</p> <p>◆実施期間 : 令和6年6月～令和7年3月上旬(参加者が希望する日時で設定)</p> <p>◆デザイナー: 静岡県内で活躍する民間のデザイナー(14名)</p> <p>◆参加者 : 静岡県内中小企業、団体など (6者9回 マッチング4者)</p> <p>◆実施内容 : 静岡県内中小企業向けのデザイン相談会の開催 静岡県内中小企業とデザイナーとのマッチング及びそのフォローアップ</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成27年度	423千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	デザイン研究開発・相談・指導		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>◆事業概要 : デザイン部門を持たない中小企業が所持するのが難しい機器や、特殊な印刷、造形等が可能な機器の開放、販促用のポスター印刷やサンプル作成の依頼制作、デザインの技術的な相談・指導対応、及び研究開発を行い、静岡県内企業の交付価値製品開発の推進やデザインレベルの向上などデザイン活用の推進を図る。</p> <p>◆実施機関 : [制度的な相談] 地域産業課 [技術的な相談] 静岡県工業技術研究所</p> <p>◆実施内容 :</p> <p><input type="checkbox"/> 技術指導・相談 : デザイン相談窓口の設置</p> <p><input type="checkbox"/> デザイン開発総合支援システムの開放利用 : [主な所有機器] ・カラープロッタ ・レーザー加工機 ・三次元樹脂造型機 ・画像作成編集ソフト、動画作成編集ソフト など</p> <p>◆実績 :</p> <p><input type="checkbox"/> 技術指導・相談 : 1,682 件</p> <p><input type="checkbox"/> 機器の開放利用 : 193 件</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成13年度	6,322 千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	デザイン情報力強化事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>◆事業概要 : デザイン関係の相談窓口や情報提供、デザイナーバンク、デザインカレンダーなどの運営を行い、静岡県内企業がデザインを活用した製品開発や取組を実施することを支援することで、デザインレベルの向上やデザイン活用の推進を図る。</p> <p>◆実施機関 : 静岡県工業技術研究所</p> <p>◆実施内容 :</p> <p><input type="checkbox"/>デザイナーバンク : 静岡県内に活動拠点のあるデザイナー(グラフィック、プロダクトなど)の情報をデータベース化し、一覧表としてウェブサイト上に公開(登録デザイナー数:46名)</p> <p><input type="checkbox"/>デザインカレンダー : 静岡県内で開催されるデザイン関係のイベント情報を、カレンダーとしてウェブサイト上に公開</p> <p><input type="checkbox"/>デザインライブラリー: 工業技術研究所が所蔵する出版物(デザイン関連専門書、雑誌等)の閲覧(所蔵出版物:約 2300点)</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri.pref.shizuoka.jp/dis/</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成27年度	3,849千円

静岡県	機関名	静岡県
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課
	電話連絡先	054-221-3344

事業名	魅力ある個店を対象としたデザイン表彰(「地域のお店」デザイン表彰)
-----	-----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

◆事業概要 : 地域を牽引する高レベルな個店の連鎖で、エリアの魅力を高め、地域商業の活性化へとつなげるため、外観のデザインに留まらず、地域や社会への貢献、個店の持つべき機能の発揮等、広い意味でのデザインという観点から、魅力と個性に優れた個店を表彰する。

◆応募資格 : 「ふじのくに魅力ある個店」登録店
 ※ふじのくに魅力ある個店…県が主催する登録制度に登録された個店で、経営者である店主自らが接客などに直接携わり、静岡県内で営業している小売店、飲食店等の個別の路面店舗(チェーン店、大型店テナントを除く)を対象としている。

◆募集期間 : 令和6年6月1日～令和6年7月1日

◆選定方法 : デザイナー、まちづくり、ライフスタイル等の専門家4名で構成される審査委員会を設置し選定

◆審査日程 : 令和6年8月7日 一次審査(書類審査)
 令和6年9月5日、6日、10日 二次審査(現地審査)

◆表彰 : 大賞 1店舗、優秀賞 1店舗、特別賞 4店舗
 ※大賞(県知事賞)…総合的に優れた店舗(1店舗)
 優秀賞……………大賞に次ぐ優れた店舗(数店舗)
 特別賞……………今後の活動が期待される店舗(数店舗)

◆表彰式 : 令和7年1月21日(内容:表彰式、フォーラム(受賞店紹介、クロストーク)、店舗PR)

◆受賞支援 : 受賞店舗は、静岡県ウェブサイト、パンフレット等により広く周知

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >
<https://f-koten.pref.shizuoka.jp/award.html>






**ふじのくに
魅力ある個店**
Attractive Shizuoka Shops



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成28年度	2,465千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	ふじのくに未来デザイン選定事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>◆事業概要 : デザインを学ぶ学生が制作する「モノ」や「コト」を対象としたコンテストを実施し、制作者の着眼点や発想から、デザイナーとしての素質を評価し、未来のデザイナーを発掘する。</p> <p>◆応募資格 : 静岡県内在住又は通学、出身で、16歳以上の学生</p> <p>◆募集対象 : [自由提案部門]デザインを活用して提案した「モノ」「コト」 [地場産業部門]デザインを活用して提案した、静岡県の地場産業に関する「モノ」「コト」</p> <p>◆募集期間 : 令和6年6月1日～8月30日</p> <p>◆選定方法 : デザイナー等5名で構成される審査会を設置し、応募書類審査及び応募者によるプレゼンテーションの上、審査員の協議により選定</p> <p>◆審査日程 : 令和6年9月20日 一次審査(書類審査) 令和6年10月26日 二次審査(プレゼンテーション審査)</p> <p>◆表彰 : 優秀賞 4点</p> <p>◆受賞支援 : 選定盾と賞金の授与、静岡県ウェブサイト等での通知</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度で事業終了		令和元年度	1,575千円

富山県	機関名	富山県	
	部署名	商工労働部成長産業推進室商工企画課	
	電話連絡先	076-444-3245	
事業名	デザイン振興事業(一部)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■富山デザインウェブの開催支援 商品化を目的とした「富山デザインコンペティション」を核としたデザインイベントの集合体。デザイン開発の促進と、若手デザイナーの育成を目的として毎年開催。</p> <p>■デザイン系大学と連携したデザインワークショップ 県内企業のデザイン人材の確保及びデザイン思考の実践を支援するため、県内外のデザイン系大学の学生と県内企業が共同で試作品開発を行うワークショップ等を実施するなど、産学官連携による人材育成に取り組む。</p> <p>■とやまの新ブランド「美のこわけ」創出事業 R3 年度から「越中富山お土産プロジェクト」の第3弾として、県内の「美と癒し」をコンセプトとした新ブランド「美のこわけ」ブランディング及び商品開発支援のほか、認知度向上のための各種施策を実施。</p> <p>■クリエイティブ・デザイン・ハブでの新事業開発 国内外のデザイナー、企業等の多くの異業種の人材が集う拠点として平成 29 年にオープンした「クリエイティブ・デザイン・ハブ」における新商品開発・新事業創出を推進。</p> <p>■バーチャルスタジオの機能拡充 VR技術を活用したデザイン検証施設として整備した同スタジオについて、コロナ禍におけるオンライン配信ニーズに対応するため、関連設備を追加整備。既設の大型プロジェクション装置と連動することで、新商品、新ブランド発表のオンライン配信をはじめ、セミナー等各種イベントの配信にも対応。デザイン検証から情報発信までに対応する多目的スタジオとして機能拡充。</p>			
			
写真:ブランド発表オンライン配信			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
一部令和7年度も継続して実施予定		—	18,678 千円

富山県	機関名	富山県	
	部署名	商工労働部成長産業推進室商工企画課	
	電話連絡先	076-444-3245	
事業名	総合デザインセンター事業(一部)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザイナーの資質向上及びデザイン開発型企業の育成を目的に、富山県総合デザインセンターを中心として、商品企画からデザイン開発、販路開拓までを総合的に支援。</p> <p>■商品開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業等を対象とし、各企業の状況に応じた開発の方向性(新商品開発、パッケージデザイン、ブランド構築等)をアドバイス ・企業とデザインセンターの共同商品開発、各種コンペ優秀作品の商品化支援 ・3Dプリンター等、商品開発に必要な試作用設備の開放・操作指導 <p>■販路開拓支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山プロダクツ選定事業:県内で企画または製造される性能、品質及びデザイン性に優れた商品を「富山プロダクツ」として選定し、総合カタログやホームページへの掲載など販路開拓を支援。 ・デザインブランド販路開拓事業:セレクトショップ等を活用し、県内企業のデザイン性の高い商品を展示し、販路開拓を支援。 (令和3年度より、映像配信による支援を追加) <p>■デザインセミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業関係者等を対象にデザインの最新情報などを発信するデザインセミナーを開催。 <p><参考 URL> https://www.toyamadesign.jp/</p>			
			
		<p>写真:「meri」 (有)へちま産業 R7 富山プロダクツ選定品</p>	<p>配信チャンネル</p>
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和7年度も継続して実施予定		平成 11年度	23,256 千円

富山県	機関名	富山市
	部署名	商工労働部 コンベンション・築業物産課
	電話連絡先	076-443-2071

事業名	富山デザインフェア開催事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

企業や市民にデザインへの理解を深めてもらうため、優れた広告などの商業デザイン作品の展示をする他、若手デザイナーの育成を図るため、デザインワークショップなどを行う。

- 富山デザインフェア2024
 主催 富山市(運営:富山デザインフェア実行委員会)
 期 間 令和6年10月4日(金)～10月6日(日)
 場 所 富山市民プラザ、デザインサロン富山



- 展示(展示総数 793点)
 「2024 TOYAMA ADC 展」「日本パッケージデザイン展2024 とやま」他
 新聞、TVなどの広告や、ポスター、景観広告など 12 展

- パッケージデザインコンペティション
 デザイナーを目指す学生の技術力向上と本市パッケージ産業の振興を目的とした
 パッケージデザインコンペティションを実施。
 ・応募資格 日本国内の大学、大学院、短期大学、専門学校に在学中の学生
 ・テーマ 「富山の○○をつつむ」
 ・実績 応募総数121作品、うち入賞14 作品

- デザインセミナー
 デザインについて広く一般に理解してもらうため、国内外で活躍しているトップクリエイターを講師に招き、セミナーを実施。
 ・講師 前田 晃伸氏【アートディレクター/グラフィックデザイナー】
 ・テーマ BEING AN INDEPENDENT GRAPHIC DESIGNER
 ・入場者数 50 人

- デザインワークショップ
 ・要事前申込
 ・タイトル・内容 “ちょきちょきあつめてロゴデザイナー体験” オリガミでジブプロゴデザインを作ろう！
 ・対象年齢 小学生以上
 ・参加者数 46 人



< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.city.toyama.lg.jp/business/shokogyo/1010601/1005740.html>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成3年度	1,869 千円

富山県	機関名	富山市	
	部署名	商工労働部 コンベンション・築業物産課	
	電話連絡先	076-443-2071	
事業名	デザイン振興事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■デザイン展開催補助 次の県内のデザイン関係イベントに対する補助。 (1) 富山デザインウエーブ 2024 ・富山デザインコンペティション 2024 デザイン展(令和6年12月17日～26日 富山市ガラス美術館) ・意見交換会・県内企業とのマッチング会(令和6年11月19日) ・富山ものづくり視察ツアー(令和6年11月20日) ・ギャラリートーク(令和6年12月21日) (2) 第64回富山県デザイン展(令和6年11月15日～17日 富山市民プラザ2F)</p> <p>■デザインサロン富山運営補助 デザインの普及啓発を行うため活動拠点として設置され、富山市デザイン協議会が運営する「デザインサロン富山」に対し、運営補助する。 <事業内容> ・デザインに係る展示会及び、会議、セミナーの実施やデザインの交流ができる場を提供。 ・デザイナー相互やデザイナーと市民又は企業関係者が交流できる場所を提供。 ・十分な制作環境を有しない学生などに対し、制作に使用できる Mac などで作品を制作できる場の提供。 ・コピー機や大型プリンタの使用管理 ・デザイン関連書籍の閲覧</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		—	7,677 千円

富山県	機関名	富山市
	部署名	商工労働部 コンベンション・薬業物産課
	電話連絡先	076-443-2071

事業名	ポスターコーディネイト事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

市民に街角でポスターに親しんでもらい、デザインの普及と街の賑わいづくりを図るため、ポスターギャラリー及びポスターパネルに市のイメージポスターやデザイン性の高いポスターを掲示する。

■実施主体 富山市デザイン協議会(事業委託)



ポスターギャラリー(3基6面)



ポスターパネル(市内各所に設置されているパネルの歩道面6箇所)

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成18年度	1,277 千円

富山県	機関名	富山市
	部署名	商工労働部 コンベンション・薬業物産課
	電話連絡先	076-443-2071

事業名	グラフィックデザイン推進事業
-----	----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

本市で作成されるイベント等のポスターのイメージを統一的に整備するため、ポスターデザインコンペを実施し、有識者から成る富山市ポスターデザイン選定委員会を設置し、富山市のイメージに相応しいポスターを選定する。

■募集テーマ
富山デザインフェア2024(応募数 71)、第71回全日本チンドンコンクール(応募数19)、第64回富山まつり(応募数 18)、孫とおでかけ支援事業(応募数17)

■賞金
大賞50万円 準大賞10万円 優秀賞5万円×2
※孫とおでかけ支援事業は 大賞20万円 準大賞4万円 優秀賞2万円×2

■応募資格
以下の要件を満たす18歳以上の方
ポスターデザインが大賞に選定された場合、デザインを基にしたチラシ作成及び会場、その他の広告物の監修ができること。また、平日の日中に3~4回程度の打合せができること。(打合せ場所は富山市役所を予定)

■富山市ポスターデザイン選定委員会
審査委員長 伊東 順二 氏(美術評論家/富山市政策参与)
審査委員 中島 信也 氏(株式会社東北新社 顧問/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)
〃 舘鼻 則孝 氏(アーティスト)
〃 戸田 正寿 氏(アートディレクター)
〃 本木 克英 氏(日本映画監督協会 理事長/富山市政策参与)

■実績



富山デザインフェア2024



第 71 回全日本チンドンコンクール



第 64 回富山まつり



孫とおでかけ支援事業

事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.city.toyama.lg.jp/business/shokogyo/1010601/1005723.html>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	—	2,642 千円

石川県	機関名	石川県／公益財団法人石川県デザインセンター
	部署名	産業政策課／同上
	電話連絡先	076-225-1512／076-267-0365

事業名	基幹産業デザイン力育成支援事業
-----	------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

本県の基幹産業である機械・繊維・IT・食品等の中小企業を対象に、「デザイン」の活用促進やデザインに関連する人材育成を行う。

1 デザイン戦略セミナー

県内ものづくり企業や、伝統産業従事者、デザイナーを対象に、移住者から見た能登の生活や、地域の力を活かしたものづくりについてのセミナーを開催
回数:1回 / 参加者:31人 / テーマ:「の」のはなし

2 デザイン/新商品開発支援事業

県内企業の自社商品開発と県内若手デザイナー育成を目的に、企業とデザイナーが協働して行う新商品開発を支援
対象企業:4社 / 参加デザイナー:3名

3 デザイントライアル事業

工業デザインに関わる団体や大学が連携し、地元企業から提示された商品開発課題に対して、学生が講師の指導を受けながらデザインを提案
対象企業:1社 / 学生:13人 / 研修会・演習:10回程度
連携機関:石川県プロダクトデザイン協会・金城大学短期大学部



デザイントライアル事業 研修会の様子

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> <https://design-ishikawa.jp>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成23年度	県1,490千円 全1,990千円

石川県	機関名	石川県／金沢市／公益財団法人石川県デザインセンター
	部署名	産業政策課／クラフト政策推進課／同上
	電話連絡先	076-225-1512／076-220-2373／076-267-0365

事業名	デザイン振興事業
-----	----------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内におけるデザイン活用の推進やクラフト(工芸)産業の支援を目的に各種事業を実施することにより、本県産業及びデザイン業の振興を図る。

1 石川デザイン賞

デザインの普及や発展に貢献のあった企業や団体等を顕彰(3者)

2 デザイン相談・指導／情報収集・提供事業

デザインに関する各種相談への対応、県内デザイナーのデータベースの整備・運用、デザインライブラリーの運営など

3 マーケットイン商品開発事業

県内のクラフト作家等が、東京都内の百貨店における展示販売に向け、百貨店スタッフから指導を受けながら、マーケット側の視点を重視した商品開発を実施
参加者:19名 / 研修会:2回 / 展示会場:松屋銀座(東京都中央区)
会期:令和6年8月28日(水)～9月3日(火)



デザイン推奨事業 企画展会場

4 デザイン推奨事業

県内のデザインに優れたクラフト作家等を選定し、県内企画展出展や商品カタログの作成・配付等による販路開拓を支援
出展者数:14者
企画展:石川県地場産業振興センター 会期:令和7年3月19日(水)～4月8日(火)
いしかわ生活工芸ミュージアム(石川県伝統産業工芸館) 会期:令和7年5月16日(金)～7月14日(月)

5 第51回石川県デザイン展

デザインの重要性についてPRするため、県内の企業、デザイナー、学生から優れたデザイン作品を公募し、これらを一堂に展示
会期:令和6年11月21日(木)～11月24日(日) / 会場:石川県政記念しいのき迎賓館(金沢市) / 来場者:約4,200人
出展作品 一般:91件 学生:57件

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL > <https://design-ishikawa.jp>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	昭和60年度	県3,500千円 市1,700千円 全7,300千円

石川県	機関名	石川県工業試験場
	部署名	繊維生活部 デザイン開発室
	電話連絡先	076-267-8085

事業名	企業への技術支援・研究開発事業
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

石川県の中小企業等を対象に、デザイン開発技術の研究/指導を通じて新製品開発やブランディングなどを支援する。

1. 研究

県内産業界のニーズを取り込み、企業の技術向上を目指した研究を行う。

【研究テーマ(R6)】

- ・XR 技術を活用した製品のユーザビリティ評価に関する研究(図1参照)

2. 指導

(1)一般的な技術指導

さまざまな技術課題に対して、工業試験場の研究職員が場内での面談、電話、Eメール、オンライン面談などで指導を行う。(R6 実績・404 件)

(2)現地での技術指導

工業試験場の研究職員が、県内の各伝統工芸産地や工業団地、個々の企業を訪問し技術指導を行う。(R6 実績・63 件)

(3)中長期的な指導

県内企業に対して、新製品開発における技術的課題の解決支援や、研究成果の技術移転を行う。(R6 実績・2 テーマ 11 日)

【支援テーマ(R6)】

- ・3D 技術の活用による新しいテクスチャの鋳物のデザイン開発支援
- ・3D 画像マッピング手法による九谷焼避雷器の開発支援(図2参照)

3. 設備使用

3D プリンタ、3D スキャナなどの機器操作実習を通じ、県内企業等のデザイン開発を支援する。



(図1) XR 技術を活用した製品のユーザビリティ評価に関する研究



(図2) 3D 画像マッピング手法による九谷焼避雷器の開発支援

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	—	—

福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター
	部署名	デザイン振興部
	電話連絡先	0778-21-3154

事業名	福井デザインアカデミー開催事業
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【 目的 】

消費者ニーズの多様化の中で、ブランディングは当該商品を差別化し商品力をアップする手法として重要度が増しており、一連の活動をマネジメントできる人材を養成するとともに、そのような人材が活躍できる企業風土作りに向け、企業経営者層の理解の促進を図る。

【 事業内容 】

(1)「ブランディング & 商品開発講座」の開催

内容 :現状分析・商品設計・視覚伝達の3部構成で、それぞれの専門家による講義(ワークショップを含む)を開催した。

開催時期:令和6年7月12日~令和7年1月10日(全12回)

開催場所:福井県中小企業産業大学校

受講者 :21名(製造業・サービス業・飲食業 等)

講師 :鷹屋 信隆 氏(デザインアシスト)

平田 喜大 氏(エルゴデザインスタジオ/代表)

左合 ひとみ 氏(株式会社左合ひとみデザイン室/代表)

水野 美紀 氏(グラフィックデザイン晴れのひ。/代表)

高山 友樹 氏(he/rbest/代表)

受講料 :50,930円(税込)



(2)「デザインレクチャー」の開催

内容 :デザインの活用によって成長が期待される幅広い業界に対して各ニーズに応じたレクチャーを開催した。

開催時期:令和6年6月7日~令和6年11月27日(全14回)

開催場所:サンドーム福井ものづくりキャンパス

受講者 :40名(製造業・サービス業・飲食業 等)

講師 :鷹屋 信隆 氏(デザインアシスト)

受講料 :無料

<参考 URL > <http://www.sankan.jp/fmc/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成11年度	3,080千円

福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター	
	部署名	デザイン振興部	
	電話連絡先	0778-21-3154	
事業名	産業デザインプロデュース事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【 目的 】 消費者ニーズの多様化の中で、商品や販促ツール等へのデザイン活用はもとより、市場ニーズの把握から商品企画、販売までのプランディングなど一連のマーケティング活動による商品の差別化、商品力のアップが重要である。そこで、一連の活動をマネジメントできる人材が不足している企業に対して、専門的な指導・助言ができる人材を派遣し、より多くの県内企業のプランディング等の活動を促進する。</p> <p>【 事業内容 】 (1)デザイナー派遣(有料) 具体的な課題を有する企業に対して、課題に適合した県内専門家を派遣することで、企業プランディング、商品や販促ツール等のデザインについて指導を行う。 ・実施回数 延べ21回(4社) なお、専門家謝金の1/2を企業負担とする。</p> <p>(2)グループカウンセリング(無料) 同一課題を持つ企業グループに対し、評価指導を行い、今後の方針策定を支援する。 ・1グループあたり1~2回 ・実施回数 延べ7回</p> <p><参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成10年度	1,859千円



福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター
	部署名	デザイン振興部
	電話連絡先	0778-21-3154

事業名	ふくいまちなかクリエイティブズステーション開設事業
-----	---------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【 目的 】

近年、民間や行政においてはデザイナーをはじめとするクリエイターと協働し、政策やまちづくり、企業のブランディングなど様々な取り組みに「デザイン思考」を導入する活動が進んでいる。クリエイター、事業者、県民が気軽に交流し、デザインに触れてもらえる拠点を福井駅周辺のまちなかに設けることにより、多様な社会のニーズに対応できるデザイン・クリエイティブ人材の確保・育成を図るとともに、県民へのデザイン啓発、デザイン思考導入の強化を図る。

【 事業内容 】

(1)デザイン・クリエイティブ振興拠点の開設

内容 :クリエイター、事業者、県民が気軽に集まり交流できる拠点を福井駅周辺のまちなかに新たに開設し、デザインに関する相談窓口を設けるとともに、最適なクリエイターを紹介およびマッチングを行った。また、クリエイター同士の情報交換等の場として有効活用した。

名称 :ふくいクリエイティブホーム Cream

開設日 :令和6年11月11日

利用人数:484名(相談、交流、打ち合わせ、見学等)

マッチング件数:15件

(2)ふくいクリエイティブホーム Cream オープニングイベント

内容 :ふくいクリエイティブホーム Cream のオープニングイベント(挨拶、基調講演、トークセッション)を実施した。

開催日 :令和6年11月11日

開催場所:越乃バレー、ふくいクリエイティブホーム Cream

参加者 :100名

講師 :山出 淳也 氏(Yamaide Art Office 株式会社/代表取締役)

トークセッション登壇:山出 淳也 氏(Yamaide Art Office 株式会社/代表取締役)

景山 直恵 氏((一社)福井県クリエイター協会/代表理事)

坂田 守史 氏((一社)福井県クリエイター協会/理事)

新山 直広 氏((一社)福井県クリエイター協会/理事)



(3)Cream 専用サイト、クリエイターバンクの構築

Cream のホームページ、SNS アカウントを制作し、活動内容の周知を行った。また、県内クリエイター人材情報をデータベース化した「クリエイターバンク」を制作し、クリエイター間での情報共有や人材掘り起こし等に活用した。(登録者数 84 名)

(4)デザイン・クリエイティブ人材育成やデザイン啓発のためのイベント開催

①クリエイター交流会

内容 :県内クリエイターを主な対象として、様々な切り口によるグループでの勉強・交流会や外部クリエイターを招聘してのセミナー等を実施した。

開催時期:令和6年8月23日~令和7年3月13日(全11回)

開催場所:越乃バレー、ふくいクリエイティブホーム Cream ほか

参加者:387名



②啓発セミナー

内容:県内のデザインリテラシー向上を図るため、著名クリエイターによる講演、トークセッションを実施した。

開催日:令和7年1月31日

開催場所:越乃バレー

参加者:74名

講師:齋藤 精一 氏(パノラマティクス/主宰)

トークセッション登壇:齋藤 精一 氏(パノラマティクス/主宰)

内田 友紀 氏(RE:PUBLIC)

坂田 守史 氏((一社)福井県クリエイター協会/理事)

新山 直広 氏((一社)福井県クリエイター協会/理事)



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	17,708千円

福井県	機関名	福井県工業技術センター／公益財団法人ふくい産業支援センター
	部署名	企画支援部デザイン推進室／デザイン振興部
	電話連絡先	0776-55-0664／0778-21-3154

事業名	サンドーム福井 ものづくりキャンパス運営事業
------------	-------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

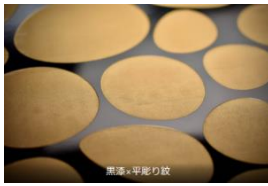
【目的】

福井ものづくりキャンパスにおいて、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業関係者、職人、学生など幅広い層を対象にしたものづくりに役立つ講座・教室を開催する。また、デザインラボの機材の維持を行うことで円滑な運営を図る。

【事業内容】

(1)新商品開発、販売、商品PR力の強化および人材育成としての拠点運営管理(福井県工業技術センター)

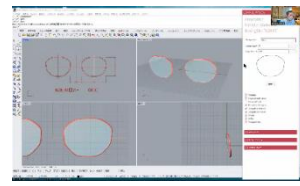
県内デザイナー、ものづくり企業向けの実践的な講座を開催するほか、デザインセンターによる新商品開発、デザイン支援やデザインラボでの試作品製作を行った。ものづくり企業から職人、学生まで幅広く対応。



デザインラボの試作機器を活用した共同研究事業により開発された加飾技法の一例



デザインラボでの試作を経て商品化された商品(左:耳かけ式のマスク、右:チョコレートのパッケージ)



デザインラボの試作機器を活用した商品開発研究から派生した眼鏡枠のデザイン業務省力化プログラム

(2)福井ものづくりキャンパス普及のためのデザイン×ものづくり啓発イベント((公財)ふくい産業支援センター)

① 親子を対象とした産地訪問型ワークショップを開催

- ・MONO CAN キッズ探検隊 in 土直漆器(参加者 5 組 12 名)
日時:令和 6 年 11 月 30 日(土) 10:00~11:30
講師:土直漆器の漆職人(越前漆器の製作用具や伝統工芸士の作品も鑑賞)
内容:職人の皆さんに丁寧に教えていただきながら、色漆を使って世界に一つだけのお箸作りに挑戦。それぞれのペースで納得がいくまで思い思いに取り組んでいた。
- ・MONO CAN キッズ探検隊 in 龍泉刃物(参加者 4 組 11 名)
日時:令和 6 年 12 月 14 日(土) 10:00~11:30
講師:龍泉刃物の刃物職人
内容:職人さんたちに教えていただきながら、世界に一つだけのマイスプーンを制作。完成したスプーンでプリンアラモードを食べ、心もお腹も満たされる貴重な体験となった。



② 伝統工芸品を活用した食の体験イベントを開催

- ・MONO CAN 親子でつくろう!デザートクレープ(参加者 6 組 15 名)
日時:令和 6 年 9 月 14 日(土) 14:00~16:00
講師:エスポワール オーナーシェフ 椿原徹也氏
内容:越前打刃物を使ってフルーツをカットすると、その切れ味に感動する親子が続出。伝統工芸の技術にも触れながら、心もお腹も満たされる充実した時間となった。
- ・MONO CAN 大人のクラフト教室 la clarté X RYUSEN JAPAN(参加者 30 名)
日時:令和 7 年 3 月 2 日(日) 13:30~15:30
講師:薪火の見えるレストラン ラクラルテ オーナーシェフ 松下ひかり氏
内容:生ハムやチーズを専用ナイフでカット。さらに龍泉刃物の増谷会長による包丁の使い方講座も行われ、「次回の開催が待ち遠しい」との声が多く寄せられた。



③ メディア等を活用した福井ものづくりキャンパスの広報

- ・MONO CAN ものづくりラジオ
FM福井朝のワイド番組「Morning Tune」にて、伝統工芸やものづくりに関わる方をゲストに招いてのインタビューコーナー「ものづくりラジオ」を放送し、Facebook、Instagram で広報した。さらに、収録の様子を撮影した動画を MONO CAN の YouTube チャンネルにアーカイブした。(参考:ラジオ R06 年 聴取者数:およそ 105,000 人(全 7 回放送))

<参考 URL > <http://www.sankan.jp/fmc/>

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成28年度	7,743 千円

岐阜県	機関名	岐阜県
	部署名	商工労働部地域産業課
	電話連絡先	058-272-8194

事業名	伝統工芸品デジタル促進等補助金
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

伝統産業に携わる事業者がウィズコロナ・アフターコロナ社会を見据えて行うECサイトの構築、デジタルを利用した情報発信、自社商品開発等の事業を助成する。

1 補助対象者

- ① 国が指定する伝統的工芸品の指定組合または県が指定する郷土工芸品の指定組合
- ② 国が指定する伝統的工芸品の指定組合の構成員または県が指定する郷土工芸品の指定組合の構成員
- ③ 伝統工芸品販売者等

2 補助事業等

(1) 補助対象事業

- ・デジタル活用事業 (ECサイトの構築・改修、ECサイトでのフェア開催、SNS等を活用した情報発信事業)
- ・展示会等出展事業 (国内外の展示会、見本市、商談会、物産展等への出展・開催事業)
- ・商品開発・改良事業

(2) 補助率

補助対象経費の1/2

(3) 補助額上限

上記補助対象者のうち、①該当事業者100万円/②③該当事業者30万円

(4) 事業期間

交付決定日～令和7年2月28日(金)

3 募集期間

令和6年4月9日(火)～随時受付

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	令和4年度	1,500千円

岐阜県	機関名	岐阜県
	部署名	商工労働部地域産業課
	電話連絡先	058-272-8361

事業名	中小企業販路開拓等支援事業費補助金
-----	-------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

1 補助対象者

地場産業に係る製造業を営む県内中小企業者(小規模事業者を除く)、県内地場産業の組合、実行委員会等
 ※地場産業 陶磁器、繊維・衣服、和紙、刃物、木工等(機械部品、水栓バルブ、プラスチック、食品等含む)に係る製造業

2 補助事業等

①見本市等出展・開催事業

補助対象事業者	補助対象事業	補助上限額※1
製造業に属する県内中小企業者	海外見本市等への出展、海外見本市等の開催	最大 100 万円
県内地場産業の組合、実行委員会等	国内・海外見本市等への出展、国内・海外見本市等の開催	最大 250 万円

②商品開発・改良、担い手育成、市場調査事業

補助対象事業者	補助対象事業	補助上限額※1
製造業に属する県内中小企業者、県内地場産業の組合、実行委員会等	商品開発・改良、担い手育成、市場調査	最大 250 万円

③県産品フェア開催事業

補助対象事業者	補助対象事業	補助上限額※1
製造業に属する県内中小企業者	EC サイト※2 での県産品フェア開催	最大 25 万円
県内地場産業の組合、実行委員会等	EC サイト※2 での県産品フェア開催、県内での県産品フェア開催	最大 250 万円

○補助率 補助対象経費の1/3(組合等にあつては1/2)

○事業期間 交付決定日～令和7年2月28日(金)

3 募集期間

令和6年4月5日(金)～5月10日(金)

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和2年度	32,000 千円

愛知県	機関名	愛知県	
	部署名	経済産業局 産業部 産業科学技術課 研究開発支援グループ	
	電話連絡先	052-954-6370	
事業名	知財経営総合支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内の中小企業等に対し、「デザイン経営」の普及啓発及び定着を図ることを目的にセミナー・ワークショップを開催。</p> <p>ワークショップ「カラダで学ぶデザイン思考」 日時:2025年2月17日(月)13時30分～17時 場所:ウインクあいち 18階 セミナールーム(名古屋市中村区名駅4丁目4-38) 講師:株式会社RW 代表取締役 株式会社菰野デザイン研究所 取締役 ライブデザインスクール リードデザイナー 稲波 伸行 氏 参加人数:8名 / 主催:特許庁、愛知県</p> <p>URL: https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-chizai/design2024.html</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	-

愛知県	機関名	名古屋市
	部署名	経済局産業労働部産業企画課
	電話連絡先	052-972-2412

事業名	クリエイティブ産業創業支援事業「クリエイターズショップ・ループ」
-----	----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

クリエイターの創業等を支援するため、クリエイター創業支援スペース「クリエイターズショップ・ループ」を設置し、販売・デザイン等の専門家によるアドバイスを受けながら商品の試験販売や活動紹介を実施できる場所を提供

【内容】

- ・商品販売と活動紹介の場としての売場スペースの提供
- ・商品の開発、ディスプレイ、販売促進の相談・指導、その他広報支援
- ・ワークショップなど顧客ニーズ把握のための機会提供

出店期間:令和6年4月26日～令和7年3月30日

出店審査:書類審査と面接

審査基準:応募資格、活動実績、創業計画、将来性、商品内容、サンプル商品など

出店者数:16者(通年出店5者+約40日間ごとに入替の期間出店10者)
費用:無料(※若干の諸費用、販売手数料あり)

企画運営:株式会社国際デザインセンター

<参考 URL> <https://loop.idcn.jp>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成23年度	17,649千円

愛知県	機関名	名古屋市
	部署名	経済局産業労働部産業企画課
	電話連絡先	052-972-2412

事業名	デザイン活用によるサステナブルビジネス展開支援事業「サスティーンナゴヤ」
-----	--------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

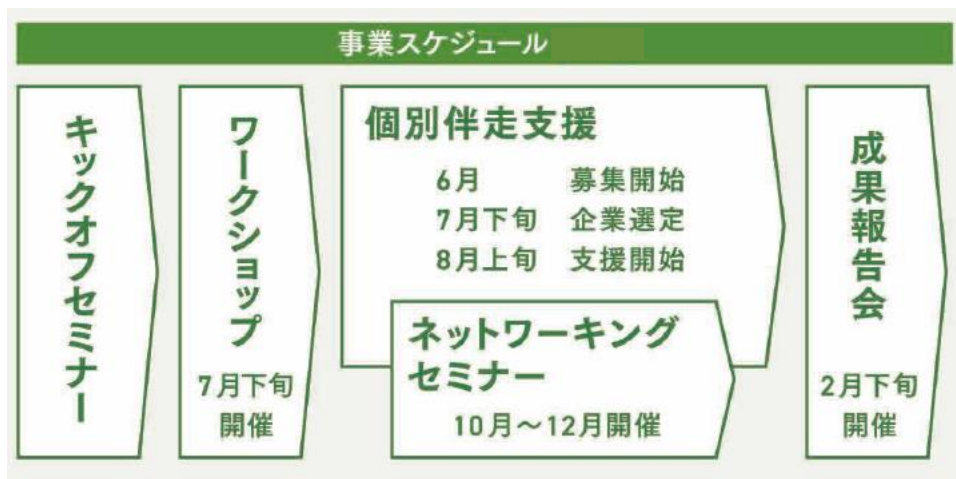
市内中小企業の競争力強化を図るため、デザインを活用し、SDGsの推進につながるサステナブルビジネス展開を支援

- (1) セミナー等の開催
 ビジネス展開の動機づけや方向性の検討を行うキックオフセミナー及びワークショップ等を実施
 キックオフセミナー 41名参加
 ワークショップ 21名参加
 ネットワーキングセミナー 21名参加
- (2) 専門家派遣による個別伴走支援
 新商品・新サービスの開発や広報・マーケティング戦略等に関して、各社の取組みに応じて中小企業診断士やデザイナーなどの専門家による伴走支援を実施 8者支援
- (3) 成果発表・情報発信
 伴走支援を受けた8者による成果発表を実施 35名参加
 SDGsの推進に取り組む企業や人材の裾野を広げるため、成果事例等をウェブサイトやSNS等で発信

主催 公益財団法人名古屋産業振興公社/企画運営 株式会社国際デザインセンター

<参考 URL> <https://www.sustain-nagoya.net/>

<事業スケジュール>



<ワークショップの実施風景>



<専門家派遣による個別伴走支援の実施風景>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	25,000千円

三重県	機関名	三重県	
	部署名	雇用経済部県産品振興課	
	電話連絡先	059-224-2336	
事業名	三重グッドデザイン(工芸品等)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内の伝統産業・地場産業の商品から、機能性、デザイン性に優れた革新的な商品を「三重グッドデザイン(工芸品等)」として選定(全 65 商品、41 事業者選定)。</p> <p>[令和6年度の実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■三重グッドデザインの選定 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに6商品を選定 ■三重グッドデザイン選定品の情報発信、販売促進支援 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外のフェアや展示会等で、リーフレットを配布 ・県内百貨店や首都圏のショップでフェアを開催し、展示販売や選定事業者によるワークショップを実施(令和7年2月~4月) <p><参考 URL > https://www.pref.mie.lg.jp/CHISHI/HP/87520000001.htm</p>			
			
都内(三重テラス)での展示販売			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和7年度は選定商品のプロモーションを実施予定		平成 26 年	1,063 千円

三重県	機関名	三重県
	部署名	雇用経済部県産品振興課
	電話連絡先	059-224-2336
事業名	多様な連携による商品開発・価値向上支援事業(オール三重プロジェクト事業)	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>伝統産業・地場産業事業者及び食関連事業者を対象に、多様な事業主体が地域や業種を越えて連携したコラボレーション商品の開発や、エシカル消費に対応した付加価値の高い商品の開発を行うための連続講座を開催。</p> <p>[令和6年度の実績]</p> <p>■参加事業者数 15 事業者 [内訳] 伝統産業・地場産業事業者 5 事業者 食関連事業者 10 事業者</p> <p>■講座実施回数 6回 (うち1回は、商品開発・価値向上に係るウェブセミナーを実施)</p> <p>■開発商品数 15 商品 [内訳] コラボレーション商品 7 商品 自社開発商品 8 商品</p> <p>■開発商品の展示販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の3店舗で POP UP を実施(令和7年2月~3月) ・無印良品銀座では、参加事業者によるワークショップを実施 ・神戸市内を中心とした複数店舗で食関連事業者の食材を使用した料理の提供 <p>■国内外への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特集記事を雑誌(紙面およびオンライン<国内向け・海外向け>)に掲載 ・県広報紙に特集記事を掲載 <p><参考 URL > https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0031100530.htm</p>		
令和7年度実施予定		開始年度
リニューアルして実施予定		令和2年度
		予算額
		13,022 千円



都内(無印良品 銀座)での展示販売

中部経済産業局	機関名	中部経済産業局
	部署名	資源エネルギー環境部 資源・燃料課
	電話連絡先	052-951-2781

事業名	SS 事業者向けデザイン経営ワークショップ事業
-----	-------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業内容】

全国の SS 数は、ガソリン需要の減少や後継者不足等により、平成6年度末をピークに減少し続けている。当局では、令和 5 年度に SS 事業者の経営活性化による地域への安定的な燃料供給を継続することを目的として、12の SS 事業者を対象に、デザイン思考を用いた新サービス・新事業の展開等に取り組む契機となるワークショップを開催。令和 6 年度は、これらの企業のうち次のステップに至った3社を対象に、自社らしさのブランド化からマーケティング、広報に至るまでを一貫して取り組む全4回のワークショップを開催。

○第 1 回:「ブランドとは『約束の力』」～ペルソナ設定、ブランドプロミス設定～

日時:2024 年 10 月 29 日(火) 13:00～16:00

○第 2 回「ブランドデザインツール」～心をつかむチラシ作成～

日時:2024 年 11 月 28 日(火) 13:00～16:00

○第 3 回:「デジタルマーケティング」～ブランドキーワード作成～

日時:2024 年 12 月 24 日(火) 13:00～16:00

○第 4 回:「ブランドメディア発信」～実践型プレスリリース作成～

日時:2025 年 1 月 28 日(火) 13:00～16:00

《ワークショップ実施風景》



令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
他機関にて同趣旨の事業を実施予定	令和5年度	996千円

中部経済産業局	機関名	中部経済産業局
	部署名	地域経済部 イノベーション推進課 知的財産室
	電話連絡先	052-951-2774

事業名	令和6年度デザイン経営支援による知的財産(意匠・商標)活用促進事業
-----	-----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

中部経済産業局では、管内(愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県)の中堅・中小企業が、地域に根ざしたデザインプロデューサーとチームを組み、デザイン経営の考え方を活用しながら新規事業創出やブランディング、事業承継などの課題の解決に向けた活動を促す「デザイン経営支援プログラム」を実施。

<事業内容>

■デザイン経営セミナー&プログラム説明会

・デザインプロデューサー向け

日時:令和6年9月25日(水)10:00~12:00

場所:ウイנקあいち/オンライン

・企業向け

【金沢会場】

日時:令和6年9月24日(火)14:00~16:00

場所:ITビジネスプラザ武蔵/オンライン

【名古屋会場】

日時:令和6年9月25日(水)14:00~16:00

場所:ウイנקあいち/オンライン

■プログラム参加企業・デザインプロデューサーの募集

(企業3社、デザインプロデューサー3名を選定)

■プログラム(伴走支援)実施(計3チーム)

■成果発表会

日時:令和7年3月3日(月)13:00~16:00

場所:Open Innovation Biotope“Cue”/オンライン

・支援趣旨説明

・デザイン経営支援事業成果発表(3チーム)

・トークセッション

・デザイン経営セミナー活動報告



<参考 URL>

https://www.chubu.meti.go.jp/b36tokkyo/event_2024/20250205/index.html

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
-	令和6年度	-

中部経済産業局	機関名	中部経済産業局
	部署名	産業部 流通・サービス産業課
	電話連絡先	052-951-0597

事業名	「地域ブランディングを考える」 ～地域ならではの価値をブランドにするための考察&体験～
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

日本では、地域の実情にあわせた暮らしが営まれ、各地域ならではの多様な「産業」「食」「文化」「伝統」が存在している。当局では、そういった地域ならではの価値を地域内外へ魅力的に発信していくことを目的に、地域ブランディングに関心のある自治体関係者、観光関係者、商工会議所等の地域支援団体関係者を対象に地域団体商標等の知的財産を活用するなど、価値を守りつつ育てる「地域ブランディング」について、全国での好事例やプロモーション施策の構築ワークから実践的に学ぶことができるイベントを開催。

〈事業内容〉

日時:2025年2月17日(月) 13:00~16:30

場所:ウイノクあいち1204号室(名古屋市中村区名駅4-4-38)

参加人数:50名程度(対面参加者のみ)

■第1部 基調講演 事例から学ぶ「地域ブランディング」

講師:株式会社ソフトワーク ゆえんユニットリーダー 二本柳 友彦 氏

内容:二本柳氏のこれまで従事した事業の経験・知見・ネットワークを活かした様々な地域ブランディングの取組事例を紹介。その中でも地域の持続的な体制を構築した諏訪市と伝統的文化を観光プロモーションに繋げた鉧路市のプロジェクトについて詳しく紹介。

■第2部 ワークショップ 体感する「地域ブランディング」

講師:井田幸希事務所 ブランドプロデューサー 井田 幸希 氏

内容:「ユーザー体験を深掘る」ことをテーマに、地域に根ざしたブランディング実践を自分ごととして実践するために、リアルなペルソナ像を設定し、ツアーを企画するワークを実施。

(当日の様子)



〈参考 URL〉

https://www.chubu.meti.go.jp/c52kanko/event_2024/20250129/index.html

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
-	令和6年度	-

大阪府	機関名	大阪府	
	部署名	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課	
	電話連絡先	06-6210-9491	
事業名	デザイン活用支援 oidc 「デザイン・オープン・カレッジ」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業の主旨】 中小企業及びデザイン事務所等を対象に、デザイン分野の先端知識や技術、最新動向に関するワークショップやフォーラムを開催することにより、ビジネスにデザインを活用できる人材、および社会のニーズに合わせた新たなビジネスの創出に対応できる人材の育成をめざす事業。</p> <p>【実施内容】</p> <p>① フォーラム 日時:令和6年10月8日(火)14:00~16:00 テーマ:「中小企業の未来 ビジョンに基づく経営とは」 講師:長谷川 敦士 氏(株式会社コンセント代表取締役社長/武蔵野美術大学造形構想学部教授) 受講者数:40名</p> <p>② ワークショップ① 日時:令和6年11月15日(金)、22日(金)(2日間実施)14:00~17:00 テーマ:「ビジョンを経営に活かす4つのメソッドを学ぶ」 講師:小山 啓一 氏(NINCHI 代表/ブランディングデザイナー) 受講者数:10名</p> <p>③ ワークショップ② 日時:令和6年12月5日(木)、12月6日(金)(2日間実施)14:00~17:00 テーマ:「存在意義と未来シナリオによるビジョンづくり」 講師:三澤 直加 氏(株式会社グラグリップ代表取締役/ビジョンデザイナー) 受講者数:7名</p> <p><参考 URL> ① https://oidc.jp/node/103 ② https://oidc.jp/node/120 ③ https://oidc.jp/node/123</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
公益財団法人大阪産業局にて継続して実施予定		昭和62年度	—



大阪府	機関名	大阪府
	部署名	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課
	電話連絡先	06-6210-9491
事業名	デザイン活用支援 oidc 「ビジネス・マッチング・ブログ(BMB)」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>【事業の趣旨】 中小企業の情報発信とビジネスマッチングを支援するサイト「ビジネス・マッチング・ブログ(BMB)」を核として、(地独)大阪産業技術研究所との共催により「ORIST 技術セミナー・BMB 勉強会(セミナー)」を開催。ものづくり中小企業等に社会的なトレンド情報や新技術、Web テクノロジー等を紹介する。</p> <p>【実施内容】(オンライン併用)</p> <p>① ORIST 技術セミナー・BMB 第 56 回勉強会 日時:令和 6 年 7 月 10 日(水) テーマ:「ChatGPT を使いこなすための人工知能入門と情報発信への応用」 講師: 喜多 俊輔 氏(地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 電子・機械システム研究部 主任研究員) 川本 誓文 氏(公益財団法人大阪産業局 起業支援事業部 デザイン活用支援 oidc チーフ) 参加者:24 名</p> <p>② ORIST 技術セミナー・BMB 第 57 回勉強会 日時:令和 6 年 11 月 11 日(月) テーマ:「AI を活用した産業機器の異常検知から予知保全まで」 講師:谷口 尚暉 氏(株式会社ジェイテクトサーモシステム 商品開発部) 王 暁星 博士(理学)(MathWorks Japan アプリケーションエンジニアリング部) 参加者:17 名</p> <p>③ ORIST 技術セミナー・BMB 第 58 回勉強会 日時:令和 7 年 2 月 7 日(金) テーマ:「医療と製造業の未来を支える AI 活用と人材育成の実例」 講師:横田 祐介 氏(スキルシステムズ株式会社 開発第 2 本部 ソリューション 2 課 マネージャー) 畠 一希 氏(株式会社フツパー ビジネス開発本部 マーケティング部 マネージャー) 参加者:10 名</p> <p><参考 URL> ① https://bmb.oidc.jp/article.php?story=BMBoff56&queryparameter=%E5%8B%89%E5%BC%B7%E4%BC%9A ② https://bmb.oidc.jp/article.php?story=BMBoff57&queryparameter=%E5%8B%89%E5%BC%B7%E4%BC%9A ③ https://bmb.oidc.jp/article.php?story=BMBoff58&queryparameter=%E5%8B%89%E5%BC%B7%E4%BC%9A</p>		
令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
公益財団法人大阪産業局にて継続して実施予定(令和 7 年度末で終了予定)	昭和 62 年度	—

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260

事業名	ODC デザインコンサルティング
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

戦略策定から施策実施までワンストップで行う伴走型コンサルティングサービスです。
 大阪デザインセンターは 60 年以上の歴史の中でさまざまな専門分野のプロフェッショナルや行政機関などと良好なパートナーシップを築いてきました。そのネットワークをフルに生かし、企業のデザイン経営を強力にバックアップします。
 企業からのご相談内容や課題に応じて、最適なエキスパートをコーディネートし、プロジェクトチームを編成し、戦略策定、デザイン制作、施策の実施まで、企業に寄り添い、伴走しながら新しい価値創造を支援しています。

ヒアリング⇒リサーチ⇒課題発掘⇒戦略策定⇒施策実施⇒効果測定⇒運用管理

具体的には、依頼者の課題に対応できるメンバーを会員から選定し、コンサルティングチームを結成し、数か月から1年程度の支援計画を策定し、提案します。大阪デザインセンターが契約主体となり、プロジェクトマネージャーとして活動します。

<2024 年度実績> 4 件

<https://service.osakadc.jp/>

**ODC デザイン
コンサルティング**

- ✓ 施策実行
- ✓ デザイン制作
- ✓ 戦略策定

手厚くサポート

まずは無料でご相談

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	8,000 千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260

事業名	ODC デザイン相談デスク
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

ODC デザイン相談デスクでは、デザインに関するお客さまのお悩みを幅広く受け付けています。「新商品のプロダクトデザインやパッケージデザインを考えたい」、「展示会や催事に向けてカタログやチラシ、Web サイトなど販促物を制作をしたい」などあらゆる領域のデザインのご相談を承っています。

<特徴>

- 一概にデザイナーと言っても多様な分野、職務領域が存在します。私たちは長年の業界に関わってきた知見をもとに、要件に合った適切なデザイナーをご紹介します。
- 大阪デザインセンターに登録している200社以上の会員とその他提携している団体、合計500社以上のデザイン会社からご提案が可能です。
- 大阪デザインセンターのデザイン相談では、ご相談いただいた方の成約率が90%以上となっており、一括見積もりサイトや他所で上手くいかなかったデザイナー探しをご納得いただける形で推進します。

2024年度実績
 相談件数 50件
 成約率 92.9%

<https://www.osakadc.jp/service/advisory/>



パンフレットデザイン



駅構内の店舗デザイン

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成2年度	8,000千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260

事業名	デザイン関連各種セミナー事業
-----	----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

https://www.osakadc.jp/event_category/seminar/

●課題発見セミナー

りそな総合研究所×大阪デザインセンターがおくる 中小企業様向け特別セミナー
 長年同じ問題に直面し続け、解決の糸口が見えない状況にある企業は、自社の真の強みと弱みを見極め、優先すべき課題にフォーカスできていない可能性があります。そこで、本セミナーでは、自社が抱える”あるべき姿”と”現状”のギャップを明確にし、打破するための手助けをします。
 りそな総合研究所の専門家チームと大阪デザインセンターのデザイン経営のプロフェッショナルが、伴走型支援を通じて、あなたのビジネスが直面する課題と一緒に発見し、解決策を定義します。
 <2024年度実績> 8回 参加人数:43名 講師:りそな総合研究所 藤原氏
 このうちワークショップに進んだ者数:5社



●パッケージ講座

- 第12回 プロに学ぶ! 売れるための商品パッケージデザイン企画実習講座
5月22日(水)、5月29日(水)、6月5日(水)、6月12日(水)
- 第13回 実践編! 最高のデザインに仕上げる、魔法の理論+!
10月31日(木)、11月7日(木)、11月14日(木)、11月21日(木)

●不確実性の高い世界を生き抜き事業を成功させる~実戦エフェクチュエーション体験ワークショップ~ 5月16日(木)

●未来のHMI創造へ! 京セラ「HAPTIVITY® i」が秘める可能性 4月18日(木)

●マーケティング講座

- イントロダクション&説明会(参加費無料)
12月17日(火)、12月19日(木)
- 実践マーケティング講座
1月9日(木)市場環境分析とPEST分析、3C分析の活用マーケティングセミナー
1月15日(水)内部環境分析とSWOT分析の実践
1月21日(火)デジタルマーケティングの基礎と活用
1月22日(水)セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング(STP)の戦略
1月28日(火)マーケティングミックスと4P戦略の構築
1月30日(木)消費者行動と購買心理を活かしたマーケティング戦略



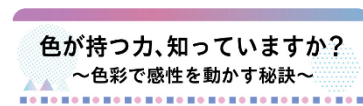
●知的財産・法務よろず相談会(2025年1月から毎月開催)

●新規事業の壁打ち相談会(毎月開催)

●色彩講座 12月5日(木) with 色彩検定協会
色が持つ力、知っていますか? ~色彩で感性を動かす秘訣~(無料)



●デザイナー向け ビジネス英会話勉強会 1月31日(金)、2月7日(金) with JIDA



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	1,398千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260

事業名	デザイン経営パートナー認定制度
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

企業を支援する人材には、「広義のデザイナー」と「経営の専門家」という、異なる二つの職種があります。この二つの職種の専門性を掛け合わせ、企業に寄り添った経営支援を行うことが、大阪デザインセンターが提唱する「デザイン経営支援」です。

大阪デザインセンターは、この両者が協力して企業支援を行えるような伴走型プラットフォームを構築しました。

そのため、デザイン経営認定講座を設置し、本講座で育成を目指す「デザイン経営パートナー」は、デザイナーならではの発想力と経営コンサルティングの専門性を融合し、協働して中小企業が抱える真の経営課題を見つけ出し、その解決まで共に歩んでいく、企業にとって心強い伴走支援者です。

大阪デザインセンターの認定講座を修了することで確かなスキルを習得し、デザイン経営支援のプロフェッショナルを目指します。

2024年度は、パイロットプログラムを実施し、11名の受講者による評価を経て、2025年度からの本格実施を予定しています。

<https://www.osakadc.jp/service/certification/>

<パイロットプログラム>

時期:2025年1月24日(金)~3月18日(火)

形式:リアル+オンライン(ハイブリッド)

参加者:中小企業診断士8名、弁理士1名、デザイナー2名



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	4,424千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260

事業名	デザイン関連展示会の開催
-----	--------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

https://www.osakadc.jp/event_category/event/

●チャリティ絵馬展(1月7日～24日)

デザイナーたちが自作の絵馬を持ち寄り、展示・販売し、その売上収益金を大阪府福祉基金に寄付するというものであり、「何かデザイナーとして社会に貢献できることはないか」ということで、昭和56年の『身体障害者年』を機に始まった。売上げを大阪府福祉基金に寄付した。



●BILLIKEN CREATORS OSAKA (3月13日～16日)

「アートになったピリケンさん」の作品展示・販売を行うイベント「BILLIKEN CREATORS OSAKA 2025」を開催(入場無料)。同時に、人気投票で優秀作品を選出するアワード「BILLIKEN CREATORS AWARD 2025」も実施した。



●mini mimi expo 2024(10月4日～9日)

織物工場から発生する廃棄物【生地耳】がアップサイクルされる過程を楽しみながら、身近に実際に体験できるイベントとして開催した。(生地耳販売、生地耳作品展示、販売、ワークショップ、キット販売、学生限定アワード、シンポジウム等)



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	

大阪府	機関名	大阪市	
	部署名	経済戦略局産業振興部イノベーション課(事業創出担当)	
	電話連絡先	06-6615-3726	
事業名	大阪デザイン振興プラザ事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【目的】 大阪府とアジア太平洋トレードセンター株式会社(ATC)が設置する、大阪のクリエイターの独立・創業を支援するインキュベーション施設。クリエイターの独立開業、事務所開設、取引先開拓、自己発信などの事業活動を支援することを通して、大阪で活動するデザイナー、クリエイターをより多く輩出し、大阪の経済発展に貢献していくことをめざす。</p> <p>【事業内容】 クリエイター向けオフィスやギャラリー、多目的ルールを設置して、セミナーなどの各種イベントの開催や情報発信、クリエイター同士の交流促進を図るとともに、複合型商業施設であるATCとのコラボで展示会やセミナー・シンポジウム等を開催している。</p> <p>【施設の概要】 所在地:大阪市住之江区南港北2-1-10 アジア太平洋トレードセンター(ATC)ITM棟 10階 設置主体:大阪市・ATC 開設年月:平成8年10月 延床面積:2742.27㎡</p> <p>【事業に関する情報が掲載されているサイト URL】 http://www.osaka-design.co.jp/</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成8年度	191,395千円

大阪府	機関名	堺市	
	部署名	産業振興局産業戦略部地域産業課	
	電話連絡先	072-228-7534	
事業名	伝統産業ブランド創出促進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1 事業概要</p> <p>堺の伝統産品とその魅力を引き立てる逸品を「sakai kitchen〈堺キッチン〉」として認定し、認定商品を首都圏等でのPR・販売やSNSでの情報発信など、堺の伝統産業の魅力伝える商品として発信。</p> <p>2 主な内容</p> <p>(1)伝統工芸品等に精通している審査員からの応募商品のフィードバック</p> <p>(2)販売機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺伝匠館での展示販売 ・梅田 蔦屋書店での展示・販売(令和6年7月11日～7月17日) ・代官山 蔦屋書店での展示・販売(令和6年11月15日～28日) ・オンラインストア「REALJAPAN STORE」の特設ページで販売(令和6年11月15日～令和7年1月31日) ・フランスにて展示・販売 <ul style="list-style-type: none"> ディジョン展(令和6年10月31日～11月3日) パリ展 (令和6年11月5日～23日) <p>(3)各種情報発信支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・sakai kitchen〈堺キッチン〉ブランドロゴマークの使用 ・sakai kitchen〈堺キッチン〉のリーフレットへの掲載、広報誌への掲載 ・公式ホームページへの商品掲載、インフルエンサーによる情報発信、プレスリリース配信サービスを利用した情報発信 <p><参考 URL></p> <p>sakai kitchen〈堺キッチン〉公式ホームページ https://www.sakai-kitchen.jp/</p>			
	令和7年度実施予定	開始年度	予算額
	継続して実施予定	令和3年度	8,000千円



大阪府	機関名	八尾市
	部署名	魅力創造部産業政策課
	電話連絡先	072-924-3845

事業名	デザインイノベーション推進事業「yaokonton」
-----	----------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<基本コンセプト>

「yaokonton(ヤオコントン)」は、「ツクれないモノは、無い」を合言葉に、八尾市内企業の商品開発事業を支援するプログラムです。領域に囚われないプロフェッショナル&未来のクリエイターとのコラボレーションにより、八尾市内産業全体のブランド力を高めていくことを目的とする。



<メンター陣>

プロダクトデザイナーや、コミュニケーションプランナー。ファッションデザイナーから、おもちゃクリエイターまで。ボーダレスなプロフェッショナルが集う。



<キックオフ>

採択企業の自己紹介ピッチを行い、本事業の意気込みを語った。また、商品開発のヒントになる講演とネットワーキングを実施。

実施日:8月7日 参加人数:参加企業8社+各メンター



<リサーチ&アイディエーション>

インプット後、主にメンター&京都芸術大学メンバー側から、企業側にアイデアを提案。採択企業とともにプレストをすすめる、アイデアを固めていった。MTGは、zoom等を活用し、主にオンラインベースで実施。共創でアイデアをブラッシュアップしていった。



<各種セミナー(対象:主に採択企業8社)>

販路開拓セミナー:バイヤーを招聘し、商品開発のヒントを得る。(8月7日)

かけあいセミナー:各企業でアイデアを考える文化情勢のためのツールかけあいYAOKONver制作セミナーを、ウサギ高橋晋平主導で開催。本セミナーで抽出した企業のワードをベースにかけあいヤオコンverを制作。(10月6日)

中間報告会:採択企業のアイデアを八尾市立サポートセンターメンバー、メンター、からアドバイス機会。(11月6日)



<展示イベントおよび成果発表会>

HANDS 梅田店に八尾の町工場展を開催:9月21日-10月14日

仏(パリ)にて「伝統と先端と」に出展:11月5日-23日

京都芸術大学にて成果発表会:2025年1月31日

脳科学者茂木健一郎氏を招いた講評イベントを実施。採択企業、メンターなどの関係者、および、八尾市内事業者などが参加した。採択企業からは、今後の展望などが語られ、開発したプロダクトを展示し、来場者に直接触れていただく機会を設けた。

<事業成果>

3年間で販売を目指した商品が40、販売実績が9,332千円を達成した。八尾市のふるさと納税返礼品の主力アイテムも生まれた。発売商品は、多くのメディア取材を受け、経済産業省監修のデザイン白書にも掲載された。令和7年度よりスキームを変更。

HP:<https://yaokonton.jp/>

デザイン白書:https://archive.jidp.or.jp/wpd2024/wpd2024_4_a3.pdf

事業年度	開始年度	予算額
令和7年度実施予定		
継続して実施予定	平成27年度	4,435千円

大阪府	機関名	寝屋川市
	部署名	経営企画部企画三課
	電話連絡先	072-813-1277

事業名	ガイドブック「寝屋川移住計画 vol.2」の製作
-----	--------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

メインターゲットとする市外在住の子育て世代に、寝屋川市を「選んで 住んで」いただけるよう、子育て支援・教育を始めとする対外訴求力のある施策をPRするとともに、市での「暮らしのイメージ」を喚起し、市の魅力、暮らしやすさを感じていただくため、市の魅力を掲載したガイドブック「寝屋川移住計画 vol.2」を製作。

<コンセプト>

寝屋川市を「選んで 住んで」いただけるよう、市の魅力や暮らしやすさを実感するガイドブック

- ・寝屋川市が選ばれていることをPR
- ・市内4駅のエリアブランディング
- ・訴求効果が高い政策・本市の「いじめ対策」と「ディベート教育」をPR
- ・今後完成予定の子どもたちの“あそびば”をPR

<ターゲット>

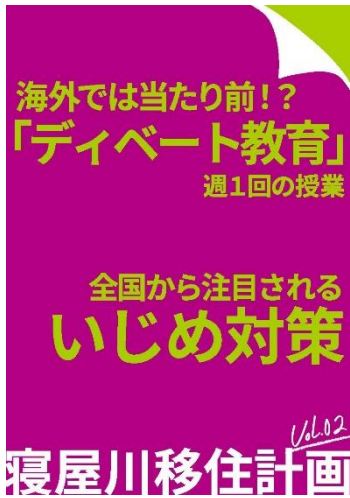
担税力のある市外の子育て世代

<仕様・発行部数>

A5判見開き 16 ページ、フルカラー
10,000 部

<参考 URL >

<https://www.city.neyagawa.osaka.jp/neyagawaizyu/17555.html>



実施年度	開始年度	予算額
令和7年度実施予定	令和6年度	2,552千円
令和6年度で事業終了		

大阪府	機関名	東大阪市
	部署名	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
	電話連絡先	06-4309-3177
事業名	東大阪デザインプロジェクト事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>市内企業の自社製品開発に向け、世界で高く評価されているデザインという資源に着目し、国内外で多くのヒット製品を生み出してきた経験をもつ世界的工業デザイナーである喜多俊之氏を本市のデザインクリエイティブアドバイザーとして迎え、無料のセミナーや個別相談を実施。<市 HP:https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002598.html></p> <p><過去に市内企業が喜多俊之氏とのコラボレーションにより生み出した製品群></p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">      </div>		
<p><令和6年度の実施内容></p> <p>■東大阪クリエイターズセッション(座談会形式の相談会) 8月2日(クリエイション・コア東大阪)参加者5社5名 アンケート満足度100%(うち「非常に満足」は20%)</p> <p>■東大阪デザインサロン(少人数制のサロン) 全2回開催(喜多俊之デザイン研究所)</p> <p>第1回 11月27日 参加者5社5名 アンケート満足度100% デザインについて過去の喜多作品を例に出しながら入門的な話。 各社の抱える課題について議論。</p> <p>第2回 1月22日 参加者7社8名 アンケート満足度88%</p> <p>■個別相談会 1件</p>		
令和7年度実施予定	開始年度	予算額
実施形態を変更して実施予定	平成22年度	2,400千円



大阪府	機関名	東大阪市
	部署名	都市魅力産業スポーツ部モノづくり支援室
	電話連絡先	06-4309-3177

事業名	高付加価値新製品開発支援事業(HIGASHIOSAKA FACTORies)
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

●事業目的

下請け形態の製造業は景気動向や発注者側の経営状況に左右されやすいといった課題があり、デザインやブランドといった資源を経営に取り入れた事業展開により付加価値の高い製品開発を実現していかなければ、生き残りが困難な時代を迎えつつあるなかで、デザインを活用した製品開発のパイロット事業を実施することで価値の高い製品創出ができる市内製造業の増加を目指すもの。

● 事業概要

3年間で1期として製品開発を推進

1年目 公募と企業選定

2年目 デザイナーとのマッチングと製品開発

3年目 展示会での発表



●令和6年事業概要

○開発製品のプロモーションツール制作

7月 ウェブサイトリニューアル

○企業向けワークショップ

2月 10社参加

○中学生、高校生向けの教育活動

7月 高井田中学校 2年生 約140名

11月 日新高校 1,2年生 約400名

○グッドデザイン賞応募

10月 受賞決定「地域の活動・取組み」カテゴリでの受賞

<参考 URL >

<https://ho-factories.com/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和7年度で事業終了	平成30年度	6,000千円

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課
	電話連絡先	078-322-6573

事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 BE KOBE 発信事業
-----	--------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

「BE KOBE」は、阪神・淡路大震災から 20 年を迎える 2015 年に、大震災の経験と成果の発信と継承等を目的に展開された「震災 20 年継承と発信事業」の一環である「震災 20 年神戸からのメッセージ発信」プロジェクトをきっかけに、多くの市民の熱い想いを集約して生まれたメッセージ及びロゴマークであり、「神戸の様々な魅力の中で、一番の魅力は人である」という思いが込められている。「BE KOBE」を、神戸市民であることを誇りに思う気持ち、シビックプライドメッセージとして広く発信し、多くの方々が神戸のまちに愛着と誇りを持つ「シビックプライドの醸成」へと繋げていく。

■事業概要

「BE KOBE」というメッセージは、「BE KOBE モニュメント」の存在もあり、多くの市民に浸透してきている。引き続きこれを広げていく発信と活用を推進していく。

○「BE KOBE」を活用したシビックプライドの醸成

平成 27 年度より庁内外での BE KOBE ロゴの使用を承認制とし、民間においても広くロゴマークの使用を認めることで、理念の浸透を促進している。令和6年度ロゴマーク使用承認件数:42 件

○「BE KOBE」モニュメントの設置

メッセージの浸透のため、「BE KOBE」モニュメントをメリケンパーク(平成 29 年度)、ポーアイしおさい公園(平成 31 年度)、神出山田自転車道(令和 2 年度)、神戸フルーツフラワーパーク、アジュール舞子(共に令和 5 年度)に設置。この他に民間企業による設置例もあり、神戸の魅力的な観光名所にもなっている。

○その他発信事業

クリアファイル等のグッズ作成、ウェブサイトの運営等を通して BE KOBE を広く発信。

<https://bekobe.smartkobe-portal.com/>



メリケンパーク「BE KOBE」モニュメント

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 26 年度	700 千円

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課
	電話連絡先	078-322-6570

事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) の管理運営・活用
-----	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO=キイト)は、「デザイン都市・神戸」を推進するため、創造と交流の拠点として、旧神戸生糸検査所を改修し平成 24 年 8 月に開設。デザインやアートなどの創造的な活動を通じて、社会に貢献する人材の育成や集積、及びそれらの人材や市民の方との間における交流・連携を図っている。

指定管理者により、市民の創造性を育むイベント、ワークショップ、さまざまなプロジェクトを通じて、クリエイティブな人材の交流と集積を行っているほか、KIITO ホールやギャラリーなどの貸館事業や、クリエイティブな活動を行う企業等が入居するクリエイティブラボの運営も実施。

令和 3 年 9 月、KIITO3 階に「KIITO:300(キイトサンマルマル)」をオープン。こどもの創造的学びと社会貢献活動のプラットフォームとして常設拠点を開設した。

■施設概要

施行年:旧館 1927 年(昭和 2 年)、新館 1932 年(昭和 7 年)

敷地面積:8,601 m²

延床面積:旧館 3,489 m²、新館 10,290 m²

施設:レンタルスペース(ホール、ギャラリー、会議室)、クリエイティブラボなど

■指定管理者:デザイン・クリエイティブセンター神戸運営共同事業体

■おもな実施事業

・ちびっこつべ、KOBE デザインの日記念イベント、+クリエイティブゼミ、オープン KIITO、KIITO マルシェ ほか

■参考 URL <https://kiito.jp/>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 24 年度	116,100 千円

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	経済観光局新産業創造課
	電話連絡先	078-984-0334

事業名	「Kobe Creators Note(神戸クリエイターズノート)」
-----	------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■概要

神戸市内で活躍しているクリエイティブ人材と市内企業とが
つながる場を提供し、新たなビジネスを生み出す基盤として、
WEB サイト「Kobe Creators Note」を運用しています。

■登録クリエイター数 約 300 名

■主なコンテンツ

- ・クリエイティブ案件の企業向け相談窓口を設置【企業相談フォーム】
- ・神戸で活躍するクリエイターを紹介【クリエイターを探す】
- ・神戸で活躍するクリエイターの仕事を記事で紹介【クリエイターインタビュー】
- ・神戸市内企業とクリエイターの共創事例の記事で紹介【マッチング事例】
- ・市内公募情報などのクリエイティブ案件情報を掲載【案件情報】
- ・神戸市や登録クリエイターのイベント情報を掲載【イベント情報】

< 参考 URL > <https://kobecreatorsnote.com/creator>

■イベント

クリエイティブ・ミートアップ神戸ークリエイター×企業交流会ー
【日時】2025 年 2 月 12 日(水曜) 13:30~16:30
【会場】ANCHOR KOBE(神戸市中央区加納町4-2-1神戸三宮阪急ビル 15 階)
【参加費】無料
【参加対象】神戸市内クリエイター、神戸市内企業の経営者、広報、マーケティング担当者 など
【内容】
オープニング「神戸市のクリエイター支援・企業支援の取組み」
第 1 部 プレゼンテーション「神戸の企業が感じているクリエイティブの課題」
第 2 部 交流会・名刺交換



令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和元年度	2,850 千円

兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課	
	電話連絡先	078-322-6573	
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 「デザイン都市・神戸」の発信、ユネスコ創造都市ネットワーク連携事業の推進		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■事業概要</p> <p>「デザイン都市・神戸」を推進する神戸市は、2008年にユネスコ創造都市ネットワーク「デザイン分野」の認定を受けた。デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIIT0)と協働しながら、他の創造都市やデザインに関わる団体との連携企画等を行い、市民がデザインを身近に感じることのできる機会を創出している。また、その活動内容を国内・海外に向け発信している。</p> <p>■活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市との連携・市民へのデザインの浸透 ・ブラガ(ポルトガル)で開催された「ユネスコ創造都市ネットワーク年次総会」に出席(令和6年6月) ・旭川市で開催された「デザイン都市サブネットワーク会議」に出席(令和6年10月) ・国内デザイン都市(旭川市・神戸市・名古屋市)共催で、日本の“デザイン都市”のこれからを考えるカンファレンス「往来 Correspondence」をナゴヤ インベーターズ ガレージで開催(令和6年10月) ・丹波篠山市で開催された「UCCN 国内都市会議」に出席(令和7年1月) <ul style="list-style-type: none"> ○ユネスコ「デザイン都市・神戸」のロゴマーク使用促進(令和6年度申請件数:19件) ○「デザイン都市・神戸」の発信:「デザイン都市・神戸」ホームページでの情報発信(年間) https://www.city.kobe.lg.jp/design/ <p><「デザイン都市・神戸」ロゴマーク></p> 			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成20年度	指定管理事業として実施等

奈良県	機関名	奈良県
	部署名	産業部 経営支援課 流通・サービス産業係
	電話連絡先	0742-27-8133

事業名	奈良ブランド開発支援事業
-----	--------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

○事業内容

奈良ブランド開発支援事業は、モノ単体の開発ではなく、生活者からの信頼を得てファンを作っていく企業の取組自体を支援する事業です。

地域を越えて多様な業種が参加し、短期的成果よりも顧客と真摯に向き合おうとする社会性の高い参加者間のネットワークを構築。このネットワークを通して個々の事業者がブラッシュアップを図ります。自分達の個性を見出した事業者は、松屋銀座、リビングデザインセンターOZONE、阪急百貨店、等において、個々の世界観を披露するとともに、顧客との距離を近づけていきます。

「ヒット商品を目指すのではなく、作り手と使い手の双方が愛着を感じるロングセラーを目指すモノづくり」というテーマを各企業が共有し、切磋琢磨しながら、自社ブランド構築に繋がる取組を実施しています。本事業は、グッドデザイン賞を2012年、2013年、2014年、2018年と4回受賞しています。

<プラットフォーム型活性化モデル>

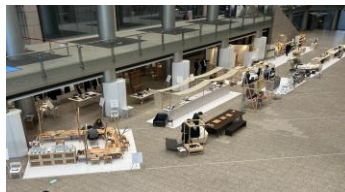
①ブラッシュアップミーティング

=多様な地域、多様な業種の参加により切磋琢磨する。



②TEIBAN 展

作り手が、会場でお客様の声を伺い、そこから得られた評価から課題を生み出し、進化に繋げる。



③N-A-R-A T-E-I-B-A-N (松屋銀座内)

平成30年4月に松屋銀座に常設店をオープン。



<参考URL> <https://www.pref.nara.jp/43989.htm>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成21年度	3,893千円

奈良県	機関名	奈良県
	部署名	産業部経営支援課
	電話連絡先	0742-27-8804

事業名	小規模地場産業振興補助事業「デザイン開発事業」
-----	-------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<事業内容>

・伝統に培われた技術力を活かす独創性の高い商品づくりの支援策として、専門のデザイナーが小規模地場産業(毛皮革・履物・スポーツ用品)の商品開発に参画し、デザイン開発を指導・支援することで商品力の強化を図り、業界の活性化を行った。
 <事業実施主体(補助先)> 奈良県履物協同組合連合会、奈良県スポーツ用品協同組合連合会、奈良県毛皮革協同組合連合会
 <講師>(協)ジャパンデザインプロデューサーズユニオン会員デザイナー等
 ※下記補助予算額は、履物・スポーツ用品・毛皮革各連合会等への補助総額であり、販路開拓等、他の事業への補助も含む。

デザイン開発事業実施フロー



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	令和2年度	7,533 千円

奈良県	機関名	奈良市
	部署名	観光経済部産業政策課
	電話連絡先	0742-34-4741

事業名	「令和6年度奈良市中小企業伴走型支援事業」 DesInsight～新たな価値を創造する奈良市デザイン経営プロジェクト～
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業内容】

本事業はデザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法(以下、「デザイン経営」という。)で中小企業支援を行う専門家が、企業経営者に伴走して助言・直接支援を実施することで、企業自身が顧客に高い価値を提供するための新たな戦略の策定を促すものである。さらに企業単体の業績を向上させるだけでなく、本事業をきっかけに高付加価値企業となるフロントランナーを生み出し、その取組を積極的にPRすることや育った被支援事業者たちが、次の被支援事業者たちの支援にも関わること、次の高付加価値企業を生み出す好循環を創出し、市内経済の活性化を図ることを目的とする。

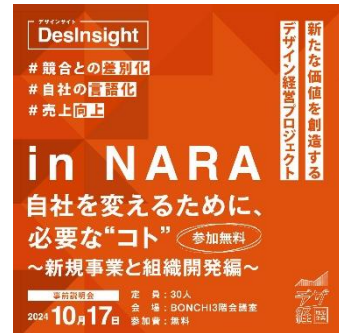
【支援内容】

- ・伴走型支援によるコンサルティング
- ・経営計画書・事業計画書作成支援
- ・本プログラムの成果発表会への参加

【デザイン経営導入促進セミナーとワークショップについて】

(1)イベント名/日時・場所

イベント名:自社を変えるために、必要な“コト”～新規事業と組織開発編～
日時:令和6年10月17日(木)13:00-16:00
場所:BONCHI 3階



(2)プログラム

13:00 事業説明/13:10 デザイン経営について基調講演/13:40 デザイン経営導入企業例/14:20 対話型ワークショップ
14:50 事業者募集の告知/15:00 交流会・名刺交換会

【成果発表会について】

(1)イベント名/日時・場所

イベント名:奈良から未来へ！デザイン経営で描く新たな可能性 DesInsight2024 成果発表会
日時:令和7年2月25日(火)13:30-15:30
場所:奈良商工会議所 5階



(2)参加企業

- ・株式会社渡辺写真館
- ・株式会社 Nina.

(3)講師

土生 哲也 氏(株式会社 IP ディレクション 代表取締役 弁理士)、近藤 清人 氏(株式会社 SASI 代表取締役)

※本事業は株式会社 SASI への委託事業です。

【参考 URL】<https://www.city.nara.lg.jp/site/jigyosyashien/188421.html>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	3,000千円

和歌山県	機関名	和歌山県
	部署名	商工労働部企業政策局企業振興課
	電話連絡先	073-441-2760

事業名	デザイン経営価値共創支援事業「VALUE-WAKAYAMA Design Management」
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■概要

デザイン経営の手法を用いた中小企業の価値創出プロジェクトです。
本プロジェクトは、この土地で長い間育み、守ってきた技術や思いを持つ事業者と、多様な経験を持つ外部人材が仲間となって挑戦する価値創出プロジェクトです。

■シンポジウム

日時:6月21日(金)13:00-17:00
場所:和歌山城ホール・オンライン
参加者:137名

■セミナー

(事業者向け)日程:7月4日(木)、7月12日(金)、7月19日(金) ※全3回 参加者:24名(各回)
(デザイナー向け)日程:7月1日(月) 参加者:12名
(ビジネスパーソン向け) 日程:7月2日(火) 参加者:23名

■マッチング

事業者がプレゼンテーション実施し、デザイナー/ビジネスパーソンとマッチング
日程:7月29日(月) 参加者:事業者9社、デザイナー7名、ビジネスパーソン8名

■ワークショップ(全6回)

事業者/デザイナー/ビジネスパーソンが一つのチームとなり、デザイン経営の手法を活用したビジョン策定・新規事業開発
参加事業者 基礎WS 9社、実践WS 8社
※実践WSは新規事業開発コース3回と事業化・組織化コース3回を開催し、参加事業者はいずれか一方のコースを選択し、基礎WSと合わせて計6回のWSを受講

■ハンズオン(随時)

ワークショップで策定した計画をアドバイザーに対する壁打ち等によってブラッシュアップ
参加事業者 8社(ワークショップから継続)



*伴走支援プログラムは、ワークショップに参加した事業者のみが参加可能です。

<参考 URL >

<https://wakayamavalue.com/>

※リンク先の内容は令和7年度実施分

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年	17,360千円

近畿経済産業局	機関名	近畿経済産業局	
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室	
	電話連絡先	06-6966-6016	
事業名	令和6年度 近畿地域におけるデザインと知的財産の活用促進に関する調査事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営のあり方が根本的に問われる中、企業が生き残り、さらには成長するための手段として「デザイン経営」を取り入れる企業も徐々に増えています。 このような中、自治体や支援機関においても独自の手法で企業に対してデザイン経営による伴走支援や普及啓発を行うなどの取組も見られており、中には地域活性化につながる事例も生まれています。 自治体や支援機関等が新たな支援施策を検討する際の参考となるよう企業支援の現状やデザイン経営に取り組む先行事例を調査し、小冊子「地域の産業を起こし、耕し、かきまぜるデザイン経営」において、これらの内容を紹介、デザイン経営に取り組む際のプロセスなどをまとめました。 <p>■報告会:令和6年度近畿地域におけるデザインと知的財産の活用促進に関する調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時:令和7年2月28日(金)(ハイブリッド開催) 会場:大阪産業創造館 <p>■小冊子「地域の産業を起こし、耕し、かきまぜるデザイン経営」(目次)</p> <ol style="list-style-type: none"> 自治体・支援機関における中小企業支援の今 デザイン経営と地域産業振興 デザイン経営支援に取り組む先行事例の紹介 デザイン経営を支援メニューに取り入れてみませんか？ あなたの地域にあったデザイン経営は？ <p>■参考 URL</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西デザイン経営プロジェクト https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/design_top.html 小冊子「地域の産業を起こし、耕し、かきまぜるデザイン経営」 https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/2024_design_keiei_book.pdf 			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度で事業終了		令和6年度	-

岡山県	機関名	岡山県
	部署名	産業労働部産業振興課
	電話連絡先	086-226-7379

事業名	NEXT モノづくり自社ブランド製品創出事業
-----	------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内ものづくり企業の企業価値の向上を目的に、ターゲットや後の販路・流通も見定めた自社ブランド製品(商品)の企画開発を支援する。

1 ものづくりデザイン活用セミナー

県内ものづくり企業へのデザイン導入の有効性を啓発するために開催
(令和6年度概要)
日時:令和6年8月2日(金)14:00~16:10
参加:約30名
内容:講師 (有)セメントプロデュースデザイン(大阪府)代表取締役 金谷 勉氏



2 ものづくりデザインアドバイス(デザインマッチング事業)

県内ものづくり企業と、課題解決力を持つデザイナーとをマッチングし、デザイナーからのアドバイスを得ながら、デザインの力を活用した新製品開発などを推進するプロジェクト。
(参加企業:H29年度6社、H30年度7社、R1年度6社、R2年度3社、R3年度4社、R4年度3社、R5年度3社、R6年度3社)
ホームページ <https://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/783711.html>)

3 岡山モノづくり★学生アイデアコンテスト

高校生・大学生等を対象に、県内ものづくり企業の製品素材等を活かした斬新なアイデアやデザインを募集するコンテストを実施。(R3年度はコロナ禍のため実施せず)
(H30年度 テーマ企業:8社 応募総数:968件、R1年度 テーマ企業:9社 応募総数 620件、R2年度 テーマ企業:3社 応募総数 238件、R4年度 テーマ企業:3社 応募総数 44件、R5年度 テーマ企業:3社 応募総数 348件、R6年度 テーマ企業:4社 応募総数 157件)
ホームページ <https://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/678925.html>)

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成29年度	5,871千円

岡山県	機関名	倉敷市
	部署名	商工労働部商工課
	電話連絡先	086-426-3405

事業名	デザイン経営推進事業
-----	------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

「デザイン経営」について、ハンズオン支援や事例共有を通じて、市内事業者への普及啓発を目的に事業を実施。

【セミナー】

テーマ:アイデンティティ型デザイン経営によるイノベーション創出
 開催日:令和6年10月9日
 講師:株式会社 SASI 東良 亮氏

【実践集合ゼミナール】

デザイン経営についての座学や実践を通じて、新規事業創出などのイノベーションに繋げるためのシリーズ型実践ゼミナールを実施。
 開催日:令和6年11月14日、12月12日、令和7年1月16日
 講師:株式会社 SASI 東良 亮氏
 参加企業数:4社

【成果発表会】

ゼミナールでのデザイン経営の実施により得られた成果や新たな取組などを発表し、広く事例共有を行うための成果発表会を実施。
 開催日:令和7年3月6日
 発表者:4社
 <参考 URL>
<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/business/industry/1012619/1018019/1015284.html>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	2,927千円

広島県	機関名	広島県	
	部署名	商工労働局 自動車・新産業課	
	電話連絡先	082-513-3366	
事業名	新技術創出支援事業(感性工学を活用したものづくりの活性化)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
人間のもつ“感性”という新たな価値軸を活用した製品の差別化による高収益構造の実現に向け、人間工学や感性工学を取り入れたものづくりの推進を目的に、「ひろしま感性イノベーション推進協議会」を設置、運営している。			
設立年月日	平成 26 年 4 月 22 日		
会長	マツダ株式会社 技術研究所 副所長 坂本 和夫		
メンバー	人間工学・感性工学を活用したものづくりに関心のある企業、大学、試験研究機関、産業支援機関、行政機関等 (286 社 30 機関;令和7年3月現在)		
活動内容	1.普及啓発・人材育成 感性に訴えるものづくりを学ぶ「感性実装カフェ'24 (TWENTY FOUR)」の開催 Step1 オープンカフェ(講演・成果発表等) Step2 クラスルームカフェ(ワークショップ等) 2.モニター調査・解析支援 3.専門家派遣・マッチング支援 4.地域連携強化 地域のワンストップ体制の構築に向け、感性に関わる活動を実施する関係機関と連携		
(参考 URL) https://www.h-kansei.jp/			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 26 年度	16,000 千円



広島県	機関名	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー	
	部署名	製品設計研究部	
	電話連絡先	082-420-0537	
事業名	産業デザインに関する研究開発、支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1 研究開発</p> <p>県内企業を対象とした製品の付加価値化及びデザイン力向上を目的とした研究開発を実施</p> <p>【県予算研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「質感に関する研究」(R6) ・「3DCGに関する研究」(R6) ・「動作分析に関する研究」(R6) ・「レーザーマーカに関する研究」(R6) <p>2 県行政部門との連携</p> <p>商工労働局が実施する産業デザイン分野(感性工学、人間工学等)に関する事業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車メーカーで集積された感性工学や人間工学技術の地場産業導入を目的とした「感性イノベーション事業」を支援 <p>3 技術指導・支援</p> <p>デザインに関する技術相談や研究会による県内企業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術的課題解決支援事業にて、R5年度に引き続き、環境配慮製品のデザイン開発を支援 ・中国地域質感色感研究会(事務局:(公財)中国地域創造研究センター)へ専門家として参画し、企業の製品開発を支援 ・ひろしまデザインネットワーク(事務局:(公財)広島市産業振興センター)へ参画し産学官でのデザイン振興を支援 ・宮島特産品振興大会に審査委員として参画し、宮島細工のブランド化や新商品開発を支援 <p>4 機関連携</p> <p>経産省と(独法)産業技術総合研究所による機関連携に参画し、デザイン分野での連携を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会(ユニバーサルデザイン研究交流会幹事) ・産業技術連携推進会議 中国地域部会 感性創造3Dものづくり研究会 <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL ></p> <p>https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/28/</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		—	—千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
	部署名	工業技術センター デザイン支援室
	電話連絡先	082-242-4170

事業名	技術者研修事業「デザインマネジメントセミナー」
-----	-------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

広島の中小企業は変化の著しい経済環境の下で、新規事業開発、新商品開発、販路拡大などに取り組んでいるものの、十分な成果に結びついていないところは少なく、課題となっている。その解決策の1つとして、デザインの活用が注目されており、全国的にも広くデザインを経営に活かす「デザイン経営」へ取り組む企業も増えつつある。

本セミナーでは、中小企業との協業に精通したデザイナーを講師に招へいし、中小企業の効果的なデザイン活用を目的に、デザインのマネジメント方法を学習する。

<令和6年度>

- ・テーマ ロングライフデザインの視点で“広島らしさ”を考える
- ・講師 神藤 秀人 「d design travel」編集長
- ・開催日 令和6年10月18日(金)14:00～16:00
- ・開催場所 広島市工業技術センター 3階研修室
- ・参加者 29名



<参考 URL>

<http://www.itc.city.hiroshima.jp>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成20年度	120千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
	部署名	工業技術センター デザイン支援室
	電話連絡先	082-242-4170

事業名	デザイナーマッチングサイト運営事業 「と、つくる」
-----	------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デザイナーマッチングサイト「と、つくる」は広島広域都市圏(以下、圏域という)のデザイナーを紹介するサイトである。このサイトを通じて中小企業等への指導・相談を行うことで、中小企業等が自社製品に相応しいデザイン企業を探すことを可能にすることにより、デザイン人材の活躍の場の創出等によるデザイン産業の振興とデザイン事業者と中小企業等との協業の促進による圏域全体の中小企業等の競争力強化を図る。平成28年度にサイトを構築し、運用を開始した。グラフィック、プロダクト、ウェブ、映像の4分野のデザイン事業者を紹介している。現在登録しているデザイン事業者は98社。全てのデザイン事業者を担当者が取材し記事にまとめ、デザイナーとの協業経験に乏しい中小企業の経営者や商品開発担当者が見ても理解しやすい内容にしている。



<参考 URL>
<https://totsukuru.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成28年度	2,101千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
	部署名	工業技術センター デザイン支援室
	電話連絡先	082-242-4170

事業名	技術者研修事業「デザイン講習会」
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

企業が地域のデザイナーを活用していくためには、地域デザイナーが最新のデザイン技術などの情報を収集し、専門的なスキルをしっかりと身につけ、企業と協業する必要がある。しかし、広島では、企業やデザイナーがデザイン講習会やセミナーを受講できる機会は少ない。そこで、地元のデザイナーや中小企業の商品企画開発者等を集めて、デザインスキルの向上を図ることを目的とし、優れたノウハウを持った講師を招へいし講習会を実施している。

<令和6年度>

・日 時 令和7年3月18日(火)14:00~17:00

・テ ー マ 「行政×デザイン」(※ 令和6年度はひろしまデザインネットワークとの合同開催)

・講師及び内容

1. 講演 ① TSUGI 代表の新山直広氏 「福井県におけるデザイン思考を取り入れた産業観光イベントなどの事例」
② UMA/design farm 代表の原田祐馬氏 「佐賀県におけるデザイン活用プロジェクトの事例」

2. パネルディスカッション

講師2名及びファシリテーター:株式会社 GK デザイン総研広島 代表取締役 彌中敏和氏

・開催場所 広島市役所 2階講堂

・参加者 93名



<参考 URL >

<http://www.itc.city.hiroshima.jp>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成15年度	255千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
	部署名	工業技術センター デザイン支援室
	電話連絡先	082-242-4170

事業名	ひろしまグッドデザイン顕彰事業
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

広島広域都市圏に事業所を有する企業がデザイン開発した商品及びパッケージのうち、デザイン面・機能面で優れたものを「ひろしまグッドデザイン商品」として選定し、これを顕彰することで産業界及び市民のデザインに対する理解と関心を深めるとともに、デザイン関連企業の育成を図り、企業の販売促進や広島発のデザインのブランド化により産業の振興を図る。

<令和6年度>

隔年で実施しており、令和6年度は令和5年度に顕彰した第18回受賞商品の展示販売会や広報を行った。

(実施内容)

- ① 応募者の中からフォローアップを希望する者への技術指導
- ② 広島広域都市圏内での展示販売会の開催
場所:広島空港 日程:令和6年12月6日、7日
- ③ 第18回受賞企業へのアンケートの実施
- ④ ホームページ保守・運用 など



<参考 URL >

<https://hiroshimagooddesign.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成6年度	1,380千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
	部署名	工業技術センター デザイン支援室
	電話連絡先	082-242-4170

事業名	デザインネットワーク推進事業 「ひろしまデザインネットワーク」
-----	------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

広島広域都市圏内のデザイン教育機関及びデザイン関連業界、企業、行政が適切な役割分担のもとに連携を図りながら、デザインネットワークの構築とデザイン振興拠点機能の強化を図ることを目的として「ひろしまデザインネットワーク」を運営する。

・会員数 33機関(デザイン教育機関7、デザイン関連業界8、企業5、行政機関13)

・実施回数 3回(会議2回、勉強会1回)

- 1 会議 年間2回 第1回 令和6年7月10日(水) 参加者 21名
第2回 令和7年3月14日(木) 書面開催

2 勉強会

テーマ 「行政×デザイン」(※ 令和6年度は技術者研修事業「デザイン講習会」との合同開催)

日時 令和7年3月18日(火) 14:00~17:00

講師及び内容

1. 講演 ① TSUGI 代表の新山直広氏 「福井県におけるデザイン思考を取り入れた産業観光イベントなどの事例」
② UMA/design farm 代表の原田祐馬氏 「佐賀県におけるデザイン活用プロジェクトの事例」

2. パネルディスカッション

講師2名及びファシリテーター:株式会社 GK デザイン総研広島 代表取締役 彌中敏和氏

開催場所 広島市役所 2階講堂

参加者 93名



<参考 URL>

<http://www.itc.city.hiroshima.jp>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成22年度	276千円

徳島県	機関名	徳島県
	部署名	経済産業部産業創生・大学連携課
	電話連絡先	088-621-2121

事業名	デザイン啓発事業
-----	----------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

本県のクリエイティブ産業の振興を図るため、企業やクリエイター等を対象としたデザインセミナーの開催を支援するとともに、県内のクリエイターの情報を集めたデータベース化したウェブサイト「徳島クリエイターズライブラリ」の認知度向上に取り組む。

(1) デザインセミナーの実施

情報発信に活かせる！ユニバーサルデザインセミナー

【日 時】 令和6年11月26日(火)

【場 所】 とくしま産業振興機構 研修室

【参加人数】 32名



(2) 徳島クリエイターズライブラリの内容充実化

登録クリエイターや事業者とのマッチング事例を紹介する記事の掲載

登録者数 49 名 (R7.3.31 時点)

<参考URL>

<https://tokushima-creators.net/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成25年度	1,000千円

徳島県	機関名	徳島市
	部署名	経済部経済政策課
	電話連絡先	088-621-5225

事業名	中小企業販路拡大支援事業 「徳島市中小企業販路拡大支援事業補助金(製品開発・改良事業)」
-----	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業概要】

徳島市内に主たる事業所を有する製造業を営む事業者が、首都圏や海外などの県外の大規模な市場における自社の製品の販路拡大のために、新規性・独自性・成長性があり、市場のニーズに合った製品とするために行う、製品開発・改良に係る費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。補助期間は交付決定日～令和8年2月28日までとする。

補助限度額	共同研究	補助率
30万円	なし	2分の1
50万円	外部専門家委託又は専門機関との実施	
70万円	外部専門家委託及び専門機関、双方との実施	

対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・技術指導・助言業務委託料 ・原材料、副資材費 ・機械装置・工具器具のリース、レンタル料 ・外注・委託費(性能検査等) ・デザイン制作業務委託料
------	--

<参考URL>

https://www.city.tokushima.tokushima.jp/shisei/keizai/jigyosha/tyusyokigyo/hanrokakudai/hanro_shien.html

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成26年度	4,200千円

香川県	機関名	公益財団法人 かがわ産業支援財団	
	部署名	総務部ファンド事業推進課	
	電話連絡先	087-868-9903	
事業名	新かがわ中小企業応援ファンド等事業 (地域資源活用輸出商品開発支援事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内の中小企業者が創意工夫して行う地域の資源を活用した海外市場向け輸出商品の開発及び海外販路拡大のための実効性のある新たな取組みを支援する。</p> <p>○助成対象者 県内に主たる事務所・事業所を有する中小企業者</p> <p>○助成対象事業 地域の資源を活用した自社の海外市場向け輸出商品の開発(既存商品の改良を含む。)及びこれに伴う海外販路開拓 ※地域の資源とは、地域産業資源(香川県の特産物として認識されている農林水産物若しくは鉱工業品又は当該鉱工業品の生産に係る技術)、又は香川県伝統的工芸品として指定されているものをいう。</p> <p>○助成対象経費【研究開発費】 原材料・消耗品費、機械装置・工具器具費、試験検査費、知的財産権等関連経費、委託・外注費、専門家謝金、旅費(※2)</p> <p>【販路開拓費】(※1) 市場調査費、展示会等出展費(※3)、広告宣伝費、専門家謝金、旅費(※2)</p> <p>(※1)販路開拓費のみの申請は不可。販路開拓費の合計額は、助成対象経費の50%以下 (※2)旅費の助成対象経費は、研究開発費及び販路開拓費を合わせて20万円以下 (※3)海外バイヤーが参加し国内で開催される展示会等の出展費に限る</p> <p>○助成率 2/3 以内 ○助成額 50万円以上200万円以下 ○助成対象期間 交付決定日から令和7年2月10日まで <参考URL> https://www.kagawa-isf.jp/</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度で事業終了 類似事業(地域資源活用商品開発支援事業、募集終了)を実施		令和6年度	10,000千円

愛媛県	機関名	愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター	
	部署名	技術支援室	
	電話連絡先	0898-22-0021	
事業名	商品撮影ワークショップ		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>モノの品質や特性だけでは売れにくいといわれる現在、消費者の感性に訴えかける情報発信が効果的になりつつあります。そこで、県内中小企業の販売促進を担当する人材の育成を支援するため、消費者の感性に訴求できる写真撮影技術を学ぶ研修を開催します。</p> <p>テーマ:「感性豊かに撮影する技術を学ぶ」</p> <p>目的:カメラの基本的知識を学び、オリジナル企画商品等の撮影が一通り自社でできるようになること</p> <p>内容:カメラの使い方や撮影に関する基礎知識、商品に求められる写真の撮影技術の習得など</p> <p>対象:県内の中小企業(伝統工芸を含む)の企画担当者等</p> <p>期間:前期 令和6年5月～令和6年9月 1社2名参加 後期 令和6年10月～令和7年2月 1社1名参加</p> <p>開催:各企業1ヶ月に2回程度/1社1回あたり2時間 30分程度</p> <p>場所:愛媛県繊維産業技術センター3階 デザイン工房2 および デザイン研修室</p> <p>費用:無料 ※カメラや撮影対象物(商品など)、小物類は参加企業で準備持参</p> <p>担当:デザイン担当職員2名</p>			
令和6年度実施		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成27年度	—



四国経済産業局	機関名	四国経済産業局
	部署名	地域経済部 新事業推進課
	電話連絡先	087-811-8521

事業名	四国地域ブランド化促進事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業概要】

2025年の大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催に向けて、四国内の地域や周辺産業のブランド力を高めるため、専門家を招聘し、デザイン経営の手法を活用しながら、地域ブランディングの支援を行った。

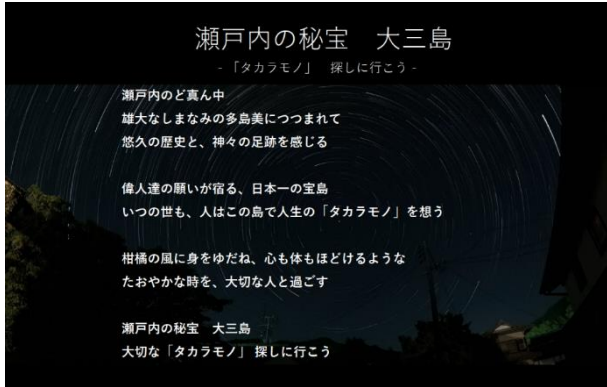
地域への集客及び交流を見込めるサービス・コンテンツ(食事、風景、体験など含む)や観光資源を複数有し、地域としてブランディングできるポテンシャルのある、しまなみ海道の中間に位置する大三島(愛媛県今治市)を対象として実施した。

大三島の事業者や行政その他関係機関等で実施したワークショップ等を通して、大三島の地域ブランドビジョンやアクションプランの策定を支援した。また、ブランドイメージに基づき地域の魅力発信に活用できるPR動画を作成した。

回数(開催日)	テーマ
第1回【令和6年10月1日(火)】	地域ブランドビジョンづくり①「ターゲット設定」
第2回【令和6年11月14日(木)】	地域ブランドビジョンづくり②「独自性」
第3回【令和6年12月18日(水)】	地域ブランドビジョンづくり③「独自性・共感性・ビジョン」
第4回【令和7年1月31日(金)】	ブランドビジョン及びアクションプランの協議
第5回【令和7年2月25日(火)】	地域ブランドビジョン及びアクションプラン検討と体制構築の説明

地域ブランドビジョン
瀬戸内の秘宝 大三島 -「タカラモノ 探しに行こう」-

大三島 PR 動画



[「瀬戸内の秘宝 大三島」PR 動画\(3分 ver.\)](#)



[「瀬戸内の秘宝 大三島」PR 動画\(15秒 ver.\)](#)

(参考) [地域ブランディング支援\(四国経済産業局\)](#)

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
事業内容などを変更し継続して実施	令和5年度	5,300千円

福岡県	機関名	福岡県
	部署名	商工部 スタートアップ推進課
	電話連絡先	092-643-3449

事業名	デザイン振興事業
-----	----------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

本県における産業デザインの振興を目的として設立された「福岡県産業デザイン協議会」の活動を支援し、県内企業のデザインを活用した付加価値の高い商品開発、販路開拓を促進。

■福岡県産業デザイン協議会(設立:平成 9 年 11 月 13 日/事務局:福岡県商工部スタートアップ推進課)

会 長:古宮 洋二(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員)

会 員:協議会の趣旨に賛同する企業、デザイナー、支援機関等 189 個人・団体(令和 7 年 3 月末時点)

■福岡デザインアワード

平成 11 年創設。デザイン性に優れた商品・サービスの審査表彰及び展示を実施。

〈第 26 回福岡デザインアワード〉

また、受賞商品 PR 動画の制作や博多駅等でデジタルサイネージ等による交通広告を実施。

・1 次審査(書類審査):令和 6 年 9 月 9 日

・最終審査及び授賞式:令和 6 年 10 月 31 日

・会場:JR 九州ホール(福岡市博多区博多駅中央街 1-1 JR 博多シティ 9 階)

・応募数:217 件

・表彰:15 件(大賞 1 件、金賞 4 件、銀賞 10 件)

■商品開発・販路拡大支援

・県内企業によるデザインを活用した付加価値の高い商品やサービス開発を促進するため、

商品開発の課題を抱える企業と学識経験者やデザイナーを交えた議論を行う、デザイン開発ワークショップを開催。

・福岡デザインアワード受賞企業等について、クラウドファンディングへの出展支援や大規模小売店と連携した販売会の実施などによる販路開拓支援を実施。



<参考 URL>

福岡県産業デザイン協議会 <https://www.fida.jp/>

福岡デザインアワード <https://award.fida.jp/>

令和 7 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成9年度	22,038 千円

福岡県	機関名	福岡県工業技術センター インテリア研究所	
	部署名	技術開発課	
	電話連絡先	0944-86-3259	
事業名	家具ブランド力向上支援事業 製品企画力高度化支援事業「NIKAWA」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■目的 新製品開発に意欲ある福岡県内の家具・工芸品等の製造業 1社 1社に対して企画から製品化までを一貫して伴走支援し、ブランドの基幹となる製品の創出や製品企画力を高めて、戦略的な製品開発が自発的にできる活力ある企業への育成を図る。</p> <p>■概要 本事業に参加意欲のある企業を公募により募集し、審査会において選定(年間3社程度)。 製品企画に関する助言を行うため、デザイン系の大学教授や外部の有識者、インテリア研究所によるアドバイス体制を整備。 助言で具体化した製品企画を形にするデザイナーを公募し、審査会において選定(1社につき1提案)。 選定されたデザイナーのデザイン案を基に、設計・試作・評価を行い製品化へとつなげる。</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成30年度	3,257千円

福岡県	機関名	北九州市	
	部署名	産業経済局地域経済振興部サービス産業政策課	
	電話連絡先	093-582-2050	
事業名	サービス産業振興事業(デザイン産業振興事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■北九州市では、デザイン関連産業を含む、サービス産業の振興を図っている</p> <p>■福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携 当協議会への負担金の支出、市内事業者への「福岡デザインアワード」、「デザイン開発ワークショップ」への応募呼びかけ</p> <p>■市内デザインの利用拡大支援 北九州市の伝統デザイン(小倉織)の利用拡大に向けた他業種とのマッチング支援</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成15年度	10千円

福岡県	機関名	福岡市	
	部署名	経済観光文化局新産業振興部コンテンツ振興課	
	電話連絡先	092-711-4329	
事業名	クリエイティブ関連産業の振興		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○福岡市では、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザインなどのクリエイティブ関連産業の振興に取り組んでいる。</p> <p>○福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> 福岡デザインアワード 受賞商品の販路開拓の支援 デザインを活用した商品開発の推進 <p>○交流創出事業</p> <p>福岡市内の事業者にも広く呼びかけて連携し、イベント等を通じて、上記5分野のクリエイティブ関連産業の振興を図っている。</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成8年度	109,619 千円

佐賀県	機関名	佐賀県	
	部署名	産業労働部ものづくり産業課	
	電話連絡先	0952-25-7421	
事業名	ものづくり革新強化事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1. 事業目的</p> <p>経営環境が激変する中で、県内ものづくり企業は、脈々と引き継がれてきた組織風土や固定観念に加え、日々の受注生産への対応などに追われ、新たな取組を進める余裕がない企業も多く、県内ものづくり企業が持続的に発展していくためには、これまでにない思考や方法で経営を見直すなど、主体的に変化・挑戦することが重要であり、本事業により県内ものづくり企業が時代に適応した経営体制の構築や新事業への挑戦を後押しする。</p> <p>2. 事業概要</p> <p>県内ものづくり企業を対象とし、課題設定型伴走支援やクリエイターの発想力・表現力等を用いた伴走型リブランディング事業を実施し、企業の「自己変革力」を高めるモデル事例(5社)を創出する。また、県内ものづくり企業の自己変革力を高め、既成概念に捉われない発想で新たなチャレンジを促進するため、モデル事例の成果を情報発信し、県内ものづくり企業とモデル事例経営者等との交流の場を設ける。</p> <p>3. 支援対象者及び支援社数</p> <p>県内ものづくり企業を対象に5社を予定。</p> <p>4. 支援内容</p> <p>公募により選定した県内ものづくり企業の以下取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援企業の経営者と同事業の中小企業診断士が対話を重ね、自己変革力の土台となる“企業らしさ(ありたい姿)”を言語化。 ○ “企業らしさ”を軸にあらゆる経営活動に一貫性を持たせ、経営者や社員、取引先などステークホルダーの認識を合致させる。 ○ クリエイティブ支援が必要な場合は、必要に応じてクリエイターを伴走支援チームにアサインする。 			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定 ※令和8年度までの予定		令和6年度	R6 8,011 千円 R7 11,527 千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	農林水産部 農業経営課
	電話連絡先	0952-25-7570

事業名	さが農村イノベーション推進事業「さがアグリヒーローズ」
-----	-----------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■目的

県内外に広く知られるような農村ビジネス※の成功事例を、令和8年度までに5件以上創出する。
 ※農村ビジネスとは、農産加工品の開発・製造や農産物直売所、農業体験・観光農園、農家レストラン、農家民宿などの農村にある資源・魅力を活かしたビジネスで、生産者の所得向上と地域の活性化を目指す取組。

■事業概要

農村ビジネスの成功事例を創出するため、さが農村イノベーション推進事業による支援を「さがアグリヒーローズ(SAH)」と称し、農家に対してデザインの視点を取り入れた商品開発やブランディング等をサポート。
 具体的には、プロポーザルによってプロデューサー(総括クリエイター)を決定し、総括クリエイターは公募により重点支援者となる農家5組を選定。令和8年度までに農村ビジネスで成功事例となるような事業計画(4カ年プラン)を立案。重点支援者の目標の実現に向けて、総括クリエイターは綿密なヒアリングのもと、デザイナーや料理研究家などの専門クリエイターを全国各地から選定し、対象者に応じた支援を実施する。
 ※令和5年度から第2期がスタート。第1期(令和1~4年度)については、5組の重点支援者全員が目標の売上高 1,000 万円増を達成。
 ※2022 年度グッドデザイン・ベスト 100 受賞(『農業分野におけるデザイン経営の導入』としてさがアグリヒーローズの取組が、「明日を切り拓く力をもったデザイン」「未来を示唆するデザイン」として高い評価を得て受賞。)

■活動内容

(1)重点支援者の目標の実現に向けた取組
 重点支援者 5 組それぞれにプロジェクトチームを組み、打合せを実施。ブランドイメージを鮮明にするロゴマークやパッケージ、HP、農家の生産物を使った加工品等を制作。

(2)情報発信

①事業全体の広報ツールとして、インスタ、Facebook、HP を令和5年に開設
 打合せに関する活動レポート、イベントの告知、1期生・2期生・クリエイターなどの実績等について情報発信
 インスタグラムアカウント状況:フォロワー数 1,484 人(R6.3 末時点)総閲覧数 4.1 万件

②県内広報イベント「Farmer's Table 最後の授業」(SAHとして参加)

期日 令和6年12月8日(日)
 場所 旧福富中学校(白石町)
 内容 販売、パネル展示、ワークショップ、SAHの生産物を使ったお弁当の開発・販売
 来場者 約 800 人

③農村ビジネス入門セミナー(SAH入門塾・人材育成)

期日 令和7年2月14日(金)
 場所 UPLIFT SHIMOJYUKU(嬉野市)
 内容 SAH1期生による自身の経営理念や取組内容、SAHの実績等についての紹介、ランチ交流

④成果報告会

期日 令和7年3月12日(水)
 場所 JONAI SQUARE(さがテレビ1F)(佐賀市)
 内容 総括クリエイターによる本年度の取組成果報告、重点支援者及び専門クリエイターの紹介、質疑応答、意見交換
 参加者 約 20 名

<参考 URL>

<https://saga-agriheroes.com/>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和元年度	17,972 千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	健康福祉部 障害福祉課 就労支援室
	電話連絡先	0952-25-7389

事業名	授産事業パワーアップ支援事業「デザイン等魅力向上事業」
-----	-----------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業目的】

障害者が地域社会で自立した生活を営めるよう、県内の障害福祉サービス事業所のうち、工賃収入の安定確保及び向上に取り組んでいる就労継続支援B型事業所及び別途定める要件を満たしている就労継続支援A型事業所(以下、「事業所等」という。)に対して、専門家を招聘・派遣し、商品、パッケージ等の開発・改良支援等を行う。

【実施時期】

令和6年6月12日～令和7年3月31日まで

【実施内容】

- ① 専門家によるサポート体制の構築
市場のニーズを捉えた商品等ブランドの構築、商品開発、販路開拓等に関する監修についての経験と実績を有する専門家(クリエイター等)を選定。
- ② 商品開発・プロモーション支援
選定した専門家が対象となる障害福祉事業所を訪問し、次の支援を行う。
※可能な限りサステナブルな視点に配慮して進める。
ア 商品開発支援
事業所の希望や課題を丁寧にヒアリングし、事業所等が持つ技術や強み等を活かしながら、新規商品の開発、既存商品のブラッシュアップ、パッケージ改良等の支援を行う。
(試作品の製作に必要な費用も、本事業で負担する。)
イ 動画制作
当事業において開発した商品等及び開発に至るプロセスやストーリーを紹介するPR動画を制作。
- ③ 成果発表会
障害福祉施設の販売会において、開発した商品の成果発表及び商品開発等が途中の場合は中間報告を行う。

【参加事業所】

5事業所

【開発商品例】

(開発前)



(開発後)



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	令和3年度	5,500千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0955-43-2185	
事業名	アドバイザー委託事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○目的 平成 26 年度から 3 かにわたって実施した有田焼 400 年事業により、有田焼産地再生に向けた方向性を見出すことができたが、その流れをさらに発展させ、事業化支援事業(窯業技術センターが地元陶磁器業界企業、クリエイター、クライアント等を結ぶハブ的機能を果たしながら、企画から流通までの一貫したモノづくりプロセスを支援するもの)のより効果的な事業展開を図るため、陶磁器ビジネスの事業化に関し豊かなノウハウを有する人材をアドバイザーとして招聘し、事業化支援事業の業務を委託する。</p> <p>○期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日</p> <p>○事業内容</p> <p>①事業化支援外部アドバイザー関係 デザイン、製造、流通に至るまでの商品開発の各プロセスにおけるアドバイス 窯元、商社との関係者を結ぶコーディネートに関すること 産地外部のデザイナー、企業等の紹介、仲介</p> <p>②事業化支援セミナー関係 伊万里・有田焼産地内での商品開発にすぐに運用できるようなテーマの設定、テーマに適した講師の紹介、仲介</p> <p>③研究課題関係 窯業技術センターで実施する経常研究・支援事業「事業化支援関連」に関する助言、指導に関すること</p> <p>④職員指導関係 上記を通じた、職員への事業化支援ノウハウに対する助言、指導に関すること</p>			
令和 7 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和 29 年度	5,159 千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター
	部署名	デザイン部
	電話連絡先	0955-43-2185

事業名	陶磁器デザインアプリケーション「iroe」(いろえ)の運用
-----	-------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

○目的

佐賀県陶磁器産地の特色である、職人による伝統的な絵付けや文様、美しい絵具の色を未来へ発展・継承していくため、陶磁器専用のデザインアプリを開発した。その利用促進のため、アプリの機能更新と運用に取り組む。

○アプリケーションの概要

陶磁器専用のデザインアプリとして、カラーデータベースの色見本を搭載し、さらにその色で絵付けや伝統的な絵柄を自由にレイアウトできる機能を実装。窯業関係者が開発段階での色検討やデザインに用いることができ、また一般の方やお子様でも、陶磁器の絵付けを楽しむことができる。実際の陶磁器の製造工程に沿って絵付けを進める工程になっており、デジタルやきもの体験を楽しむことができる。(令和5年4月リリース済。)

○事業の内容

機能の追加・アップデート、また SNS での情報発信を行う。今後、先進的な産地づくりの取り組みとして、産地全体の体制づくりを検討し、伝統産地の技術と人材を活かしたものづくりにつなげる事業へと発展させるための支援を行う。



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	3,071千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	産業労働部産業政策課
	電話連絡先	0952-25-7182

事業名	クリエイティブ・サガ事業
-----	--------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■目的

県内企業のクリエイティブ活用促進と県内クリエイターの見える化に加え、双方の理解促進やマッチング支援等に段階的に取り組むことにより、県内におけるクリエイティブ産業の振興を図る。

※当事業におけるクリエイターとは、デザイナーやディレクター等企業の課題解決や高付加価値化に寄与するものをいう

■事業概要

- (1) 県内クリエイターの認知度向上及び情報発信のための Web サイト制作及び運用・保守業務
- (2) クリエイティブ利活用促進のためのデザインスクール開催業務
- (3) 県内企業のクリエイティブ活用初回相談無料によるお試しマッチングを実施
- (4) 県内クリエイターが関わった商品等の展示会の開催

■実施時期

令和6年4月1日～令和7年3月31日

■実施内容

(1) 公式サイト『SAGA CREATIVE HUB』開設 <https://sagacreativehub.pref.saga.lg.jp/>
 県内クリエイターの実績や活動分野等、協業事例、スクール・イベント開催情報等の情報発信

(2) デザインを軸とした学びの場『SAGA CREATIVE SCHOOL』の開催

- ・座学及びワークショップを通じた体験型スクール
- ・全12回開催
- ・合計241名参加

(3) 県内クリエイターとの初回相談無料お試しマッチング

県内の14事業者が活用


(4) 県内最大集客イベント「SAGA ものすごフェスタ 10」にてデザイン PR ブース出展

「事業者×県内デザイナー」の取組好事例22例を展示し、多様な業界におけるデザインの具体的な活用事例を紹介

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	R6年度 13,559千円

佐賀県	機関名	佐賀県工業技術センター	
	部署名	分室 諸富デザインセンター	
	電話連絡先	0952-47-5601	
事業名	技術ワークショップ事業「デザイン活用研究会」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業目的】</p> <p>県内企業の商品開発力向上や企業経営、新商品・サービス開発において重要となる、デザイン活用の考え方や活用手法の修得</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考を活用した新商品開発の考え方や手法に関する講習会及び実習等 ・企業活動におけるデザイン技術の活用に関する講習会及び実習等 ・中小業におけるブランド構築に関する講習会及び実習等 <p>【活動内容】</p> <p>○工業技術センター デザイン担当者が講師、ファシリテーターとして開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建具製造技術を応用した商品開発、新分野進出について…令和7年7月9日 ・県産材、端材等を活用した玩具、体験型遊具の企画……令和7年9月8日 ・異業種、デザイナーのものづくり取り組み状況についての情報交換……令和7年12月15日 <p>○外部講師を招いてのセミナー形式での開催</p> <p>『「生成 AI×デザイン」×ものづくり』— 商品企画・デザイン開発における AI 活用の最前線……令和8年1月26日</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	714 千円

熊本県	機関名	熊本県産業技術センター	
	部署名	技術交流企画室	
	電話連絡先	096-368-2101	
事業名	技術相談／カスタムメイド試験研究事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>熊本県産業技術センターでは、県内企業の商品開発、新規事業創出等において、デザイン思考による開発技術(デザイン開発技術)を導入する支援を行っています。</p> <p>『デザイン開発技術』※とは？ 製品の審美性のみならず、ユーザーが求める価値、使用によって得られる新たな経験の実現・経験の質的な向上等を追求することにより、製品自体の優位性に加え、製品と人、製品と社会との相互作用的な関わりも含めた価値創造に繋がる総合的な設計技術。</p> <p>※特定ものづくり基盤技術 デザイン開発にかかる技術 概要(中小企業庁のホームページ)より https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/download/shishin/2018/j01.pdf (熊本県産業技術センターの事例も掲載)</p> <p>○技術相談 商品開発やブランド創出等に関する相談全般について対応しています。これから新たに商品開発やブランド創出等に取り組みたいと考えている企業の方、現在、すでに取り組んでおり、問題や悩みを抱えている企業の方等からの相談を受け付けています。</p> <p>○カスタムメイド試験研究事業 熊本県産業技術センターが、研究開発、測定・分析、技術者研修等に関する企業からの要望に応え、受託料を受けて実施する事業です。デザイン分野では、県内企業の商品開発、ブランド創出、ユーザビリティ評価等に関するテーマを受け付けています。</p> <p>【事業に関する情報が掲載されているサイト】 https://www.kumamoto-iri.jp/support/guidance.html</p> <p>【デザインに関する情報、及び相談窓口が掲載されているサイト】 https://www.kumamoto-iri.jp/etc/dyb/aq.html</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和7年度も継続して実施		-	-

熊本県	機関名	熊本県産業技術センター	
	部署名	技術交流企画室	
	電話連絡先	096-368-2101	
事業名	技術普及講習会(産業デザイン関連)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内企業に対し、ブランド創出から商品企画・開発などデザイン関連の最新の技術情報を普及するために、外部講師の協力等による最新技術の普及セミナー等を行っています。</p> <p>特に、デザイン思考やブランディングデザインに関する手法、事例を提供することで、デザインの必要性や価値について、体験してもらい、感じてもらうためのセミナーやワークショップを開催しています。</p> <p>○過去に開催したテーマの事例(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチェスター経営戦略 (中小規模事業者ならではの経営戦略) ・ビジネスモデルキャンバス ・極端思考発想法 ・インクルーシブデザイン ・ゲームニクス ・ブランディングデザイン ・「行為のデザイン」思考法 			
 <p>講習会の様子</p>			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和7年度も継続して実施		-	-

熊本県	機関名	天草市
	部署名	経済部産業政策課
	電話連絡先	0969-32-6786

事業名	天草市デザイン経営強化・人材育成等事業
-----	---------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

市内の事業者の競争力向上を図るため、経営戦略にデザイン思考を取り入れ、企業の抱える課題を解決しイノベーションを起こす経営とデザインを一体化した「デザイン経営」の導入を促進する。本事業では、事業者のデザインに対する意識改革と市内デザイナーの育成を行うとともに、市内企業と市内デザイナーをマッチングし、事業者のデザイン経営戦略の土台を作るところまでを支援する。

【事業内容】

○天草デザイン経営導入促進シンポジウムの開催

- 《日 時》令和6年7月8日(月)13時～16時
- 《会 場》天草市複合施設こくらす
- 《テーマ》課題を希望に変える経営
- 《講 師》博報堂ケトル チーフプロデューサー 日野昌暢 氏
株式会社ボードレス・ジャパン 田口一成 氏
- 《参加人数》65名
- 《実施団体》天草市産業政策課

○天草デザインプロデューサー道場の開催

- 《日 時》令和6年8月22日、23日、9月30日、10月1日、11月7日、8日、12月16日 各日4時間
- 《会 場》天草市役所庁内会議室
- 《内 容》7日間の講座を通じて、デザインの力で経営を変え、現状を打破する事業を生み、生き残る経営手法に取り組む事業者及びその事業者を支援するデザインプロデューサー人材を育成する。

《メイン講師》

博報堂ケトル チーフプロデューサー 日野昌暢 氏

《ゲスト講師》

- (有)宮川洋蘭 宮川将人 氏
- (株)かつあき 佐藤かつあき 氏
- 編集者/コピーライター/ライター 福永あずさ氏
- 景色デザイン室 古庄悠泰 氏
- うきはの宝(株) 大熊充 氏
- ローカルジャーナリスト 田中輝美 氏
- (株)シークルーズ 瀬崎公介 氏
- 《参加人数》15名
- 《実施団体》天草市産業政策課



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	2,845千円

大分県	機関名	大分県
	部署名	商工観光労働部 経営創造・金融課
	電話連絡先	097-506-3232

事業名	おおいたクリエイティブ活用促進事業「OITA CREATIVE CROSSING」
-----	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

大分県では、優れた技術やノウハウを持つ県内の企業と、最先端の技術や、豊かな発想・感性を持ち、企業に対してその能力、技術を発揮できるクリエイターが交流し、コラボレーション(協働)することで、競争力の高い商品・サービスの創出や、新規マーケットの開拓等に繋げることを目的とした、おおいたクリエイティブ活用促進事業に取り組んでいる。

①支援機関向けセミナー

県内企業と繋がりが深い支援機関(商工会議所等)を対象にセミナーを開催。
クリエイティブの重要性や成功事例を紹介し、県内企業に対してクリエイティブの活用を後押しする人材の育成を図る。

○セミナー概要

- 第1回 2024.6.21(金) 13:15~16:45 J:COM ホルトホール大分(大分市)
講師 株式会社大川印刷 代表取締役 大川 哲郎氏 「経営とデザインと社会課題」
株式会社くだものかふえ 代表取締役社長 小野寺 聡氏 「地域資源の活用を異なる視点で」
- 第2回 2024.7.12(金) 13:15~16:45 ビーコンプラザ(別府市)
講師 トランクデザイン株式会社 代表取締役 堀内 康広氏 「企業を変えるデザインのあり方」
株式会社スクワットデザイン 代表取締役 高橋 哲平氏 「企業の人材獲得とクリエイティブ活用」
×
大分交通株式会社

○参加者数

第1回 19人 第2回 28人

②県内企業とクリエイターとのマッチングイベント

県内企業の課題を探るワークショップとクリエイターとのマッチングイベントを開催。

○イベント概要

- 第1回 2024.8.2(金) 9:00~17:00 J:COM ホルトホール大分(大分市)
第2回 2024.8.21(水) 9:00~17:00 J:COM ホルトホール大分(大分市)
第3回 2024.8.31(土) 13:00~17:00 J:COM ホルトホール大分(大分市)
講師 株式会社エムエスディ取締役 浅野 高光氏

○参加者

第1回 17人 第2回 36人 第3回 12人



③大分県新価値創出支援補助金

県内企業がクリエイターと協働して付加価値の向上(自社商品のリブランディング等)に取り組む事業に対し経費を補助。

○補助金概要

通常枠 補助率 1/3・上限 300 千円 賃上げ枠 補助率 1/3・上限 400 千円

④成果発表会「OITA CREATIVE CROSSING DAY」

クリエイティブの活用に関する講演や③での事例発表、県内クリエイターによるピッチイベントを開催。

○イベント概要

2025.2.23(日) 13:00~17:15 大分県庁舎新館 14 階 大会議室(大分市)
講師 shokolatt 代表 鶴本 晶子氏「見えない未来を切り開く、愛される企業ヴィジヨナリーブランディング」

○参加者

55名

⑥HP

<https://occ.oitacreative-college.jp/>

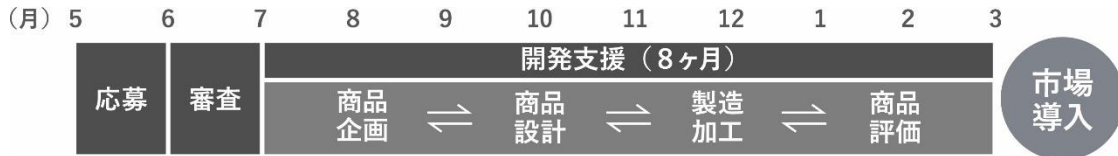
令和7年度実施予定	開始年度	予算額
一部変更して実施	令和6年度	11,386千円

大分県	機関名	大分県産業科学技術センター
	部署名	機械・デザイン担当
	電話連絡先	097-596-7101

事業名	商品化プロデュース支援事業
------------	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

- 事業目的**
県内企業の商品開発課題の各段階(商品企画、商品設計、製造加工、販路開拓)において、的確な支援を実施することにより、市場競争力のある商品を創出し、経営資源としての「デザイン」を定着させ、商品企画力・開発力を持った企業を育成することを目的としています。
- 実施主体**
大分県
- 事業内容**
対象:県内に事業所を有する中小企業／小規模事業者(個人・法人・団体ほか)
募集件数:4件
内容:
・各社の開発方針や段階に合わせて、企画・設計・製造・評価等を月1~2回の開発会議にて進行します。
・期間内は、商品開発の実績のある専門アドバイザー*から個別指導を複数回受けることができます。
*バイヤー・メーカー・プロデューサー・ディレクター・デザイナー・中小企業診断士・各種専門技術者




<参考 URL>

<https://www.oita-ri.jp/kakutantou/kikaidezain/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施中	令和2年度	1,663千円

大分県	機関名	大分市	
	部署名	商工労働観光部商工労政課	
	電話連絡先	097-585-6011	
事業名	大分市クリエイティブ産業育成事業「おおいたデザイン・エイド」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>大分市では、「クリエイティブ産業の裾野の拡大」「市内クリエイターの育成」「クリエイターの発想・技術を活用した企業の販路拡大」を図ることを目的に、クリエイティブ産業育成事業「おおいたデザイン・エイド」を実施しています。</p>			
<p>1. デザイン経営キャンプ 全6回のワークショップでデザイン経営を実践的に学べる「デザイン経営キャンプ」を実施。中小企業の事業者とクリエイターでチームを編成し、ワークショップを通じ、ブランド向上やイノベーションの創出を目指す事業プランを組み立てる短期集中プログラムです。6回目のワークショップでは、組み立てた事業プランの発表及びコンテストの審査会を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 2024年9月17日 デザイン経営基礎講座(事前セミナー) 講師:山田 遊氏 参加者:27名 2024年10月23日 第1回 チーム編成 16名(実践コース10名/聴講コース4名/アドバイザー2名) 2024年10月23日 第2回 課題の抽出 2024年11月13日 第3回 事業構想の組み立て 2024年12月6日 第4回 講評会 2024年12月6日 第5回 ブラッシュアップ 2025年1月24日 第6回 プレゼンテーション・コンテスト 			
<p>2. 次代のクリエイター発掘！ソーシャルデザインコンテスト 本市事業に関するデザイン等を課題として、県内の学生やクリエイターから課題解決のアイデア(デザイン作品)を募集し、優秀作品を選定し、表彰式で表彰します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募作品:82点(うち7点表彰) 			
<p>3. おおいたデザイン・エイド 2024 表彰式・展示会 公開プレゼンテーションで決定した1組の最優秀賞の表彰、および各作品の評価ポイントや審査員による講評とともに、ビジネスとデザインが会うことによって期待できる変化などをわかりやすく、説明しました。また、同会場でパネルでの展示会も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表彰式 <ul style="list-style-type: none"> 2025年2月22日 展示会 <ul style="list-style-type: none"> 2025年2月22日～28日 			
令和7年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度で事業終了		平成30年度	9,994千円



宮崎県	機関名	工業技術センター	
	部署名	企画・デザイン部	
	電話連絡先	0985-74-4311	
事業名	企業技術支援事業(商業デザインに関する研究)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
県内中小企業等の商品開発やデザイン開発力向上を図るため、顧客の視点・ニーズを取り入れた、実践的なデザイン技術支援を行う。			
1	県内企業の新商品開発や食品パッケージデザインなど地域企業のブランド開発支援		
2	県内地域資源活用や技術特性を活かした新製品開発へのデザイン支援		
3	県内企業訪問によるデザイン支援		
4	技術相談や設備利用の技術支援 等		
5	令和6年度デザインセミナー 「商品をもっと広めたい人のための売り方デザインセミナー」 期 日:令和7年3月5日(水) 場 所:宮崎県工業技術センター 講 師:株式会社チーグッド・デザイン 関屋千草 氏 (参加総数:23名)		
			
	(セミナーの様子)		
<参考 URL> https://www.iri.pref.miyazaki.jp/			
	令和7年度実施予定	開始年度	予算額
	継続して実施予定	平成12年度	716千円

宮崎県	機関名	宮崎県
	部署名	商工観光労働部企業振興課
	電話連絡先	商工観光労働部企業振興課 0985-26-7095 みやざきフードビジネス相談ステーション 0985-89-4452
事業名	フードビジネス支援体制強化事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

フードビジネスに取り組む事業者からの様々な相談に適切に対応するため、ワンストップの総合相談窓口として「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、関係支援機関とも連携を図りながら、事業者の事業拡大等の支援を行っている。

- デザイナーズバンクの設置
 フードビジネスに取り組む事業者からのデザインに関する相談に対して、みやざきフードビジネス相談ステーションのデザイナーズバンクに登録されているデザイナーを紹介。
 登録デザイナー数:30 者
 対象デザイン:加工品や青果物のパッケージデザイン、POP や販促資材に係るデザイン、リーフレットやウェブデザインなど
 デザインに関する相談件数:34 件/令和6年度実績(全相談件数 1,994 件)
- その他
 本事業は、公益財団法人宮崎県産業振興機構に委託して実施している。
 本事業に係る情報が掲載されている URL:
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kigyoshinko/shigoto/foodbusiness/20240610113011.html> (宮崎県 HP)
<https://food.mepo.or.jp/> (みやざきフードビジネス相談ステーション HP)

令和7年度実施予定

開始年度

予算額

継続して実施予定

平成25年度

60,332千円

鹿児島県	機関名	鹿児島県工業技術センター
	部署名	企画支援部, 地域資源部シラス研究開発室
	電話連絡先	0995-43-5111

事業名	環境・生活・デザイン技術開発研究事業「薩摩焼割付文様を利用した工芸品の開発」
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■事業概要

鹿児島県工業技術センターでは、県内企業の製造技術の向上を図るために工業デザインや工芸品に関する技術相談、依頼分析・試験等の技術支援と研究開発を行う。

■事業目的

薩摩焼割付文様は、主に白薩摩の上絵に用いられる金彩を用いた幾何学の文様である。古くは江戸時代より現代まで描かれており、現存する鹿児島の工芸品において、最も古い文様の1つであると言える。しかし、白薩摩焼の窯元の減少と、窯元が新規文様を創出する機会の減少により、描かれる機会が減ってきている。そこで、白薩摩の割付文様について調査・研究し、文様をデータ化・図形化する手法を研究する。

さらに近年開発された「かごんまの色®」などを複合利用することで、新規文様および薩摩焼の新商品創出に向けた取り組みを行う。また、薩摩焼割付文様と当センター所有のレーザー加工機の切断、彫刻、ケガキ彫刻を利用して、薩摩焼だけでなく、他の工芸品へ文様を展開した工芸品の開発を行う。

■令和6年度実施内容

① 割付文様を利用した木製品への展開

- ・当センターのレーザー加工機を使い、自社の木製品(折敷)へ割付文様で加飾を施し、商品化を行い、展示会等でインバウンド客に好評を得ている。
- ・かごしまの新特産品コンクール 2024 鹿児島市長賞受賞。



② 割付文様を利用した白薩摩への展開

- ・白薩摩の特徴の一つである絵付けに、従来の割付文様やそれらを掛け合わせた新規図柄を利用し、豆皿やアクセサリー等の新商品開発を行った。
- ・かごしまの新特産品コンクール 2025 鹿児島県知事賞受賞。(アクセサリー)



<参考 URL>

<https://www.kagoshima-it.jp/>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	令和4年度	—

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319

事業名	かごしまクリエイター成長促進事業
-----	------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デザイナーなど、製品の高付加価値化等に必要市内クリエイターの活用に係る経費を助成するとともに、その成長を促進するため、市内で活動する多様なクリエイターが集い、ビジネススキルの向上やビジネスマッチング、クリエイター同士の交流を深めるための複合型イベント「MEIZAN CREATIVE DAYS」を開催する。

■MEIZAN CREATIVE DAYS

- 開催時期 令和6年10月18日～19日
- 開催場所 mark MEIZAN、名山町周辺ギャラリー等
- 参加対象 市内のクリエイター、企業担当者など
- 参加人数 524名(延べ人数)

(5) 内容等

- ・地元クリエイターによるトークセッション
- ・市内企業向けデザイン経営セミナー
- ・クリエイター向けビジネススキル向上セミナー
- ・著名クリエイターによるトークイベント
- ・参加者交流会
- ・市内クリエイター作品展覧会(mark MEIZAN 施設内及び施設周辺のギャラリー等3か所で開催)



MEIZAN CREATIVE DAYS

■鹿児島市クリエイター活用促進補助金

- 補助対象者 本市に本店を有する法人又は本市に住所を有する個人事業主
- 補助対象経費 事業にクリエイティブの要素を取り入れ、商品やサービス等の開発や改良をするために、鹿児島市内のクリエイターに発注する際に要する経費
- 補助上限 20万円(補助率:1/2以内)
- 補助件数 5件

■「鹿児島市クリエイターズデータベース」の作成

鹿児島市内で活躍するクリエイターの取組内容を広く周知するとともに、市内クリエイターと市内外の企業とのマッチング機会を創出することを目的に、鹿児島市ホームページにおいて、趣旨に賛同した市内クリエイターの情報を掲載するもの

- ・登録クリエイター数(令和6年度末時点):33事業者
- ・鹿児島市クリエイターズデータベース URL:
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creatordatabase.html>

令和7年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和6年度	5,200千円

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319

事業名	クリエイティブ人材誘致事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

クリエイティブ産業の振興及び集積促進を図るため、UIJ ターンイベントを開催する等、首都圏等に集中しているクリエイティブ人材を誘致する取組みを行う。

■UIJ ターンイベントの開催

東京、大阪、福岡にて、本市の移住関連施策等の説明、鹿児島在住クリエイター等によるトークセッションや作品等の紹介、交流会などを開催し、移住に関心のある方々との交流を図る。

【大阪】日時:令和6年9月5日(木)19時~21時30分

場所:MOTON PLACE(大阪市)

参加者:会場14名

【東京】日時:令和6年9月30日(月)19時~21時30分

場所:LOFT HEAVEN(渋谷区)

参加者:会場13名、オンライン13名

【福岡】日時:令和6年10月17日(木)19時~21時30分

場所:CafeBar Cloud(福岡市)

参加者:会場7名

■お試し移住プログラムの開催

鹿児島市への移住を検討されているクリエイターの方を対象に、クリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」でのリモートワークや市内企業での副業体験、市内で活動するクリエイターとの交流会などを通じて、鹿児島市の生活環境やビジネス環境を体感していただくプログラム。

○日時:令和7年2月6日(木)~2月10日(月) ○参加者:9名

■移住クリエイター交流会

鹿児島市へ移住したクリエイターを対象に、コミュニティ形成支援やビジネスマッチングの機会を提供することを目的として、年2回の交流会を開催する。

○1回目 日時:令和6年6月18日(火) 参加者:10名

○2回目 日時:令和6年2月7日(金) 参加者:25名

■クリエイティブ人材誘致事業補助金

首都圏等に集中しているクリエイティブ人材が鹿児島市へ移住された場合に、移住に要する経費に対して補助を行う。

○補助対象:事業所改修費用及び設備投資費用

○応募資格:クリエイター(情報通信、映像・コンテンツ制作、デザイン、芸術)、プロデューサー又はディレクター(クリエイターとともにビジネスを行う者)

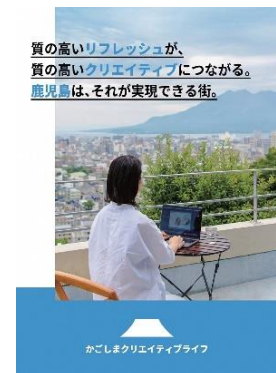
○補助額:1件あたり10万円を限度とする

○補助率:補助対象経費の2分の1

○補助実績:0件

<参考 URL>

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creative-life2020.html>



令和7年度実施予定	開始年度	予算額
一部継続して実施予定	平成28年度	7,841千円

鹿児島県	機関名	鹿児島市	
	部署名	産業局産業振興部産業創出課	
	電話連絡先	099-216-1319	
事業名	クリエイティブ産業創出拠点施設(mark MEIZAN)企画運営事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>クリエイティブ産業の振興を図り、地域経済の活性化に資するため、クリエイティブ人材等の育成、多様な事業者等との交流等を行う拠点施設「mark MEIZAN」の企画運営を行う。</p> <p>■施設の基本的機能</p> <p>(1) クリエイティブ人材育成 ・クリエイティブ人材育成セミナー等の開催、ビジネスマッチングイベントの開催 等</p> <p>(2) コミュニティ形成 ・コミュニティ形成のためのイベント及びワークショップの開催、クリエイターを巻き込んだ施設の企画運営会議の開催 等</p> <p>(3) スタートアップ支援 ・スタートアップ支援プログラムの企画・運営、スタートアップ相談支援 等</p> <p>(4) 入居者等の支援 ・入居者や来館者等とのコミュニティ形成を支援するイベント等の開催</p> <p>(5) 情報発信 ・施設専用 WEB サイト運営、SNS 等による情報発信 等</p> <p>■入居室等 ①入居室 24 室 ②シェアオフィス 6 スペース</p> <p>■交流スペース利用登録者数 4,465 名(平成 31 年 2 月～令和 7 年 3 月末)</p> <p>■セミナー・ワークショップ・ビジネスマッチングイベント ・セミナー 11 回 ・ビジネスマッチングイベント 2 回 ・コミュニティ形成イベント 24 回、 スタートアップ支援プログラム 4 回</p>			
			
			
<参考 URL> https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/mark-meizan.html			
	令和7年度実施予定	開始年度	予算額
	継続して実施予定	平成 30 年度	159,233 千円

沖縄県	機関名	沖縄県
	部署名	商工労働部ものづくり振興課
	電話連絡先	098-866-2337
事業名	沖縄工芸モノ・コト開発経営改善支援事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>1 目的 経営等も含めて長期的に持続、活躍し、業界を牽引できるような強い工芸事業者を増やすことを目的とする。</p> <p>2 概要 工芸事業者を対象に新商品の開発支援やブランディング、マーケティング、コンサルティング等により開発・改善等をハンズオン支援するとともに対象経費を補助する。</p> <p>3 補助対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県内にて、工芸品の生産に3年以上携わっている者 ・沖縄県内に製造拠点を有し、従業員20人以下の小規模事業者である工芸品生産者 ・沖縄県内にて工芸品の生産に携わり、商品・販路・販促などの課題認識が明確である者 ・個別コンサルティングなど当事業に参加できる者 ・以下のいずれかの製品を生産している者 <ul style="list-style-type: none"> ①沖縄県指定伝統的工芸品 ②沖縄の伝統的な技法・原材料・デザインを活用している (主な工芸ジャンル) 喜如嘉の芭蕉布、読谷山花織、読谷山ミンサー、知花花織、琉球びんがた、首里織、琉球緋、南風原花織、久米島紬、宮古上布、八重山上布、八重山ミンサー、与那国織、琉球漆器、三線、壺屋焼、琉球焼、琉球ガラス、ウージ染め、うらそえ織、小木工、金細工等 </p> <p>4 補助対象経費 原材料費、外注加工費、技術指導受入費、デザイン開発費、市場調査費、広報宣伝費、旅費、専門家謝金、資料購入費等</p> <p>5 補助率 4分の3以内</p> <p>6 補助上限額 30万円</p> <p>7 令和6年度実績 10事業者</p> <p>8 セミナー実績(参加者数) <ul style="list-style-type: none"> ・「市場の変化と工芸生産者のブランディングを改めて問い直す」(37名) ・「Instagramのキャッチアップ」(全3回 計39名) ・「工芸の原価計算と価格設定について」(54名) </p>		
令和7年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		令和5年度
		予算額
		13,780千円